

知立市  
介護保険・高齢者福祉に関するアンケート  
調査結果報告書

平成 29 年 3 月

知 立 市





# 目次

<b>I 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1 調査の目的 .....	1
2 調査対象 .....	1
3 調査期間 .....	1
4 調査方法 .....	1
5 回収状況 .....	1
6 調査結果の表示方法 .....	1
<b>II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）</b> .....	<b>2</b>
1 あて名の方ご自身のことについて .....	2
2 からだを動かすことについて .....	8
3 食べることについて .....	15
4 毎日の生活について .....	20
5 地域での活動について .....	33
6 たすけあいについて あなたとまわりの人の「たすけあい」について .....	37
7 健康について .....	47
8 在宅医療について .....	61
9 介護保険について .....	62
10 市の高齢者福祉について .....	65
<b>III 生活機能評価等に関する分析</b> .....	<b>67</b>
1 機能別リスク該当者割合の分析 .....	67
• (1) 運動器 67	
• (2) 閉じこもり 68	
• (3) 転倒 69	
• (4) 栄養 70	
• (5) 口腔 71	
• (6) 認知 72	
• (7) うつ 73	
2 日常生活 .....	74
• (1) 手段的自立度（IADL） 74	
3 社会参加 .....	75

• (1) 知的能動性	75
• (2) 社会的役割	76
4 認知症リスク (C P S)	77
<b>IV 調査結果 (在宅介護実態調査)</b>	<b>79</b>
1 A票 調査対象者本人について	79
• (1) 回答者属性	79
• (2) 介護保険サービスについて	84
• (3) 在宅医療について	88
• (4) 今後の介護の希望について	89
• (5) 高齢者福祉全般について	90
2 B票 主な介護者の方について	93
<b>V 調査結果 (介護支援専門員)</b>	<b>101</b>
• (1) 回答者属性	101

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

「第7期介護保険事業計画・第8次高齢者福祉計画」を策定するにあたり、皆さんの考えや意見を基に「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」を実現するための資料として、調査を実施するものです。

## 2 調査対象

### ・介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

一般高齢者：知立市在住の65歳以上の市民の方を無作為抽出（要介護認定者・要支援認定者を除く）

要支援認定者：知立市在住の要支援認定を受けて在宅で生活している方

### ・在宅介護実態調査

要介護認定者：知立市在住の要介護認定を受けて在宅で生活している方

### ・ケアマネジャー調査

ケアマネジャー：知立市において居宅サービス計画を作成している方

## 3 調査期間

平成29年1月27日から平成29年2月17日

## 4 調査方法

郵送による配布・回収

## 5 回収状況

		配布数	有効回答数	有効回答率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	一般高齢者	2,000通	1,328通	66.4%
	要支援認定者	532通	343通	64.5%
在宅介護実態調査	要介護認定者	899通	541通	60.2%
ケアマネジャー調査	ケアマネジャー	47通	34通	72.3%

## 6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

## II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

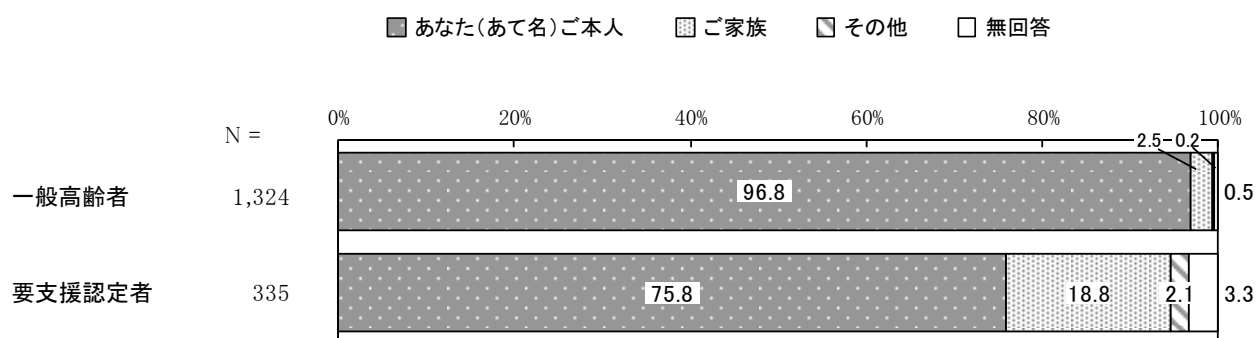
### 1 あて名の方ご自身のことについて

#### 問1 調査票の記入者はどなたですか（1つを選択）

一般高齢者では、「あなた（あて名）ご本人」の割合が96.8%、「ご家族」の割合が2.5%となっています。

要支援認定者では、「あなた（あて名）ご本人」の割合が75.8%、「ご家族」の割合が18.8%となっています。

認定区分別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「あなた（あて名）ご本人」の割合が高くなっています。

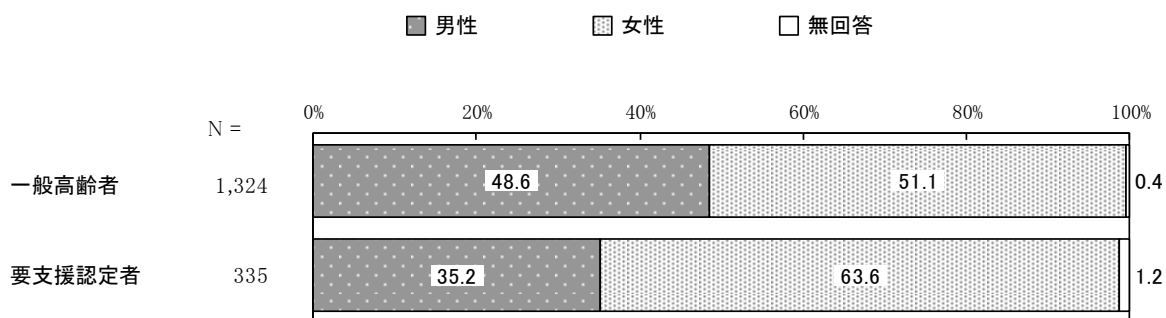


#### 問2 あなたの性別をお答えください（1つを選択）

一般高齢者では、「男性」の割合が48.6%、「女性」の割合が51.1%となっています。

要支援認定者では、「男性」の割合が35.2%、「女性」の割合が63.6%となっています。

認定区分別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「男性」の割合が高くなっています。

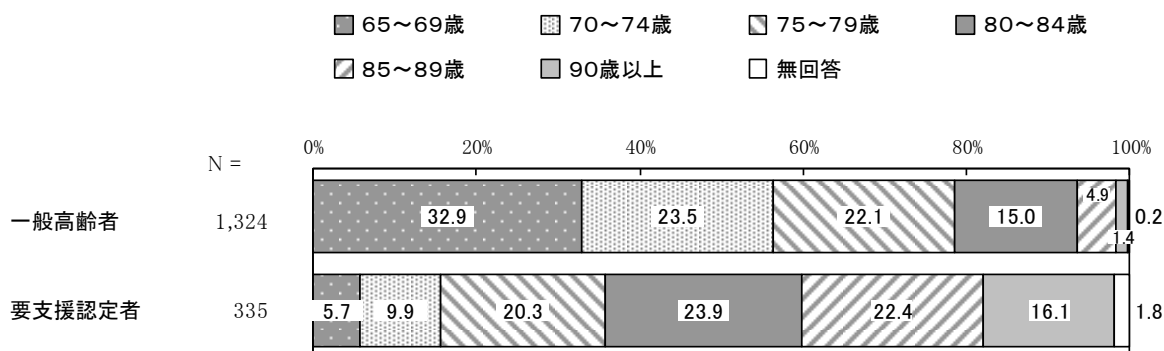


### 問3 あなたの年齢をお答えください（1つを選択）

一般高齢者では、「65～69歳」の割合が32.9%と最も高く、次いで「70～74歳」の割合が23.5%、「75～79歳」の割合が22.1%となっています。

要支援認定者では、「80～84歳」の割合が23.9%と最も高く、次いで「85～89歳」の割合が22.4%、「75～79歳」の割合が20.3%となっています。

認定区分別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「65～69歳」「70～74歳」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「80～84歳」「85～89歳」「90歳以上」の割合が高くなっています。

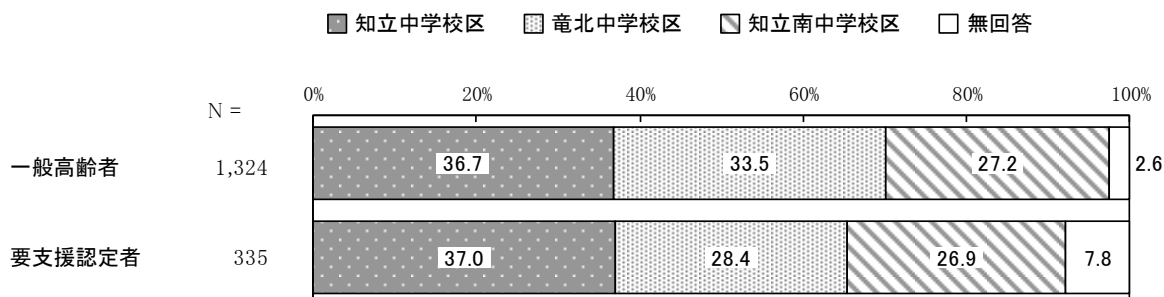


### 問4 あなたがお住まいの地区を以下の中学校区の中から選びください。ご不明な場合は、ご自宅から最も近いと思われる中学校区を選びください（1つを選択）

一般高齢者では、「知立中学校区」の割合が36.7%と最も高く、次いで「竜北中学校区」の割合が33.5%、「知立南中学校区」の割合が27.2%となっています。

要支援認定者では、「知立中学校区」の割合が37.0%と最も高く、次いで「竜北中学校区」の割合が28.4%、「知立南中学校区」の割合が26.9%となっています。

認定区分別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「竜北中学校区」の割合が高くなっています。

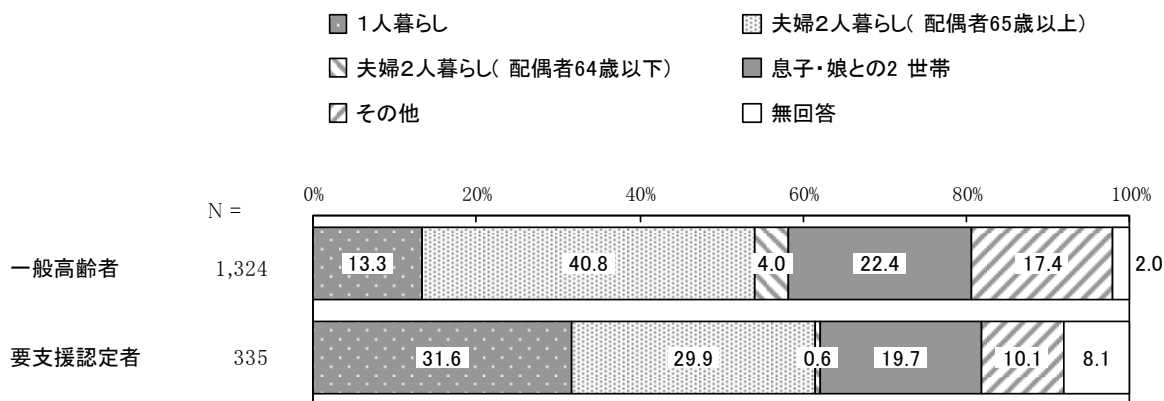


### 問5 家族構成をお教えてください（1つを選択）

一般高齢者では、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が40.8%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」の割合が22.4%、「1人暮らし」の割合が13.3%となっています。

要支援認定者では、「1人暮らし」の割合が31.6%と最も高く、次いで「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が29.9%、「息子・娘との2世帯」の割合が19.7%となっています。

認定区分別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「1人暮らし」の割合が高くなっています。

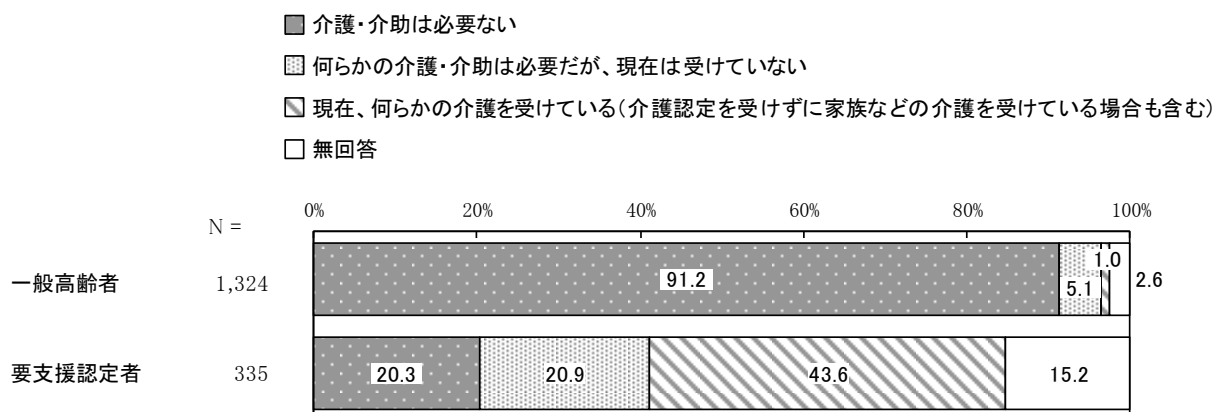


### 問6 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（1つを選択）

一般高齢者では、「介護・介助は必要ない」の割合が91.2%と最も高くなっています。

要支援認定者では、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」の割合が43.6%と最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が20.9%、「介護・介助は必要ない」の割合が20.3%となっています。

認定区分別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「介護・介助は必要ない」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」の割合が高くなっています。





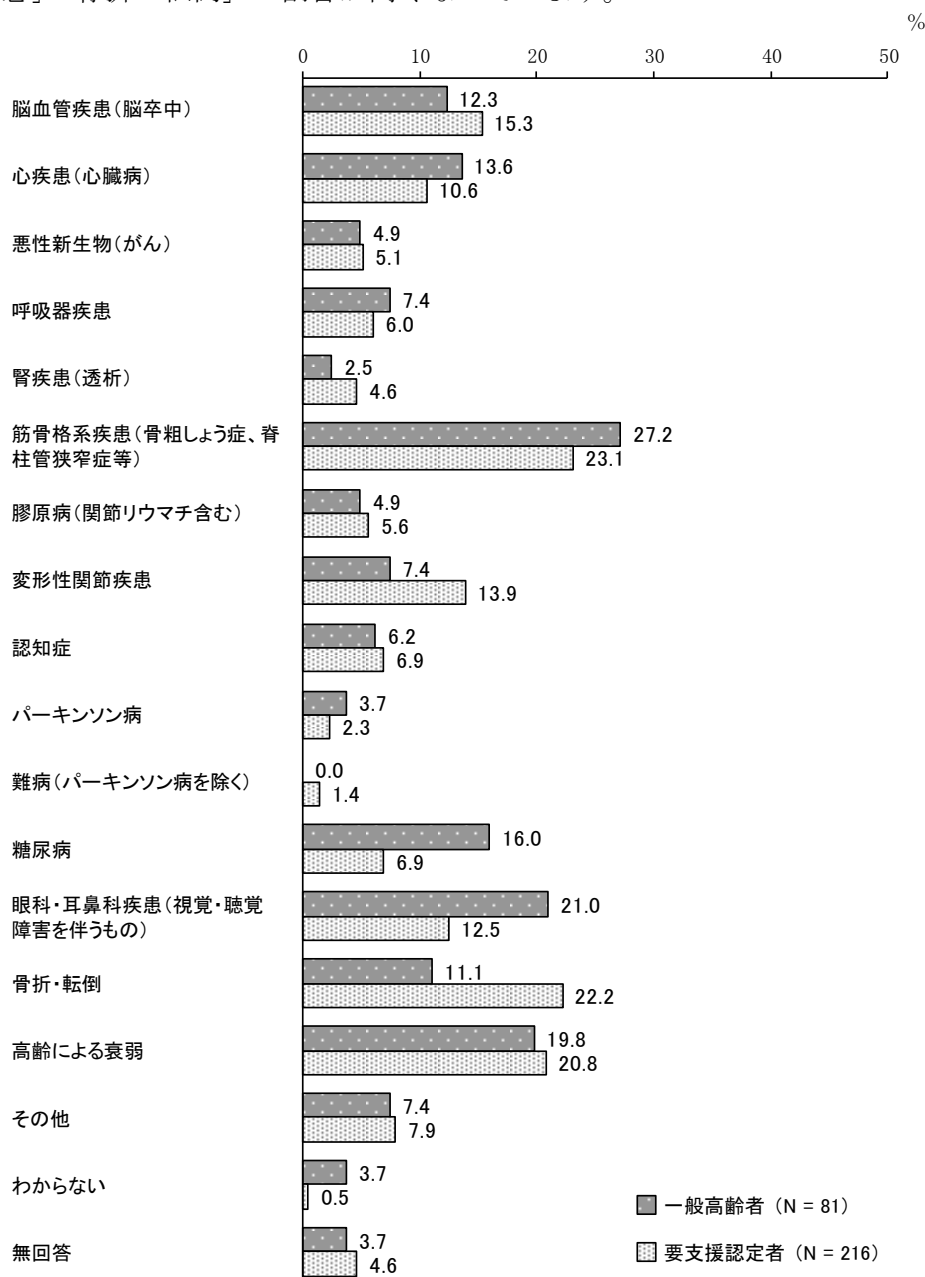
【問6で「2 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「3 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」と答えた方にお聞きします】

問6-① 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（複数選択可）

一般高齢者では、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」の割合が27.2%と最も高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」の割合が21.0%、「高齢による衰弱」の割合が19.8%となっています。

要支援認定者では、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」の割合が23.1%と最も高く、次いで「骨折・転倒」の割合が22.2%、「高齢による衰弱」の割合が20.8%となっています。

認定区分別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「糖尿病」「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「変形性関節疾患」「骨折・転倒」の割合が高くなっています。



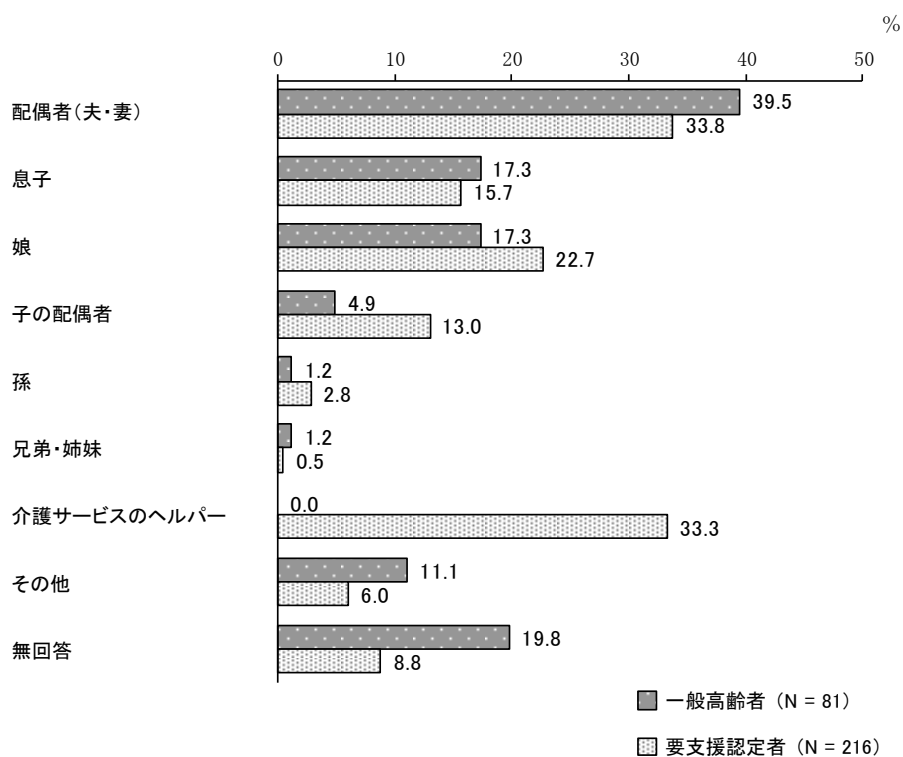
【問6で「2 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「3 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」と答えた方にお聞きします】

問6-② 主にどなたの介護、介助を受けていますか（複数選択可）

一般高齢者では、「配偶者（夫・妻）」の割合が39.5%と最も高く、次いで「息子」、「娘」の割合が17.3%となっています。

要支援認定者では、「配偶者（夫・妻）」の割合が33.8%と最も高く、次いで「介護サービスのヘルパー」の割合が33.3%、「娘」の割合が22.7%となっています。

認定区分別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「配偶者（夫・妻）」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「娘」「子の配偶者」「介護サービスのヘルパー」の割合が高くなっています。

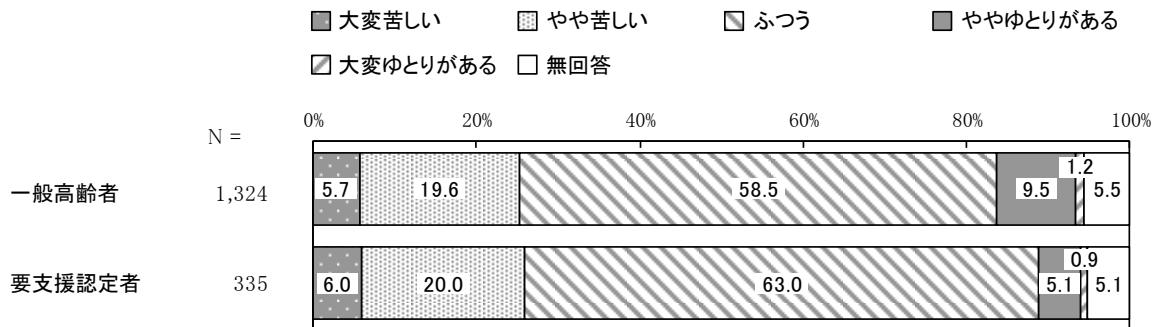


## 問7 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（1つを選択）

一般高齢者では、「ふつう」の割合が58.5%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が19.6%となっています。

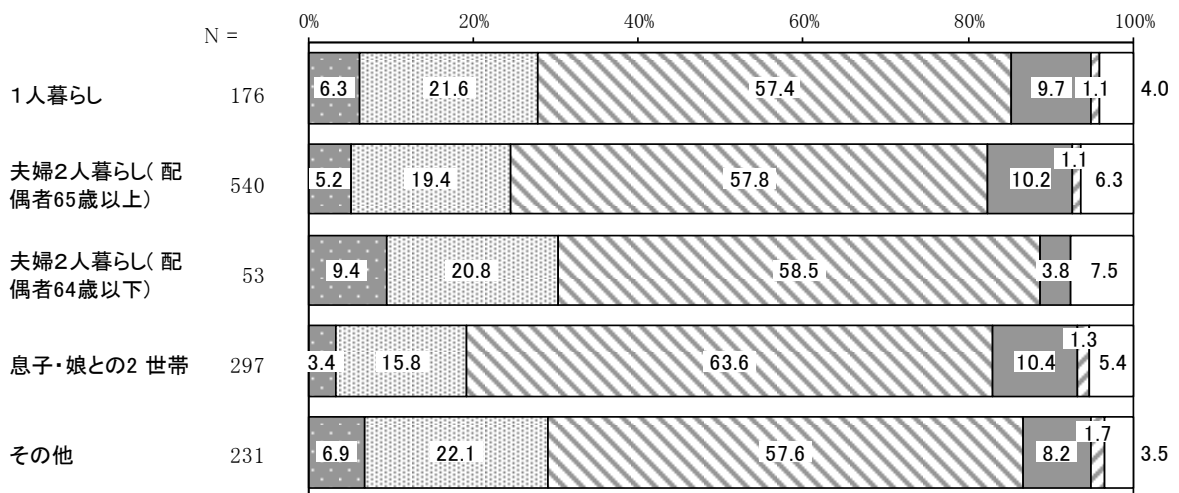
要支援認定者では、「ふつう」の割合が63.0%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が20.0%となっています。

認定区分別でみると、大きな差異はみられません。



### 【家族構成別】 ※ 要支援認定者を除く

家族構成別でみると、他に比べ、息子・娘との2世帯で「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた割合が低くなっています。



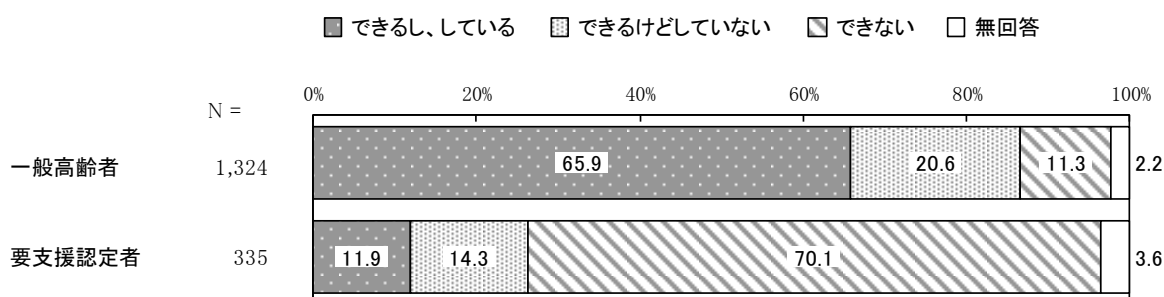
## 2 からだを動かすことについて

### 問8 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか（1つを選択）

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が 65.9%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 20.6%、「できない」の割合が 11.3%となっています。

要支援認定者では、「できない」の割合が 70.1%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 14.3%、「できるし、している」の割合が 11.9%となっています。

「できない」の割合は、一般高齢者で 11.3%、要支援認定者で 70.1%となっており、58.8 ポイントの差となっています。

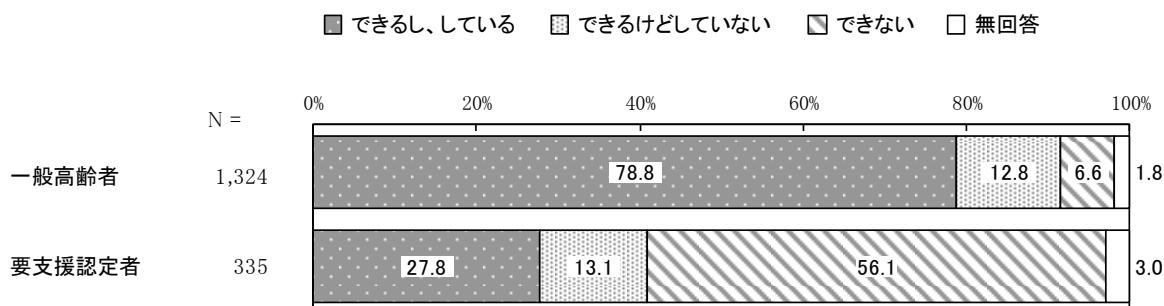


### 問9 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか（1つを選択）

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が 78.8%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 12.8%となっています。

要支援認定者では、「できない」の割合が 56.1%と最も高く、次いで「できるし、している」の割合が 27.8%、「できるけどしていない」の割合が 13.1%となっています。

「できない」の割合は、一般高齢者で 6.6%、要支援認定者で 56.1%となっており、49.5 ポイントの差となっています。

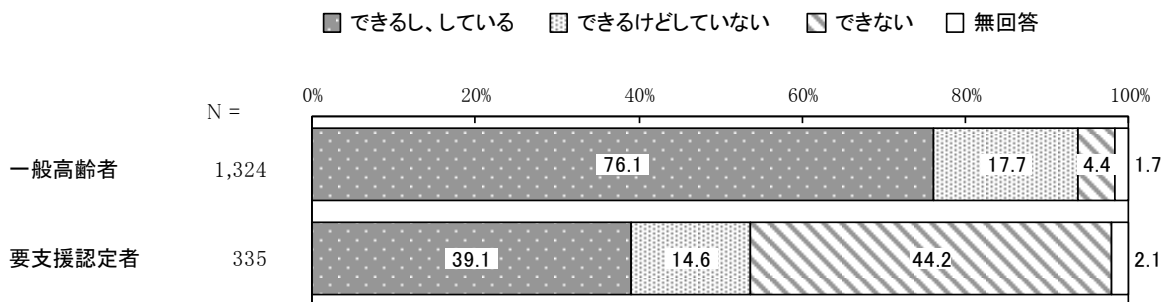


### 問 10 15分位続けて歩いていますか（1つを選択）

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が76.1%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が17.7%となっています。

要支援認定者では、「できない」の割合が44.2%と最も高く、次いで「できるし、している」の割合が39.1%、「できるけどしていない」の割合が14.6%となっています。

「できない」の割合は、一般高齢者で4.4%、要支援認定者で44.2%となっており、39.8ポイントの差となっています。

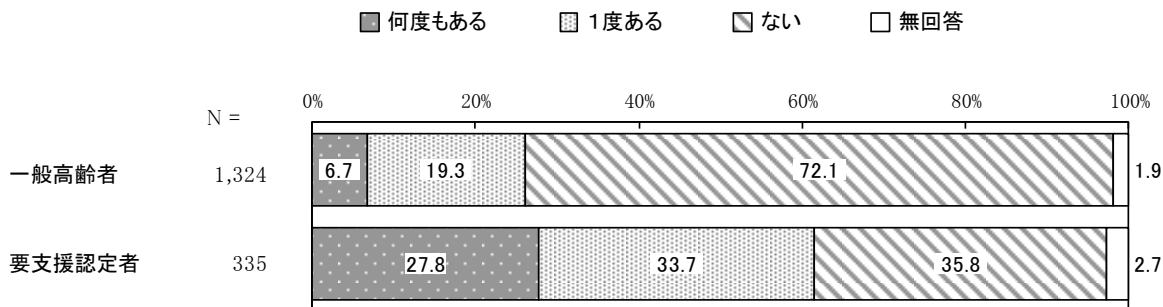


### 問 11 過去1年間に転んだ経験がありますか（1つを選択）

一般高齢者では、「ない」の割合が72.1%と最も高く、次いで「1度ある」の割合が19.3%となっています。

要支援認定者では、「ない」の割合が35.8%と最も高く、次いで「1度ある」の割合が33.7%、「何でもある」の割合が27.8%となっています。

「何でもある」と「1度ある」を合わせた『過去1年間に転んだ経験がある人』の割合は、一般高齢者で26.0%、要支援認定者で61.5%となっており、35.5ポイントの差となっています。

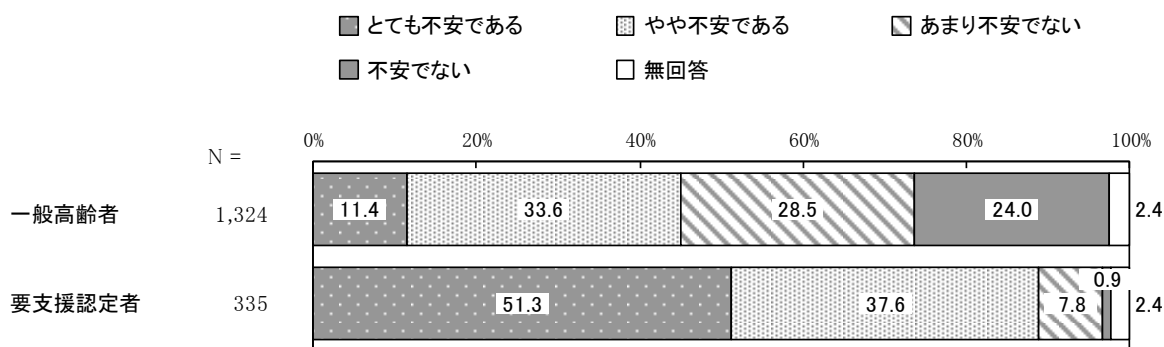


### 問 12 転倒に対する不安は大きいですか（1つを選択）

一般高齢者では、「やや不安である」の割合が 33.6%と最も高く、次いで「あまり不安でない」の割合が 28.5%、「不安でない」の割合が 24.0%となっています。

要支援認定者では、「とても不安である」の割合が 51.3%と最も高く、次いで「やや不安である」の割合が 37.6%となっています。

「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた『転倒に対して不安な人』の割合は、一般高齢者で 45.0%、要支援認定者で 88.9%となっており、43.9ポイントの差となっています。

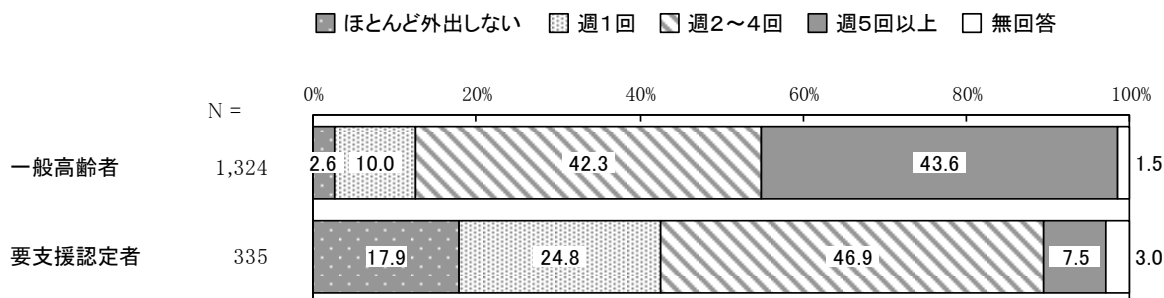


### 問 13 週に1回以上は外出していますか（1つを選択）

一般高齢者では、「週5回以上」の割合が 43.6%と最も高く、次いで「週2～4回」の割合が 42.3%、「週1回」の割合が 10.0%となっています。

要支援認定者では、「週2～4回」の割合が 46.9%と最も高く、次いで「週1回」の割合が 24.8%、「ほとんど外出しない」の割合が 17.9%となっています。

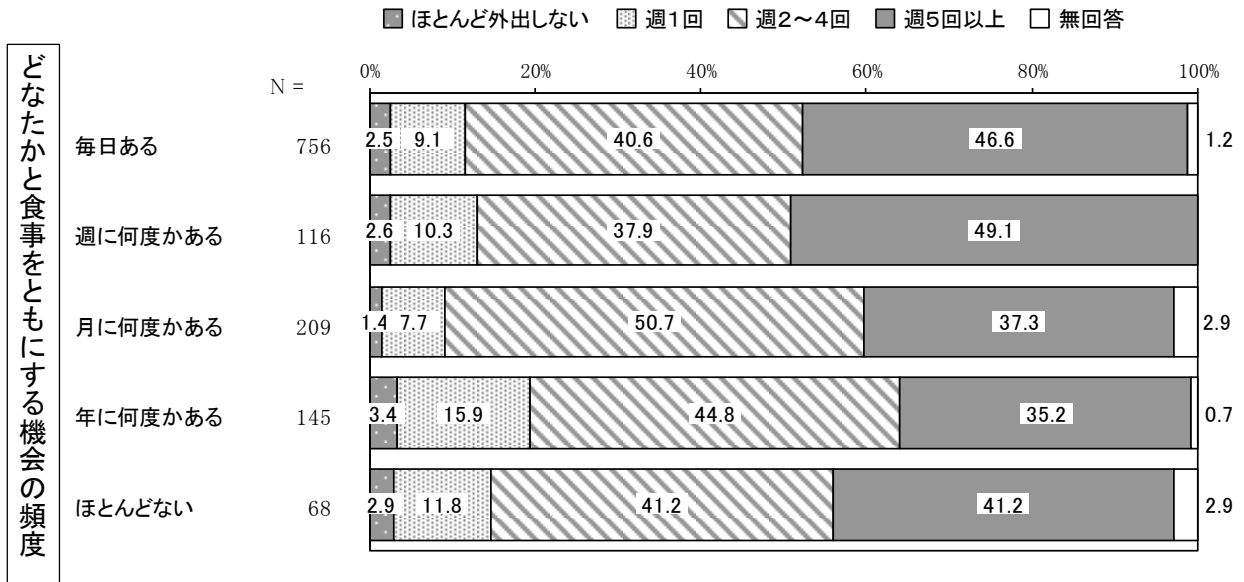
「ほとんど外出しない」と「週1回」を合わせた『閉じこもり傾向のある人』の割合は、一般高齢者で 12.6%、要支援認定者で 42.7%となっており、30.1ポイントの差となっています。



【共食別】※ 要支援認定者を除く

※ 共食別とは問 22 の「どなたかと食事をとにもする機会がありますか」の設問とクロス集計をしたもの

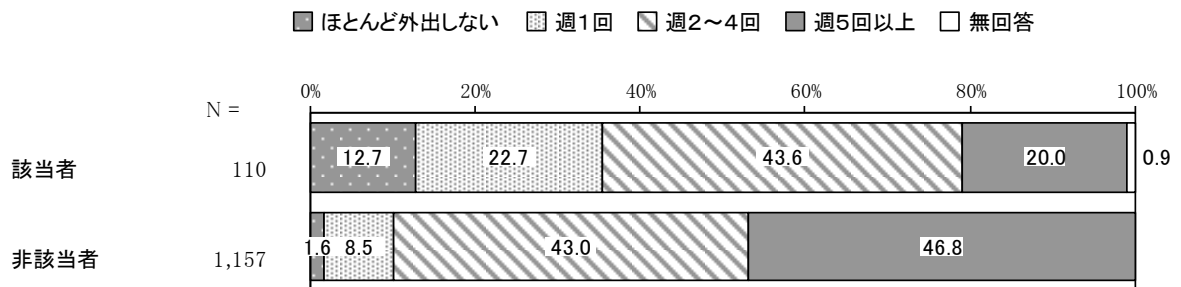
共食別でみると、どなたかと食事をとにもする機会の頻度が多いほど、「週 5 回以上」の割合が高くなる傾向があります。



【運動機能低下別】※ 要支援認定者を除く

※ P67 の「1 機能別リスク該当者割合の分析 (1) 運動器」とクロス集計したもの

運動機能低下別でみると、該当者に比べ、非該当者で「週 5 回以上」の割合が高くなっています。一方、非該当者に比べ、該当者で「ほとんど外出しない」「週 1 回」の割合が高くなっています。

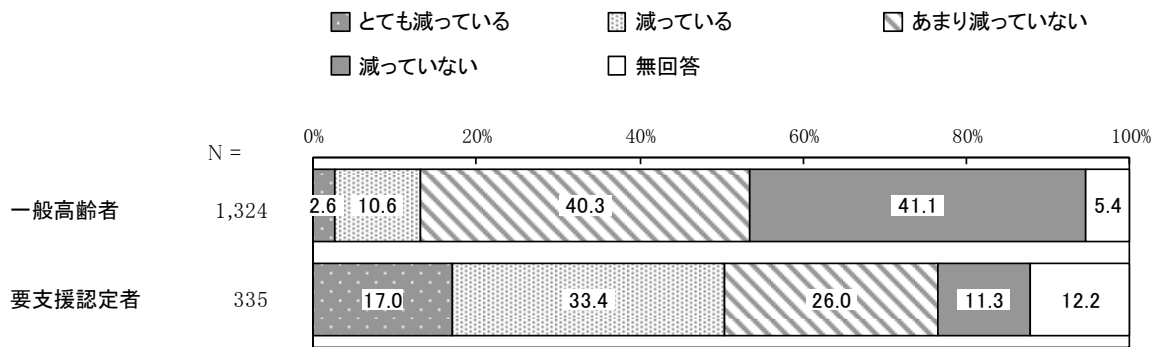


**問 14 昨年と比べて外出の回数が減っていますか（1つを選択）**

一般高齢者では、「減っていない」の割合が 41.1%と最も高く、次いで「あまり減っていない」の割合が 40.3%、「減っている」の割合が 10.6%となっています。

要支援認定者では、「減っている」の割合が 33.4%と最も高く、次いで「あまり減っていない」の割合が 26.0%、「とても減っている」の割合が 17.0%となっています。

「とても減っている」と「減っている」を合わせた『外出の回数が減っている人』の割合は、一般高齢者で 13.2%、要支援認定者で 50.4%となっており、37.2 ポイントの差となっています。





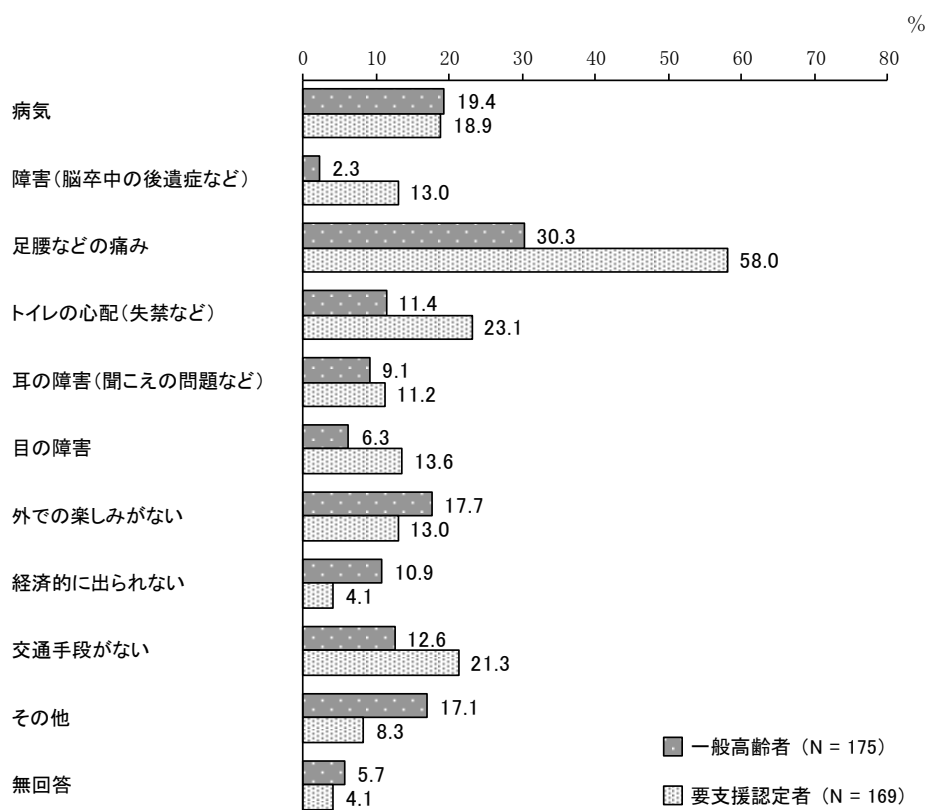
【問 14 で「1 とても減っている」「2 減っている」と答えた方にお聞きします】

問 14-① 外出が減っている理由は、次のどれですか（複数選択可）

一般高齢者では、「足腰などの痛み」の割合が 30.3%と最も高く、次いで「病気」の割合が 19.4%、「外での楽しみがない」の割合が 17.7%となっています。

要支援認定者では、「足腰などの痛み」の割合が 58.0%と最も高く、次いで「トイレの心配（失禁など）」の割合が 23.1%、「交通手段がない」の割合が 21.3%となっています。

認定区分別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「経済的に出られない」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「障害（脳卒中の後遺症など）」「足腰などの痛み」「トイレの心配（失禁など）」「目の障害」「交通手段がない」の割合が高くなっています。

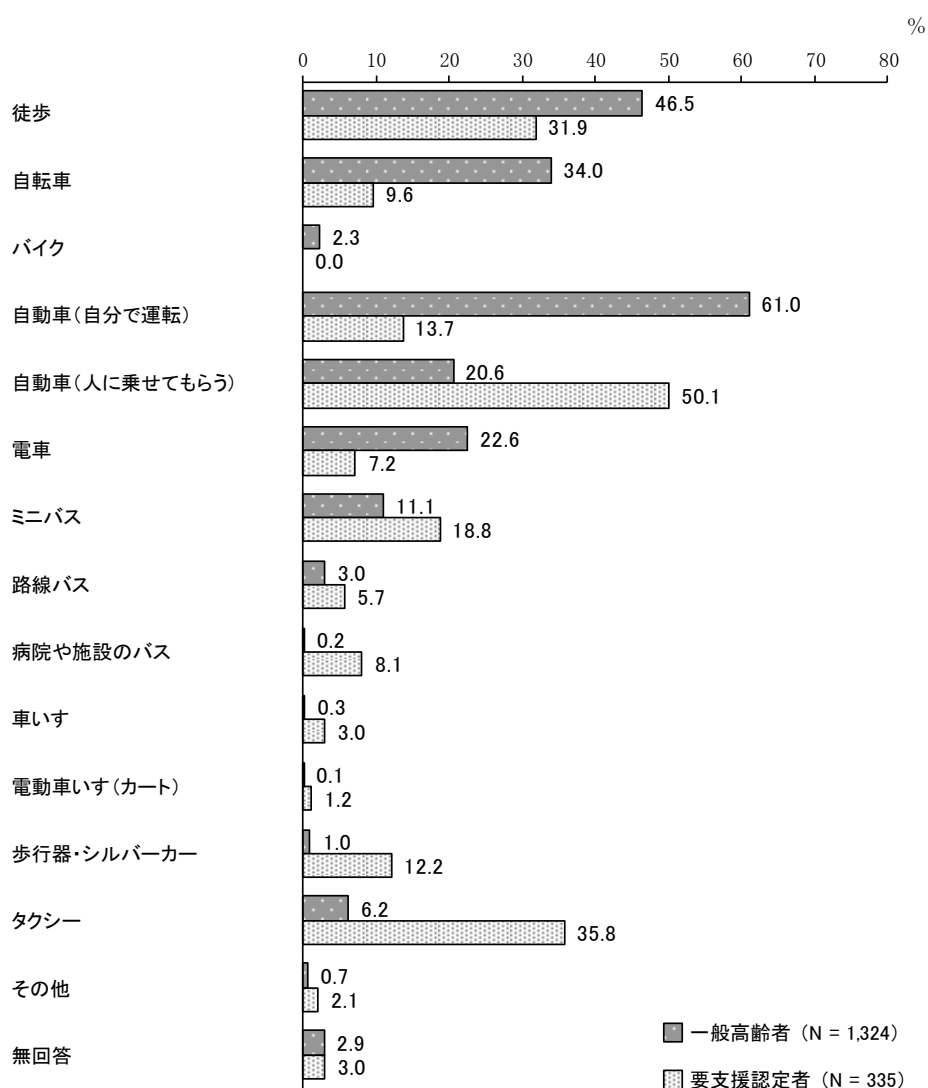


## 問 15 外出する際の移動手段は何ですか（複数選択可）

一般高齢者では、「自動車（自分で運転）」の割合が 61.0%と最も高く、次いで「徒歩」の割合が 46.5%、「自転車」の割合が 34.0%となっています。

要支援認定者では、「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が 50.1%と最も高く、次いで「タクシー」の割合が 35.8%、「徒歩」の割合が 31.9%となっています。

認定区分別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「徒歩」「自転車」「自動車（自分で運転）」「電車」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「自動車（人に乗せてもらう）」「ミニバス」「病院や施設のバス」「歩行器・シルバーカー」「タクシー」の割合が高くなっています。



### 3 食べることについて

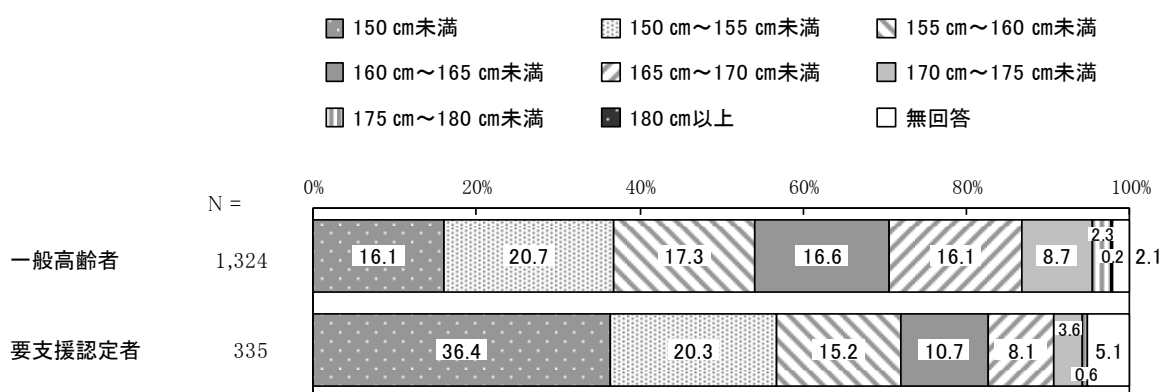
#### 問 16 身長・体重をご記入ください

##### ① 身長

一般高齢者では、「150 cm～155 cm未満」の割合が20.7%と最も高く、次いで「155 cm～160 cm未満」の割合が17.3%、「160 cm～165 cm未満」の割合が16.6%となっています。

要支援認定者では、「150 cm未満」の割合が36.4%と最も高く、次いで「150 cm～155 cm未満」の割合が20.3%、「155 cm～160 cm未満」の割合が15.2%となっています。

認定区分別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「160 cm～165 cm未満」「165 cm～170 cm未満」「170 cm～175 cm未満」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「150 cm未満」の割合が高くなっています。

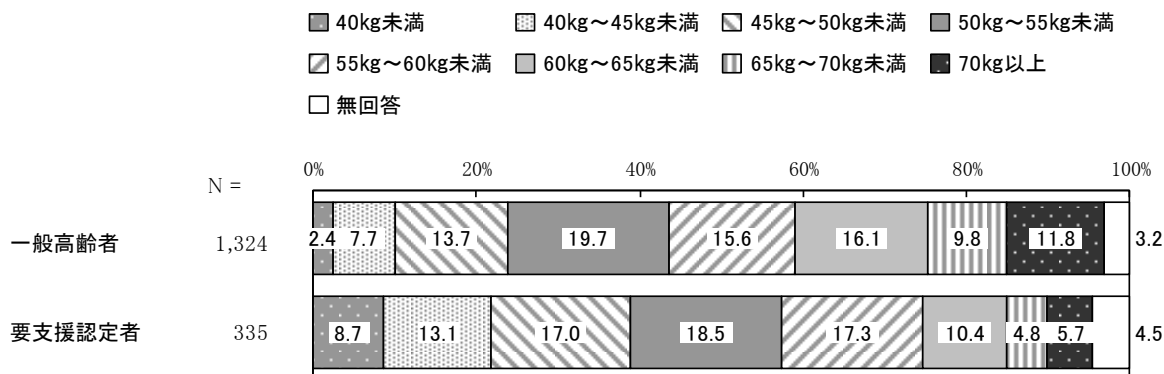


##### ② 体重

一般高齢者では、「50 kg～55 kg未満」の割合が19.7%と最も高く、次いで「60 kg～65 kg未満」の割合が16.1%、「55 kg～60 kg未満」の割合が15.6%となっています。

要支援認定者では、「50 kg～55 kg未満」の割合が18.5%と最も高く、次いで「55 kg～60 kg未満」の割合が17.3%、「45 kg～50 kg未満」の割合が17.0%となっています。

認定区分別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「60 kg～65 kg未満」「65 kg～70 kg未満」「70 kg以上」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「40 kg未満」「40 kg～45 kg未満」の割合が高くなっています。

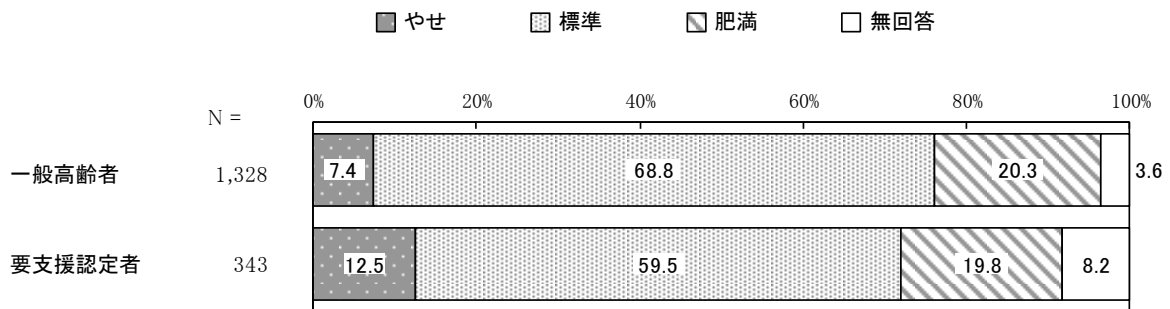


### ③ BMI

一般高齢者では、「標準」の割合が68.8%と最も高く、次いで「肥満」の割合が20.3%となっています。

要支援認定者では、「標準」の割合が59.5%と最も高く、次いで「肥満」の割合が19.8%、「やせ」の割合が12.5%となっています。

「やせ」の割合は、一般高齢者で7.4%、要支援認定者で12.5%となっており、5.1ポイントの差となっています。

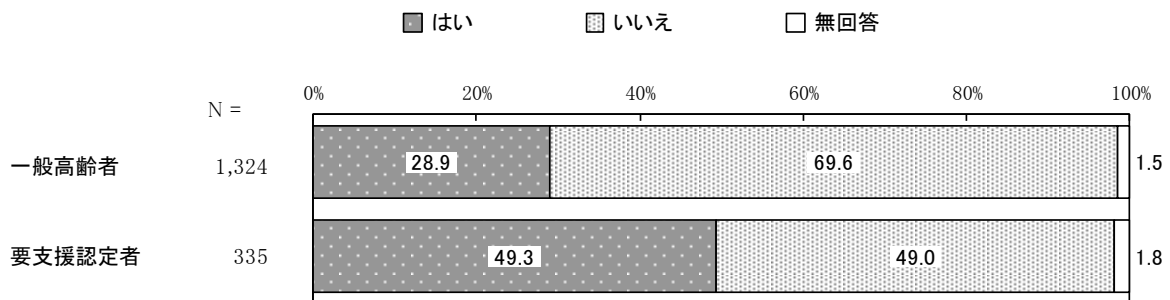


### 問17 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（1つを選択）

一般高齢者では、「はい」の割合が28.9%、「いいえ」の割合が69.6%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が49.3%、「いいえ」の割合が49.0%となっています。

「はい」の割合は、一般高齢者で28.9%、要支援認定者で49.3%となっており、20.4ポイントの差となっています。

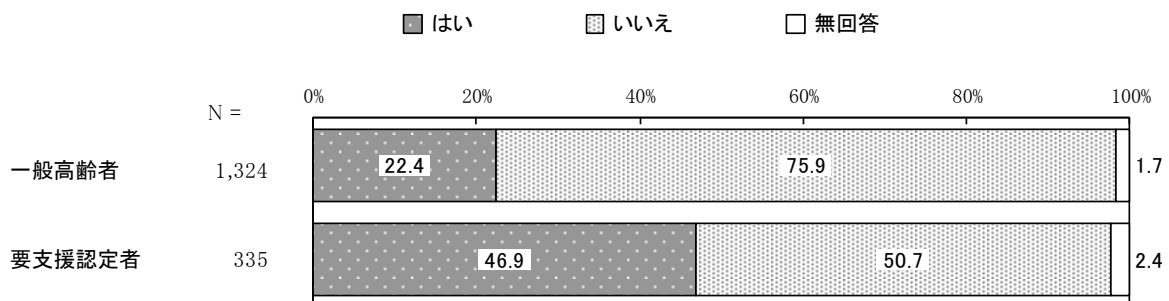


### 問 18 お茶や汁物等でむせることがありますか（1つを選択）

一般高齢者では、「はい」の割合が22.4%、「いいえ」の割合が75.9%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が46.9%、「いいえ」の割合が50.7%となっています。

「はい」の割合は、一般高齢者で22.4%、要支援認定者で46.9%となっており、24.5ポイントの差となっています。

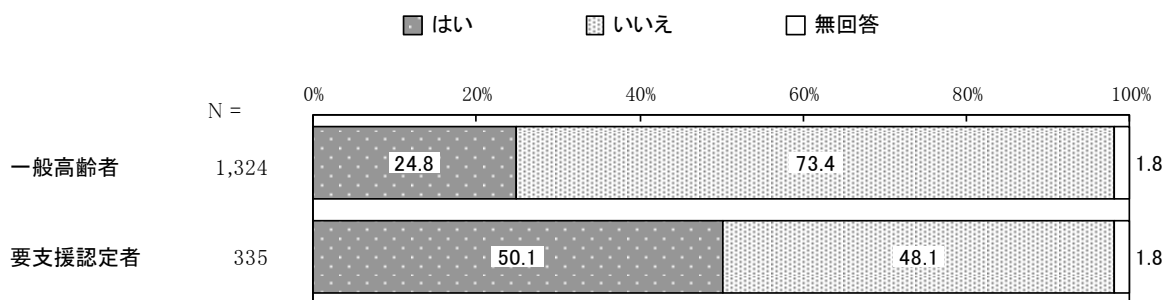


### 問 19 口の渇きが気になりますか（1つを選択）

一般高齢者では、「はい」の割合が24.8%、「いいえ」の割合が73.4%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が50.1%、「いいえ」の割合が48.1%となっています。

「はい」の割合は、一般高齢者で24.8%、要支援認定者で50.1%となっており、25.3ポイントの差となっています。

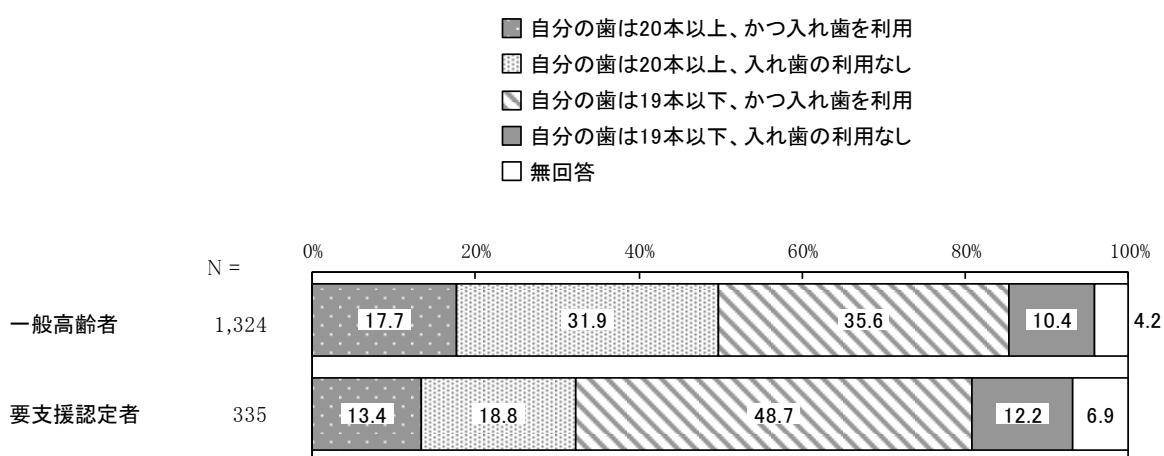


**問 20 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です）（1 つを選択）**

一般高齢者では、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が 35.6%と最も高く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」の割合が 31.9%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が 17.7%となっています。

要支援認定者では、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が 48.7%と最も高く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」の割合が 18.8%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が 13.4%となっています。

「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」と「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」を合わせた『自分の歯は 20 本以上の人』の割合は、一般高齢者で 49.6%、要支援認定者で 32.2%となっており、17.4 ポイントの差となっています。

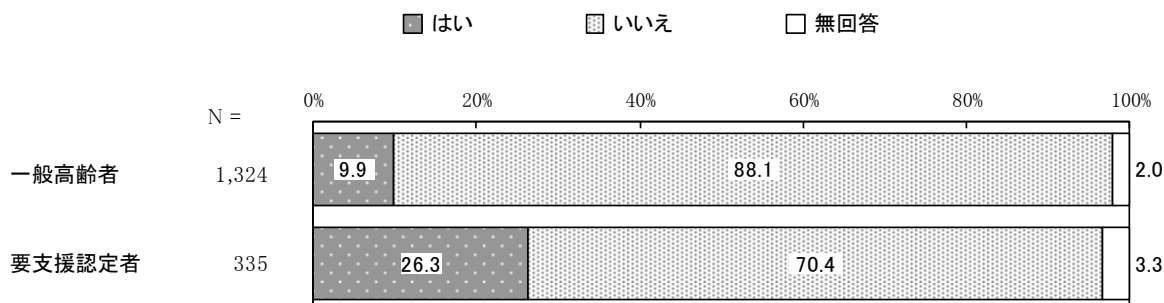


**問 21 6 か月間で 2～3 kg 以上の体重減少がありましたか（1つを選択）**

一般高齢者では、「はい」の割合が 9.9%、「いいえ」の割合が 88.1%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が 26.3%、「いいえ」の割合が 70.4%となっています。

「はい」の割合は、一般高齢者で 9.9%、要支援認定者で 26.3%となっており、16.4 ポイントの差となっています。

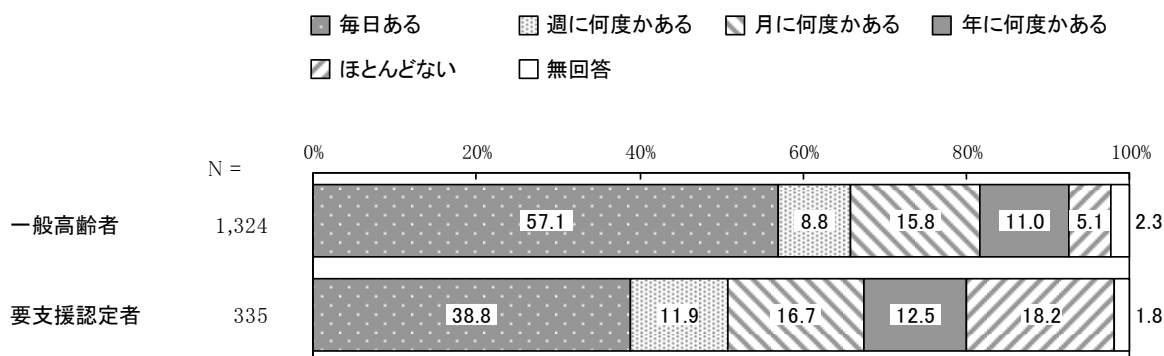


**問 22 どなたかと食事をとる機会がありますか（1つを選択）**

一般高齢者では、「毎日ある」の割合が 57.1%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が 15.8%、「年に何度かある」の割合が 11.0%となっています。

要支援認定者では、「毎日ある」の割合が 38.8%と最も高く、次いで「ほとんどない」の割合が 18.2%、「月に何度かある」の割合が 16.7%となっています。

「毎日ある」の割合は、一般高齢者で 57.1%、要支援認定者で 38.8%となっており、18.3 ポイントの差となっています。また、「ほとんどない」の割合は、一般高齢者で 5.1%、要支援認定者で 18.2%となっており、13.1 ポイントの差となっています。



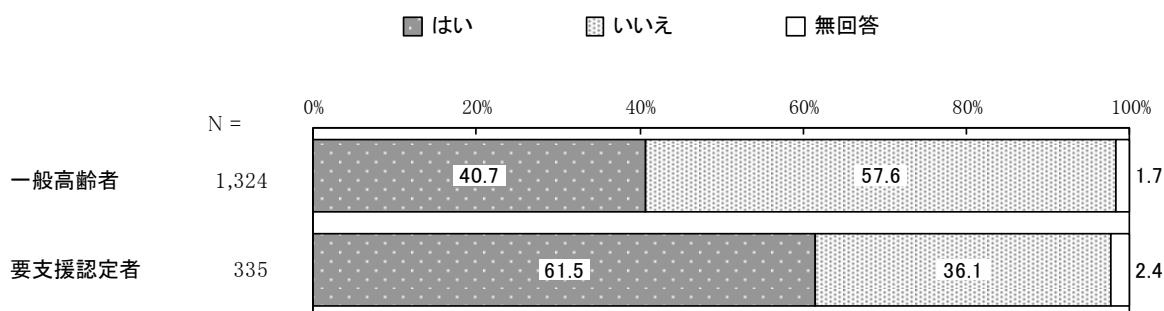
## 4 毎日の生活について

### 問 23 物忘れが多いと感じますか（1つを選択）

一般高齢者では、「はい」の割合が40.7%、「いいえ」の割合が57.6%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が61.5%、「いいえ」の割合が36.1%となっています。

「はい」の割合は、一般高齢者で40.7%、要支援認定者で61.5%となっており、20.8ポイントの差となっています。

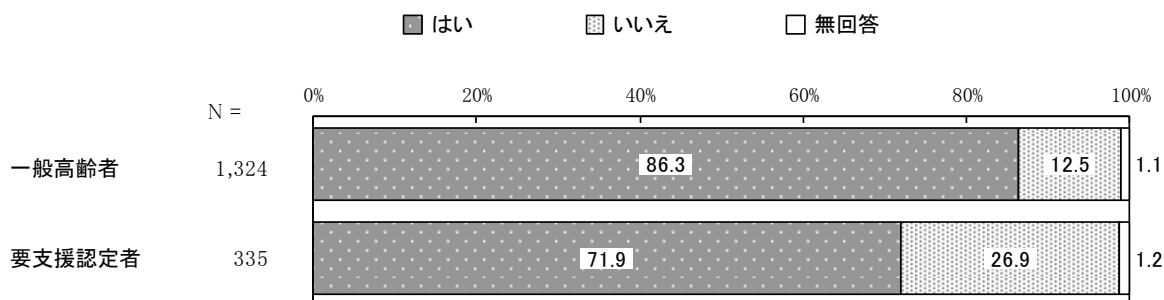


### 問 24 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか（1つを選択）

一般高齢者では、「はい」の割合が86.3%、「いいえ」の割合が12.5%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が71.9%、「いいえ」の割合が26.9%となっています。

「いいえ」の割合は、一般高齢者で12.5%、要支援認定者で26.9%となっており、14.4ポイントの差となっています。



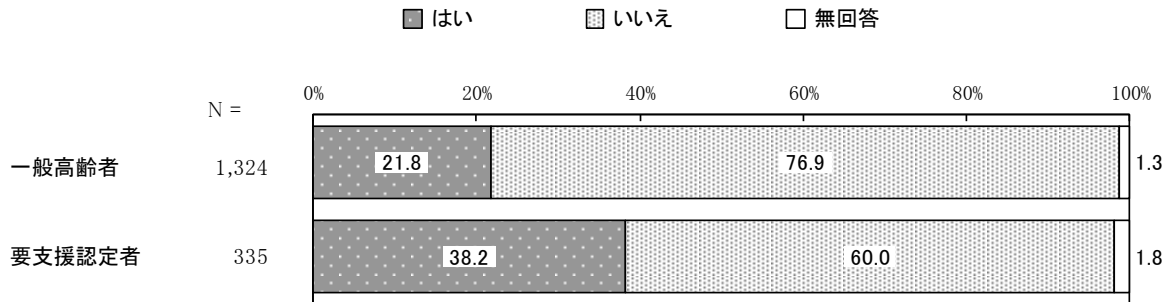


**問 25 今日が何月何日かわからない時がありますか（1つを選択）**

一般高齢者では、「はい」の割合が21.8%、「いいえ」の割合が76.9%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が38.2%、「いいえ」の割合が60.0%となっています。

「はい」の割合は、一般高齢者で21.8%、要支援認定者で38.2%となっており、16.4ポイントの差となっています。



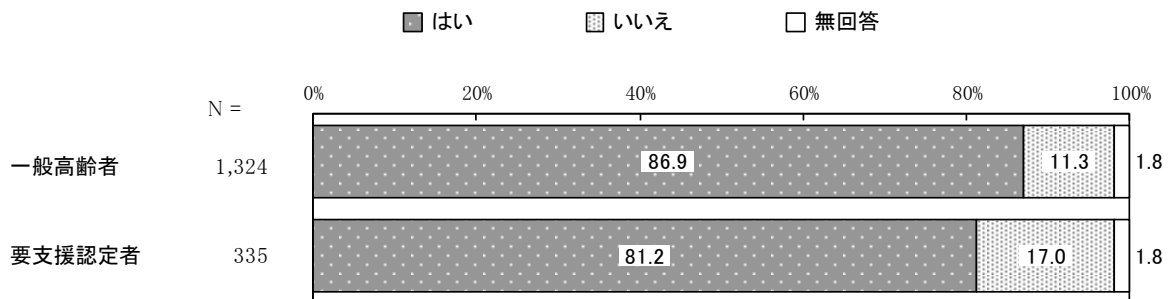
**問 26 5分前のことが思い出せますか（1つを選択）**

一般高齢者では、「はい」の割合が86.9%、「いいえ」の割合が11.3%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が81.2%、「いいえ」の割合が17.0%となっています。

認定区分別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「はい」の割合が高くなっています。

「いいえ」の割合は、一般高齢者で11.3%、要支援認定者で17.0%となっており、5.7ポイントの差となっています。

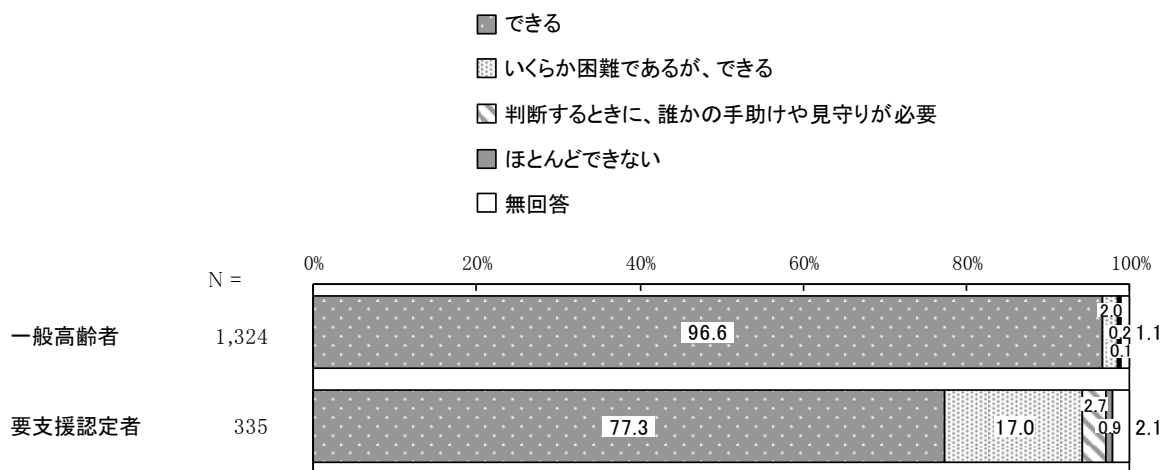


**問 27 その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか（1つを選択）**

一般高齢者では、「できる」の割合が 96.6%と最も高くなっています。

要支援認定者では、「できる」の割合が 77.3%と最も高く、次いで「いくらか困難であるが、できる」の割合が 17.0%となっています。

「できる」の割合は、一般高齢者で 96.6%、要支援認定者で 77.3%となっており、19.3 ポイントの差となっています。

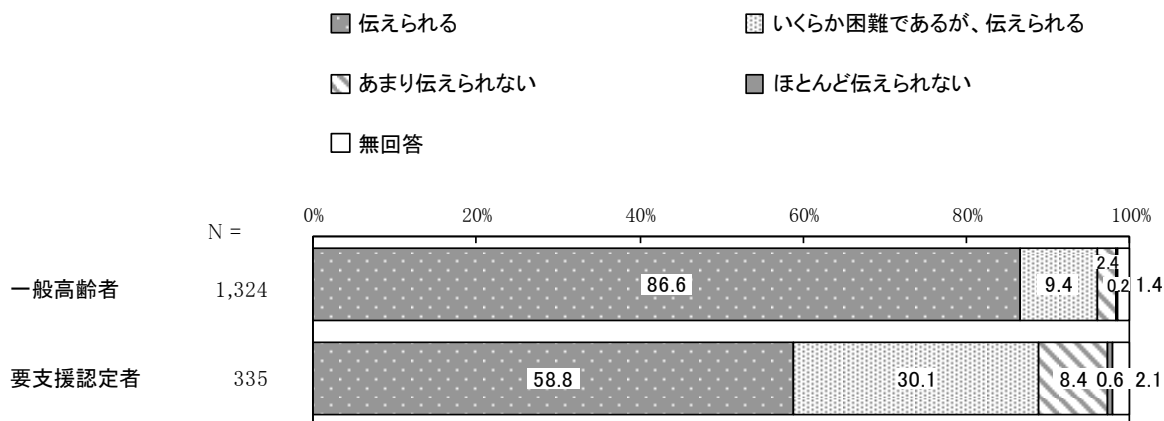


**問 28 人に自分の考えをうまく伝えられますか（1つを選択）**

一般高齢者では、「伝えられる」の割合が 86.6%と最も高くなっています。

要支援認定者では、「伝えられる」の割合が 58.8%と最も高く、次いで「いくらか困難であるが、伝えられる」の割合が 30.1%となっています。

「伝えられる」の割合は、一般高齢者で 86.6%、要支援認定者で 58.8%となっており、27.8 ポイントの差となっています。

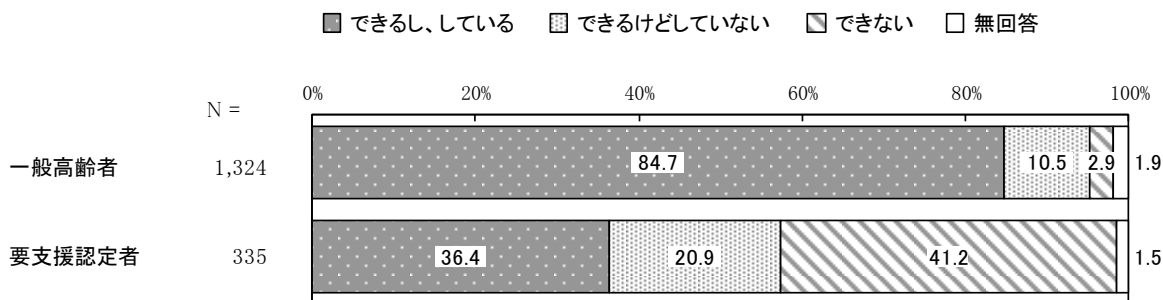


### 問 29 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）（1つを選択）

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が 84.7%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 10.5%となっています。

要支援認定者では、「できない」の割合が 41.2%と最も高く、次いで「できるし、している」の割合が 36.4%、「できるけどしていない」の割合が 20.9%となっています。

「できない」の割合は、一般高齢者で 2.9%、要支援認定者で 41.2%となっており、38.3 ポイントの差となっています。

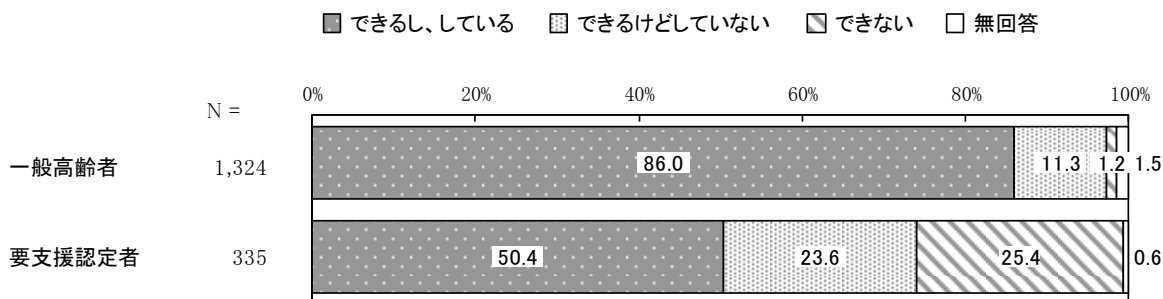


### 問 30 自分で食品・日用品の買物をしていますか（1つを選択）

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が 86.0%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 11.3%となっています。

要支援認定者では、「できるし、している」の割合が 50.4%と最も高く、次いで「できない」の割合が 25.4%、「できるけどしていない」の割合が 23.6%となっています。

「できない」の割合は、一般高齢者で 1.2%、要支援認定者で 25.4%となっており、24.2 ポイントの差となっています。

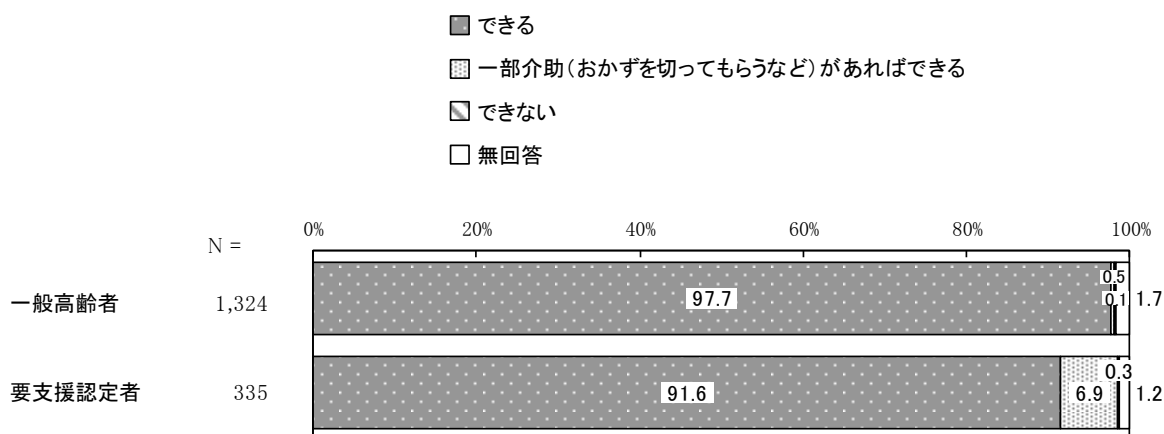


### 問 31 食事は自分で食べられますか（1つを選択）

一般高齢者では、「できる」の割合が 97.7%と最も高くなっています。

要支援認定者では、「できる」の割合が 91.6%と最も高くなっています。

「できる」の割合は、一般高齢者で 97.7%、要支援認定者で 91.6%となっており、6.1 ポイントの差となっています。

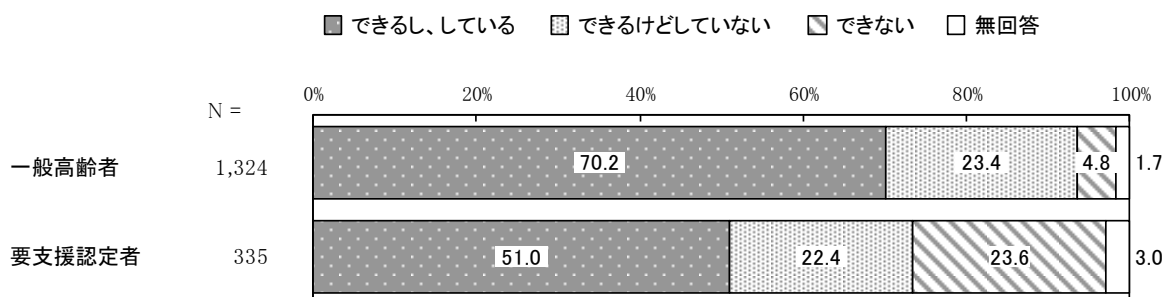


### 問 32 自分で食事の用意をしていますか（1つを選択）

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が 70.2%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 23.4%となっています。

要支援認定者では、「できるし、している」の割合が 51.0%と最も高く、次いで「できない」の割合が 23.6%、「できるけどしていない」の割合が 22.4%となっています。

「できない」の割合は、一般高齢者で 4.8%、要支援認定者で 23.6%となっており、18.8 ポイントの差となっています。

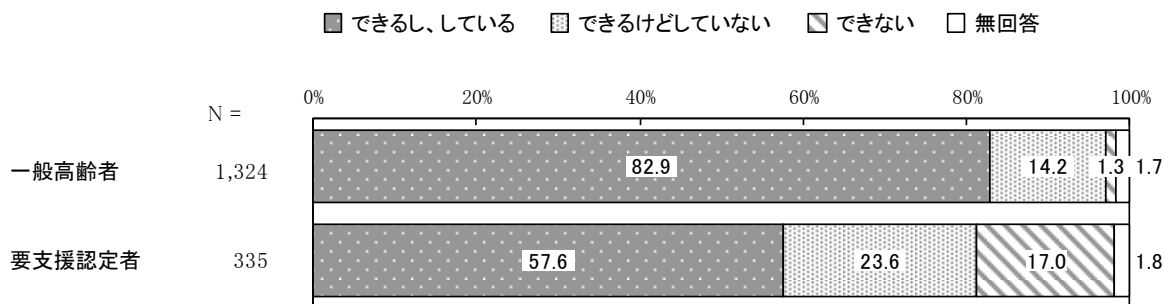


### 問 33 自分で請求書の支払いをしていますか（1つを選択）

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が 82.9%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 14.2%となっています。

要支援認定者では、「できるし、している」の割合が 57.6%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 23.6%、「できない」の割合が 17.0%となっています。

「できない」の割合は、一般高齢者で 1.3%、要支援認定者で 17.0%となっており、15.7ポイントの差となっています。

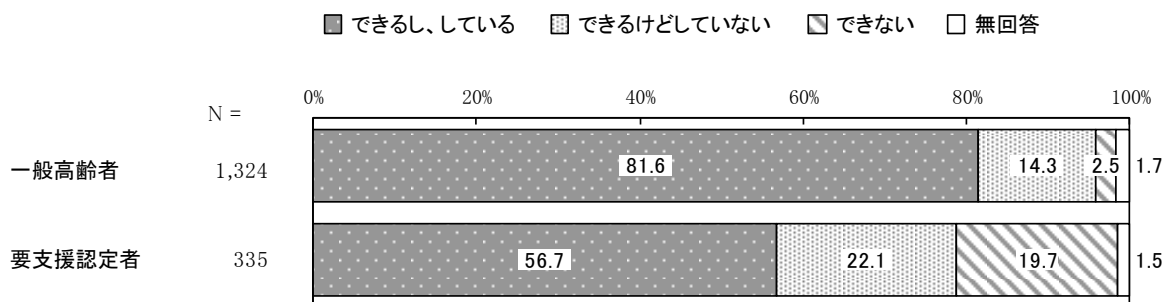


### 問 34 自分で預貯金の出し入れをしていますか（1つを選択）

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が 81.6%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 14.3%となっています。

要支援認定者では、「できるし、している」の割合が 56.7%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 22.1%、「できない」の割合が 19.7%となっています。

「できない」の割合は、一般高齢者で 2.5%、要支援認定者で 19.7%となっており、17.2ポイントの差となっています。

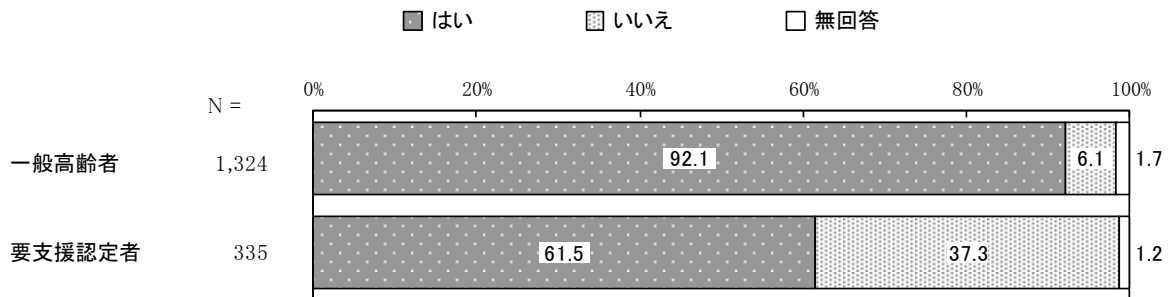


**問 35 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか（1つを選択）**

一般高齢者では、「はい」の割合が92.1%、「いいえ」の割合が6.1%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が61.5%、「いいえ」の割合が37.3%となっています。

「いいえ」の割合は、一般高齢者で6.1%、要支援認定者で37.3%となっており、31.2ポイントの差となっています。

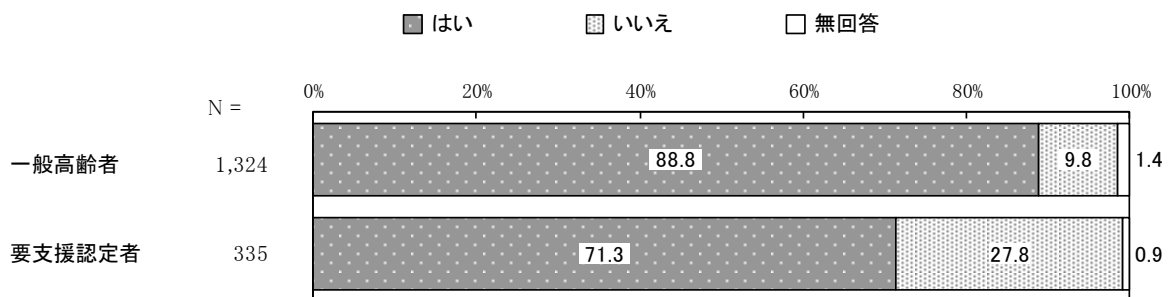


**問 36 新聞を読んでいますか（1つを選択）**

一般高齢者では、「はい」の割合が88.8%、「いいえ」の割合が9.8%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が71.3%、「いいえ」の割合が27.8%となっています。

「いいえ」の割合は、一般高齢者で9.8%、要支援認定者で27.8%となっており、18.0ポイントの差となっています。

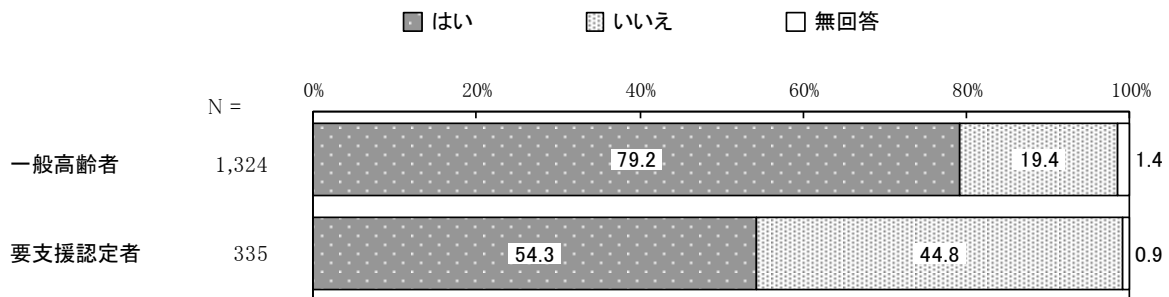


### 問 37 本や雑誌を読んでいますか（1つを選択）

一般高齢者では、「はい」の割合が79.2%、「いいえ」の割合が19.4%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が54.3%、「いいえ」の割合が44.8%となっています。

「いいえ」の割合は、一般高齢者で19.4%、要支援認定者で44.8%となっており、25.4ポイントの差となっています。

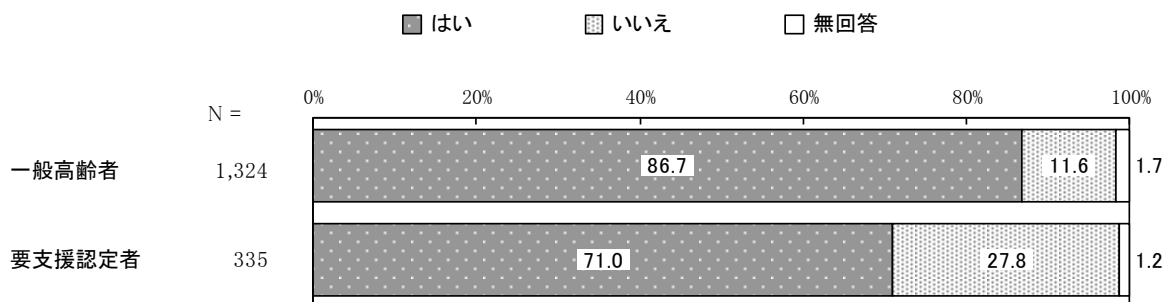


### 問 38 市の広報（広報ちりゅう）は読んでいますか（1つを選択）

一般高齢者では、「はい」の割合が86.7%、「いいえ」の割合が11.6%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が71.0%、「いいえ」の割合が27.8%となっています。

「いいえ」の割合は、一般高齢者で11.6%、要支援認定者で27.8%となっており、16.2ポイントの差となっています。

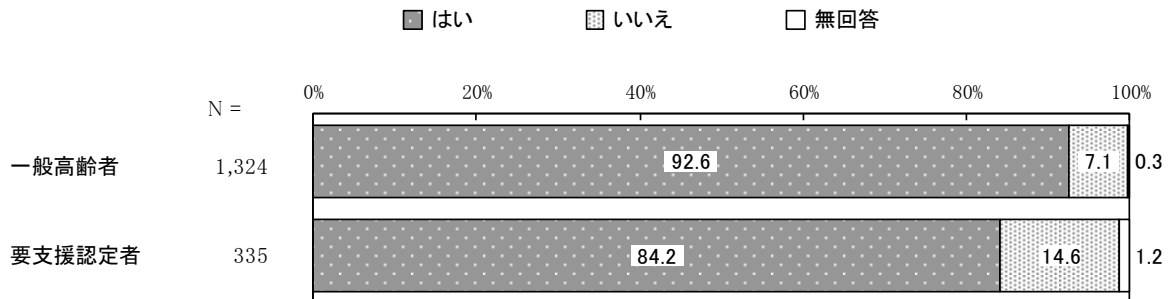


### 問 39 健康についての記事や番組に関心がありますか（1つを選択）

一般高齢者では、「はい」の割合が 92.6%、「いいえ」の割合が 7.1%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が 84.2%、「いいえ」の割合が 14.6%となっています。

「いいえ」の割合は、一般高齢者で 7.1%、要支援認定者で 14.6%となっており、7.5 ポイントの差となっています。

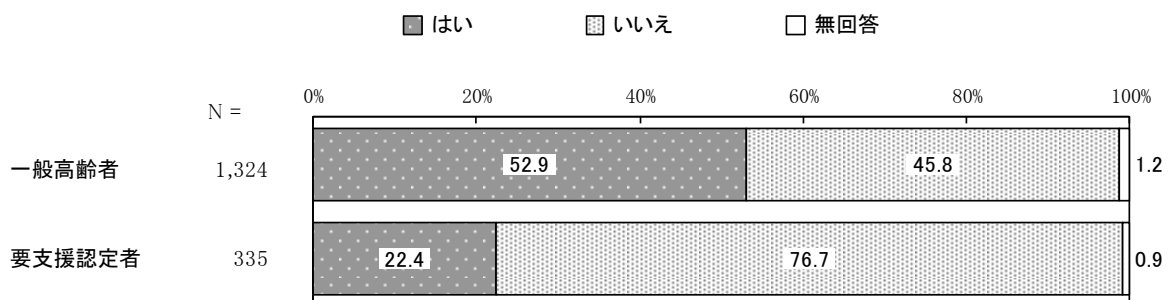


### 問 40 友人の家を訪ねていますか（1つを選択）

一般高齢者では、「はい」の割合が 52.9%、「いいえ」の割合が 45.8%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が 22.4%、「いいえ」の割合が 76.7%となっています。

「いいえ」の割合は、一般高齢者で 45.8%、要支援認定者で 76.7%となっており、30.9 ポイントの差となっています。



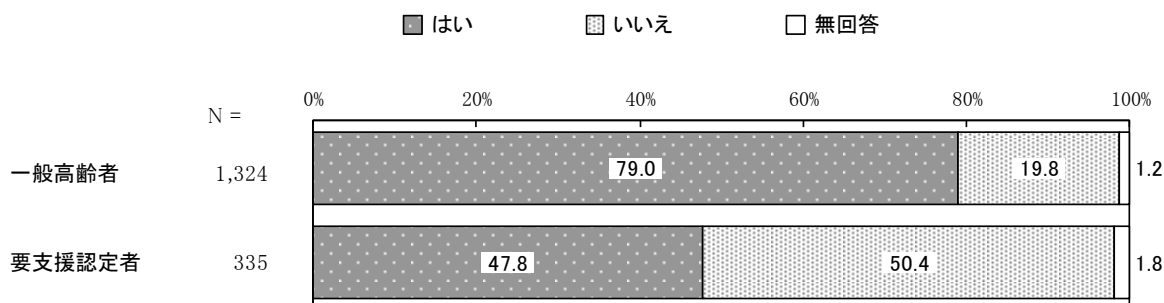


### 問 41 家族や友人の相談にのっていますか（1つを選択）

一般高齢者では、「はい」の割合が79.0%、「いいえ」の割合が19.8%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が47.8%、「いいえ」の割合が50.4%となっています。

「いいえ」の割合は、一般高齢者で19.8%、要支援認定者で50.4%となっており、30.6ポイントの差となっています。

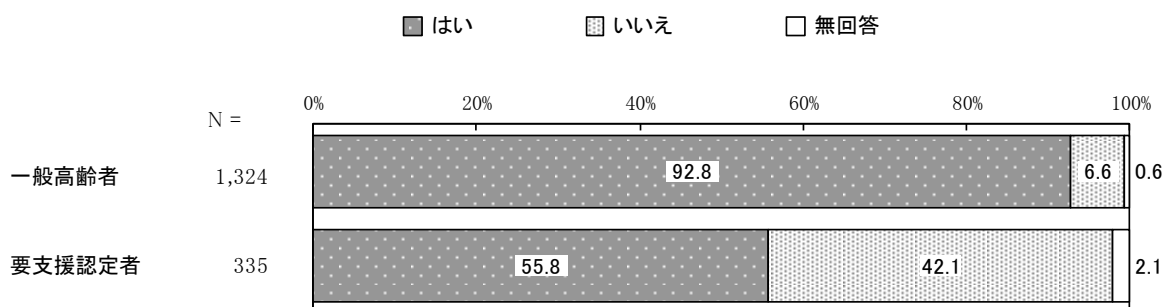


### 問 42 病人を見舞うことができますか（1つを選択）

一般高齢者では、「はい」の割合が92.8%、「いいえ」の割合が6.6%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が55.8%、「いいえ」の割合が42.1%となっています。

「いいえ」の割合は、一般高齢者で6.6%、要支援認定者で42.1%となっており、35.5ポイントの差となっています。

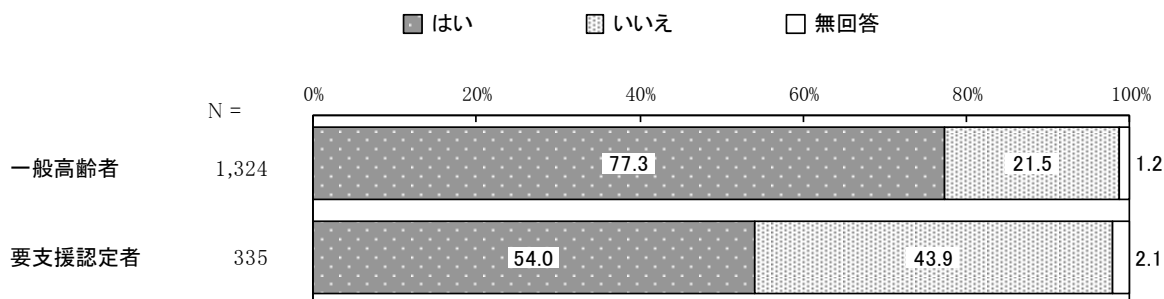


**問 43 若い人に自分から話しかけることがありますか（1つを選択）**

一般高齢者では、「はい」の割合が77.3%、「いいえ」の割合が21.5%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が54.0%、「いいえ」の割合が43.9%となっています。

「いいえ」の割合は、一般高齢者で21.5%、要支援認定者で43.9%となっており、22.4ポイントの差となっています。

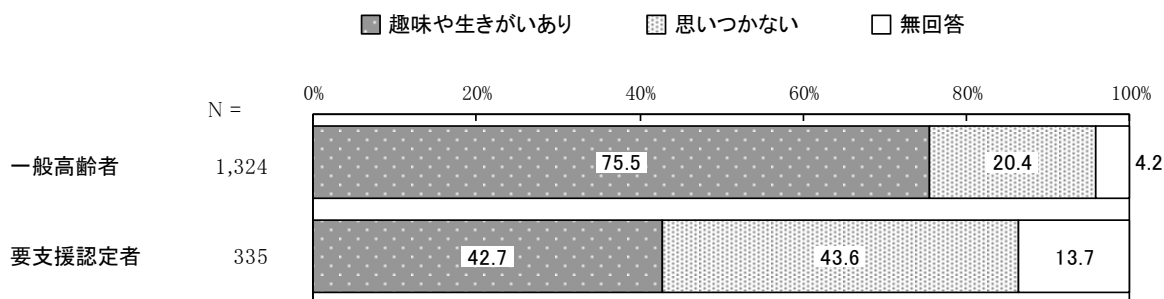


**問 44 趣味や生きがいはありますか。ある場合は（ ）内にご記入ください（1つを選択）**

一般高齢者では、「趣味や生きがいあり」の割合が75.5%、「思いつかない」の割合が20.4%となっています。

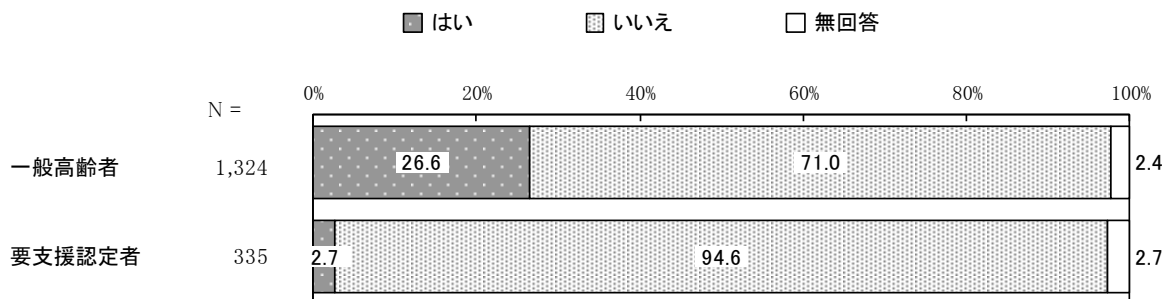
要支援認定者では、「趣味や生きがいあり」の割合が42.7%、「思いつかない」の割合が43.6%となっています。

「生きがいあり」の割合は、一般高齢者で75.5%、要支援認定者で42.7%となっており、32.8ポイントの差となっています。



### 問 45 収入のある仕事をしていますか（1つを選択）

一般高齢者では、「はい」の割合が26.6%、「いいえ」の割合が71.0%となっています。  
 要支援認定者では、「はい」の割合が2.7%、「いいえ」の割合が94.6%となっています。

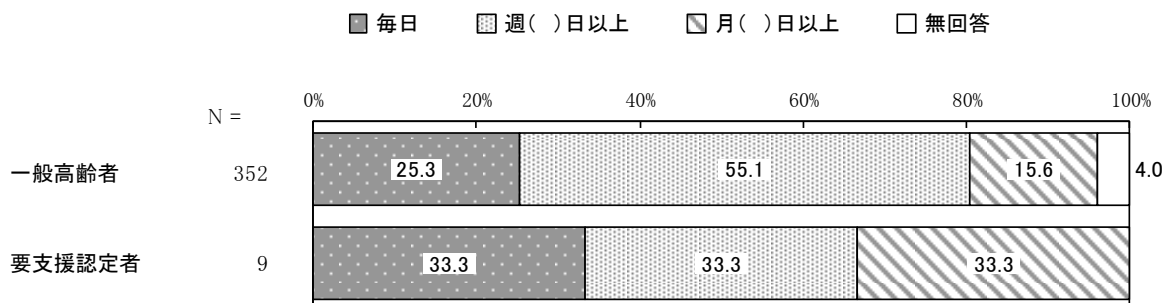


### 【問 45 で「1 はい」と答えた方にお聞きします】

#### 問 45-① どのくらい仕事をされていますか（1つを選択）

一般高齢者では、「週（ ）日以上」の割合が55.1%と最も高く、次いで「毎日」の割合が25.3%、「月（ ）日以上」の割合が15.6%となっています。

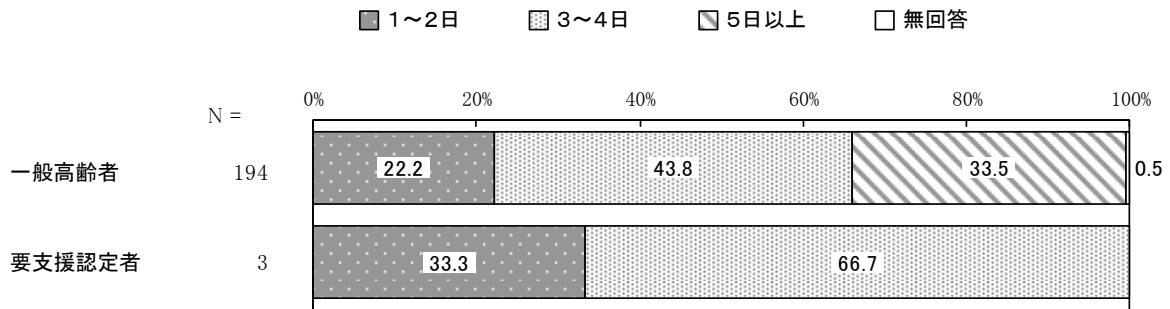
要支援認定者では、収入のある仕事をしている人は9人しかおらず、「毎日」、「週（ ）日以上」、「月（ ）日以上」がそれぞれ3件となっています。



## 2 週当たり日数

一般高齢者では、「3～4日」の割合が43.8%と最も高く、次いで「5日以上」の割合が33.5%、「1～2日」の割合が22.2%となっています。

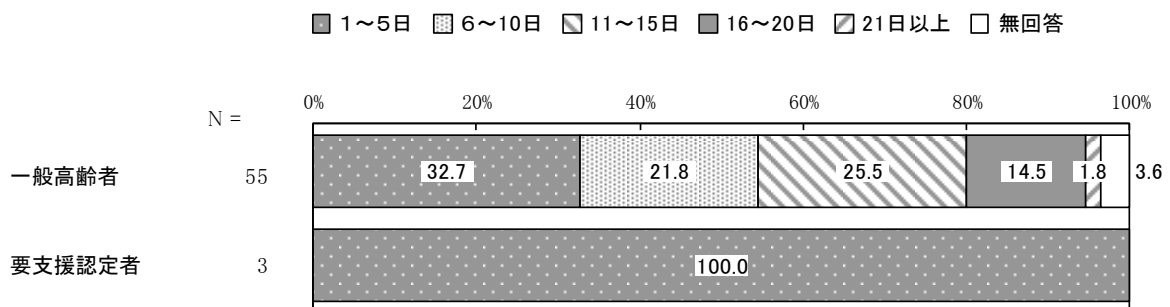
要支援認定者では、「3～4日」が2件、「1～2日」が1件となっています。



## 3 月当たり日数

一般高齢者では、「1～5日」の割合が32.7%と最も高く、次いで「11～15日」の割合が25.5%、「6～10日」の割合が21.8%となっています。

要支援認定者では、「1～5日」が3件となっています。



## 5 地域での活動について

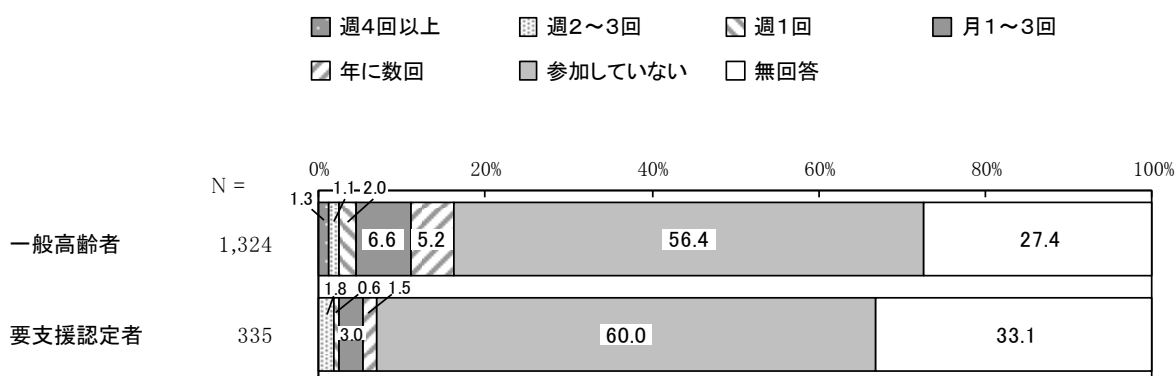
問 46 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか  
 ※①～⑥それぞれ1つを選択

### ①ボランティアのグループ

一般高齢者では、「参加していない」の割合が56.4%と最も高くなっています。

要支援認定者では、「参加していない」の割合が60.0%と最も高くなっています。

年に数回以上ボランティアのグループに参加している人の割合は、要支援認定者に比べ、一般高齢者で高くなっています。

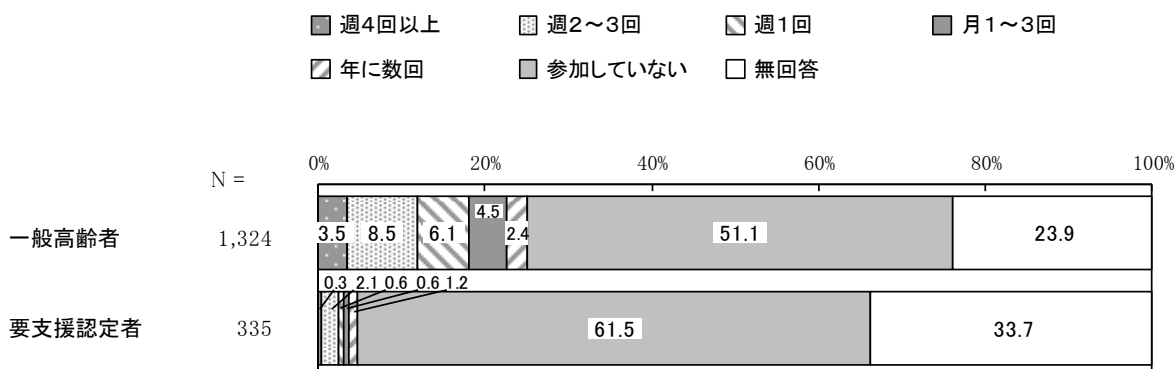


### ②スポーツ関係のグループやクラブ

一般高齢者では、「参加していない」の割合が51.1%と最も高くなっています。

要支援認定者では、「参加していない」の割合が61.5%と最も高くなっています。

認定区分別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「週2～3回」「週1回」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「参加していない」の割合が高くなっています。

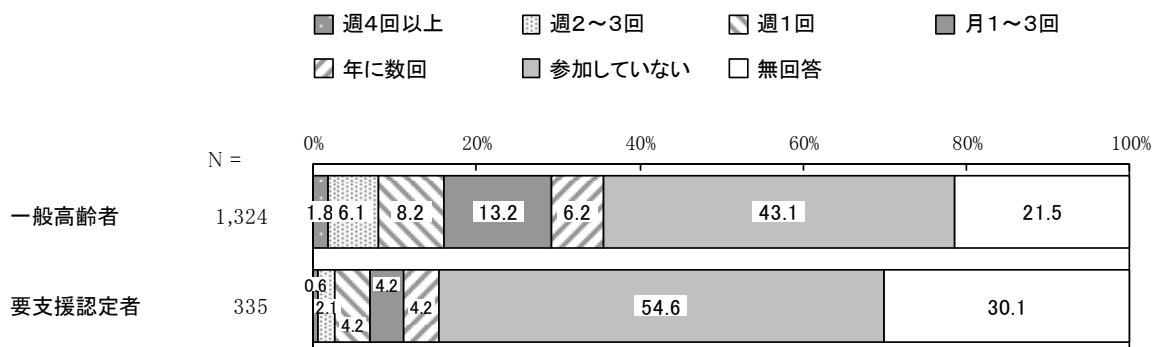


### ③趣味関係のグループ

一般高齢者では、「参加していない」の割合が43.1%と最も高く、次いで「月1～3回」の割合が13.2%となっています。

要支援認定者では、「参加していない」の割合が54.6%と最も高くなっています。

認定区分別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「月1～3回」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「参加していない」の割合が高くなっています。

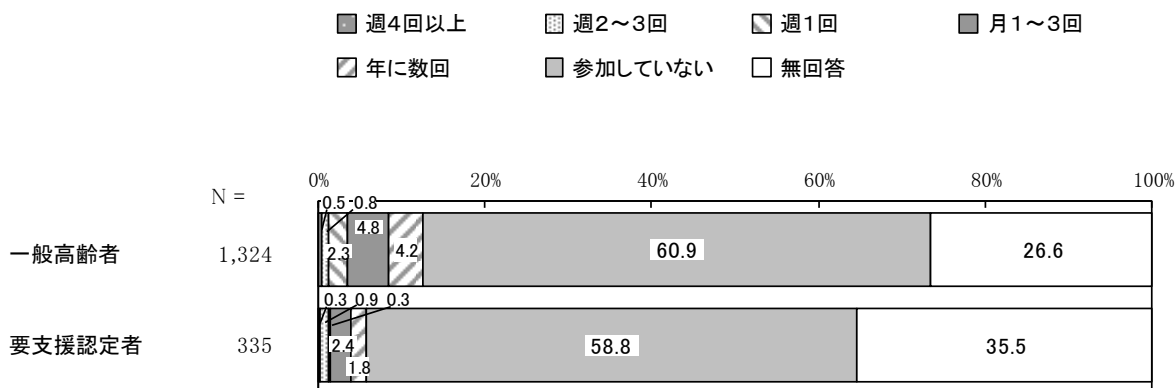


### ④学習・教養サークル

一般高齢者では、「参加していない」の割合が60.9%と最も高くなっています。

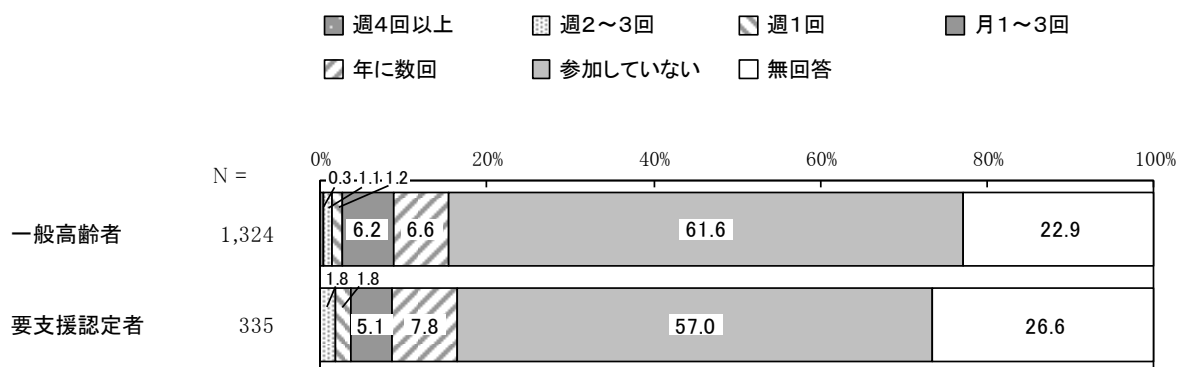
要支援認定者では、「参加していない」の割合が58.8%と最も高くなっています。

年に数回以上学習・教養サークルに参加している人の割合は、要支援認定者に比べ、一般高齢者で高くなっています。



### ⑤老人クラブ

一般高齢者では、「参加していない」の割合が61.6%と最も高くなっています。  
 要支援認定者では、「参加していない」の割合が57.0%と最も高くなっています。  
 認定区分別でみると、大きな差異はみられません。

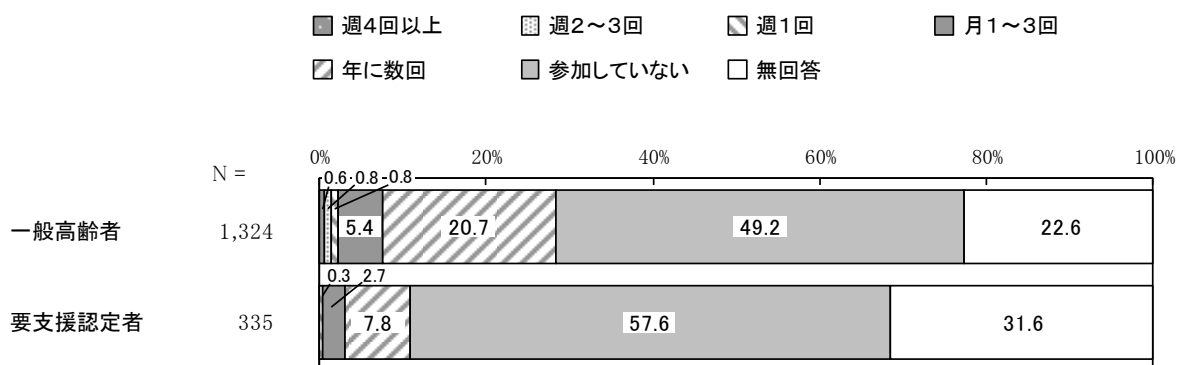


### ⑥町内会・自治会

一般高齢者では、「参加していない」の割合が49.2%と最も高く、次いで「年に数回」の割合が20.7%となっています。

要支援認定者では、「参加していない」の割合が57.6%と最も高くなっています。

認定区分別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「年に数回」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「参加していない」の割合が高くなっています。

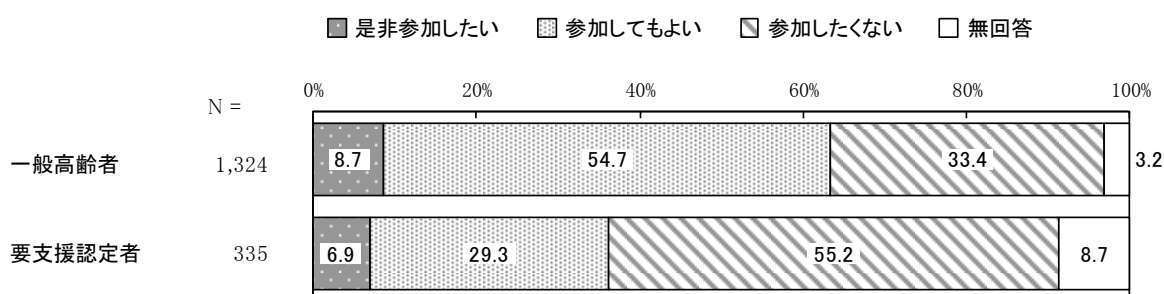


**問 47 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（1つを選択）**

一般高齢者では、「参加してもよい」の割合が 54.7%と最も高く、次いで「参加したくない」の割合が 33.4%となっています。

要支援認定者では、「参加したくない」の割合が 55.2%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が 29.3%となっています。

認定区分別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「参加してもよい」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「参加したくない」の割合が高くなっています。

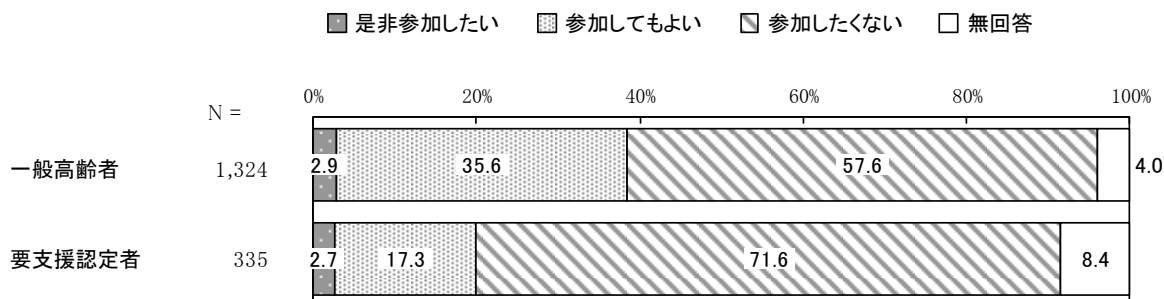


**問 48 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（1つを選択）**

一般高齢者では、「参加したくない」の割合が 57.6%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が 35.6%となっています。

要支援認定者では、「参加したくない」の割合が 71.6%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が 17.3%となっています。

認定区分別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「参加してもよい」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「参加したくない」の割合が高くなっています。





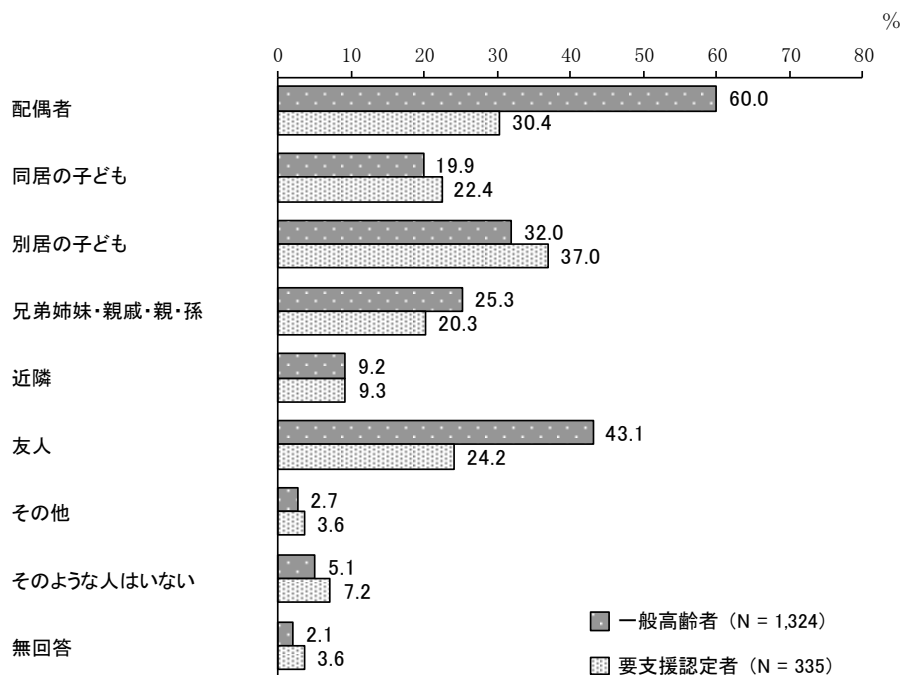
## 6 たすけあいについて あなたとまわりの人の「たすけあい」について

### 問 49 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（複数選択可）

一般高齢者では、「配偶者」の割合が60.0%と最も高く、次いで「友人」の割合が43.1%、「別居の子ども」の割合が32.0%となっています。

要支援認定者では、「別居の子ども」の割合が37.0%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が30.4%、「友人」の割合が24.2%となっています。

認定区分別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「配偶者」「友人」の割合が高くなっています。

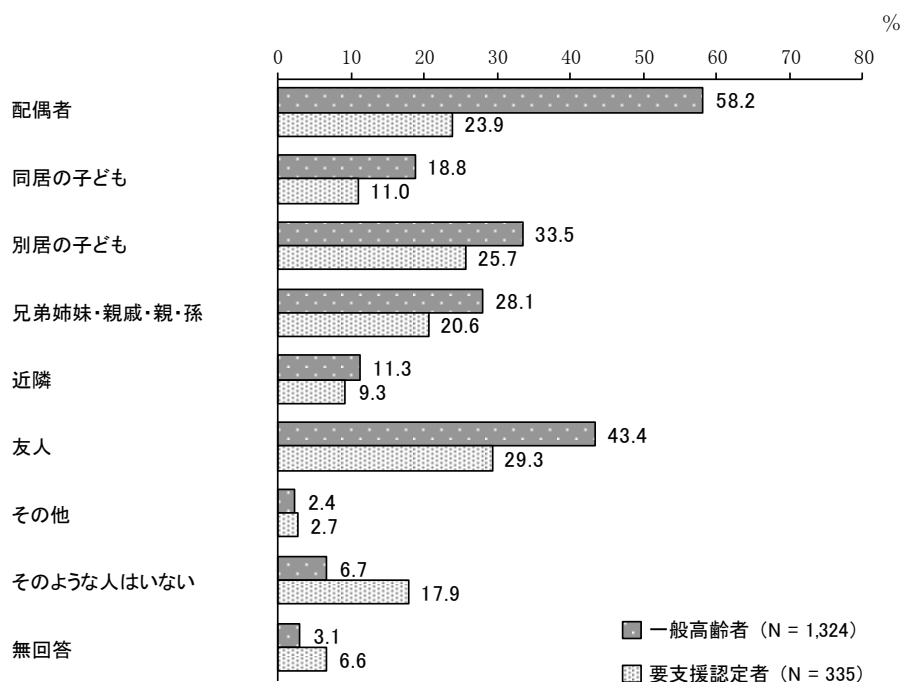


## 問 50 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（複数選択可）

一般高齢者では、「配偶者」の割合が58.2%と最も高く、次いで「友人」の割合が43.4%、「別居の子ども」の割合が33.5%となっています。

要支援認定者では、「友人」の割合が29.3%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が25.7%、「配偶者」の割合が23.9%となっています。

認定区分別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「配偶者」「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

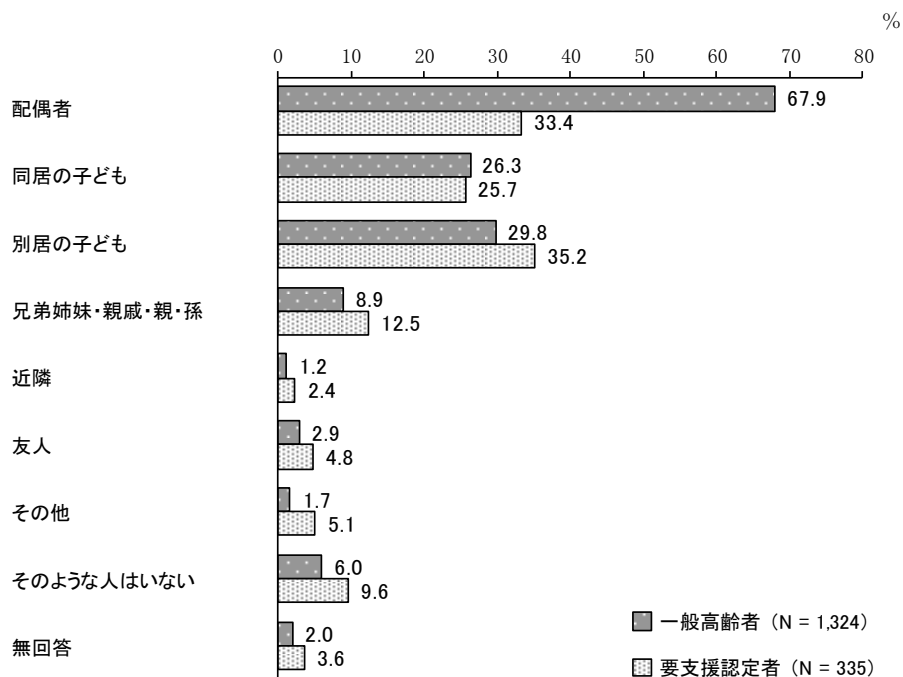


問 51 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（複数選択可）

一般高齢者では、「配偶者」の割合が67.9%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が29.8%、「同居の子ども」の割合が26.3%となっています。

要支援認定者では、「別居の子ども」の割合が35.2%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が33.4%、「同居の子ども」の割合が25.7%となっています。

認定区分別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「配偶者」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「別居の子ども」の割合が高くなっています。

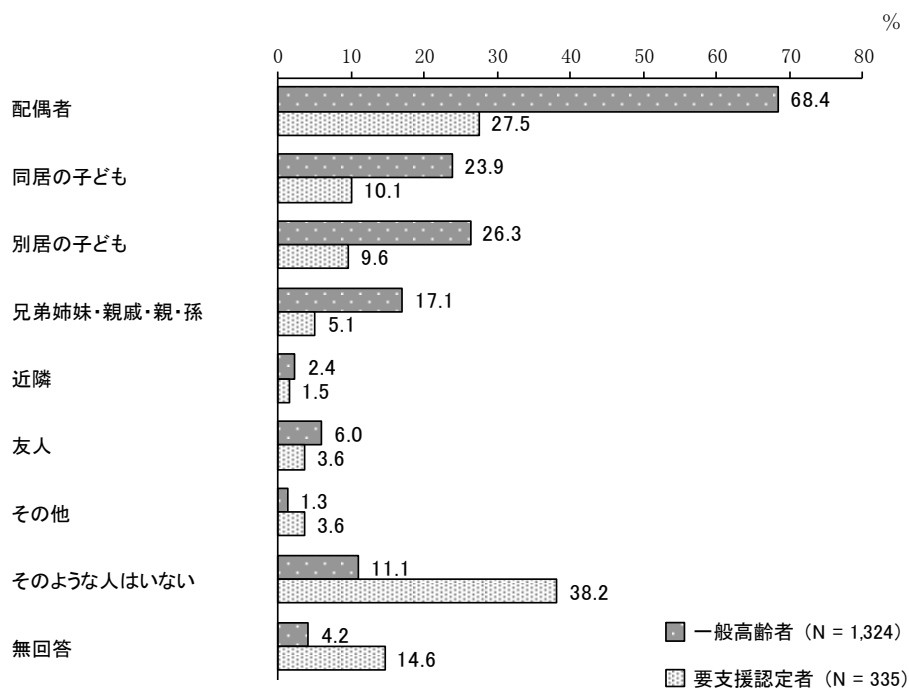


## 問 52 反対に、看病や世話をしあける人（複数選択可）

一般高齢者では、「配偶者」の割合が68.4%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が26.3%、「同居の子ども」の割合が23.9%となっています。

要支援認定者では、「そのような人はいない」の割合が38.2%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が27.5%、「同居の子ども」の割合が10.1%となっています。

認定区分別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「配偶者」「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

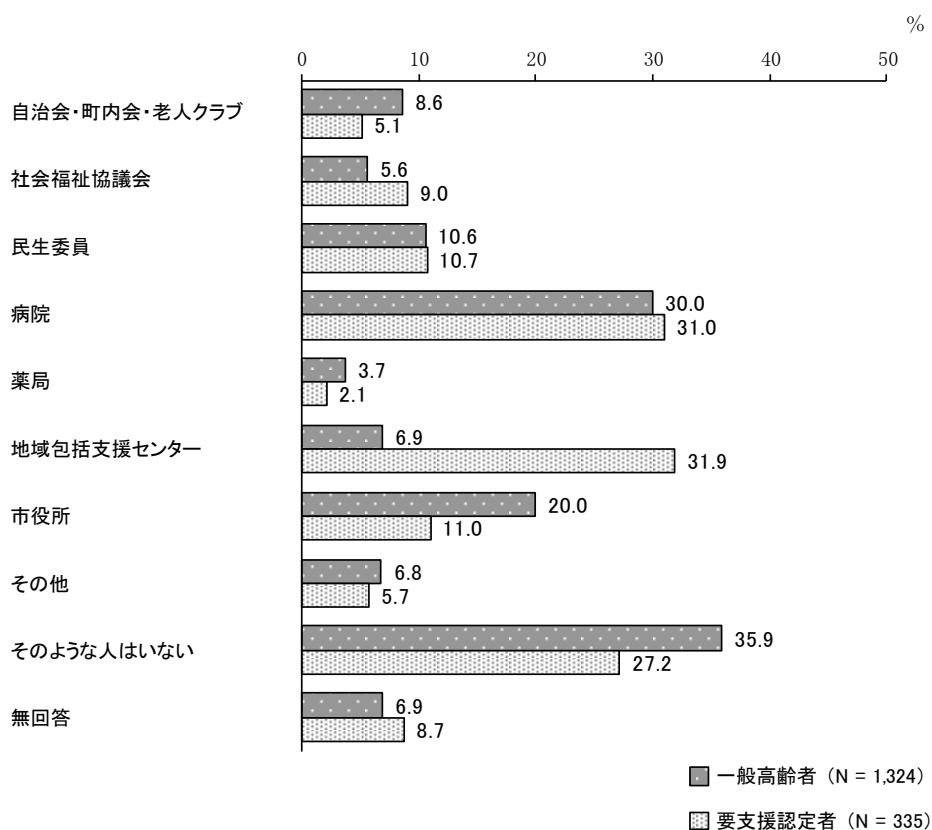


**問 53 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（複数選択可）**

一般高齢者では、「そのような人はいない」の割合が 35.9%と最も高く、次いで「病院」の割合が 30.0%、「市役所」の割合が 20.0%となっています。

要支援認定者では、「地域包括支援センター」の割合が 31.9%と最も高く、次いで「病院」の割合が 31.0%、「そのような人はいない」の割合が 27.2%となっています。

認定区分別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「市役所」「そのような人はいない」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「地域包括支援センター」の割合が高くなっています。

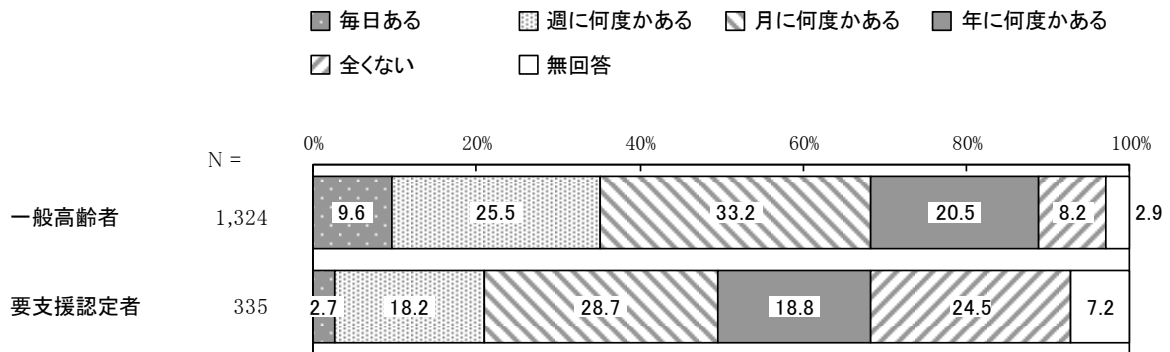


問 54 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（1つを選択）

一般高齢者では、「月に何度かある」の割合が 33.2%と最も高く、次いで「週に何度かある」の割合が 25.5%、「年に何度かある」の割合が 20.5%となっています。

要支援認定者では、「月に何度かある」の割合が 28.7%と最も高く、次いで「全くない」の割合が 24.5%、「年に何度かある」の割合が 18.8%となっています。

認定区分別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「毎日ある」「週に何度かある」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「全くない」の割合が高くなっています。

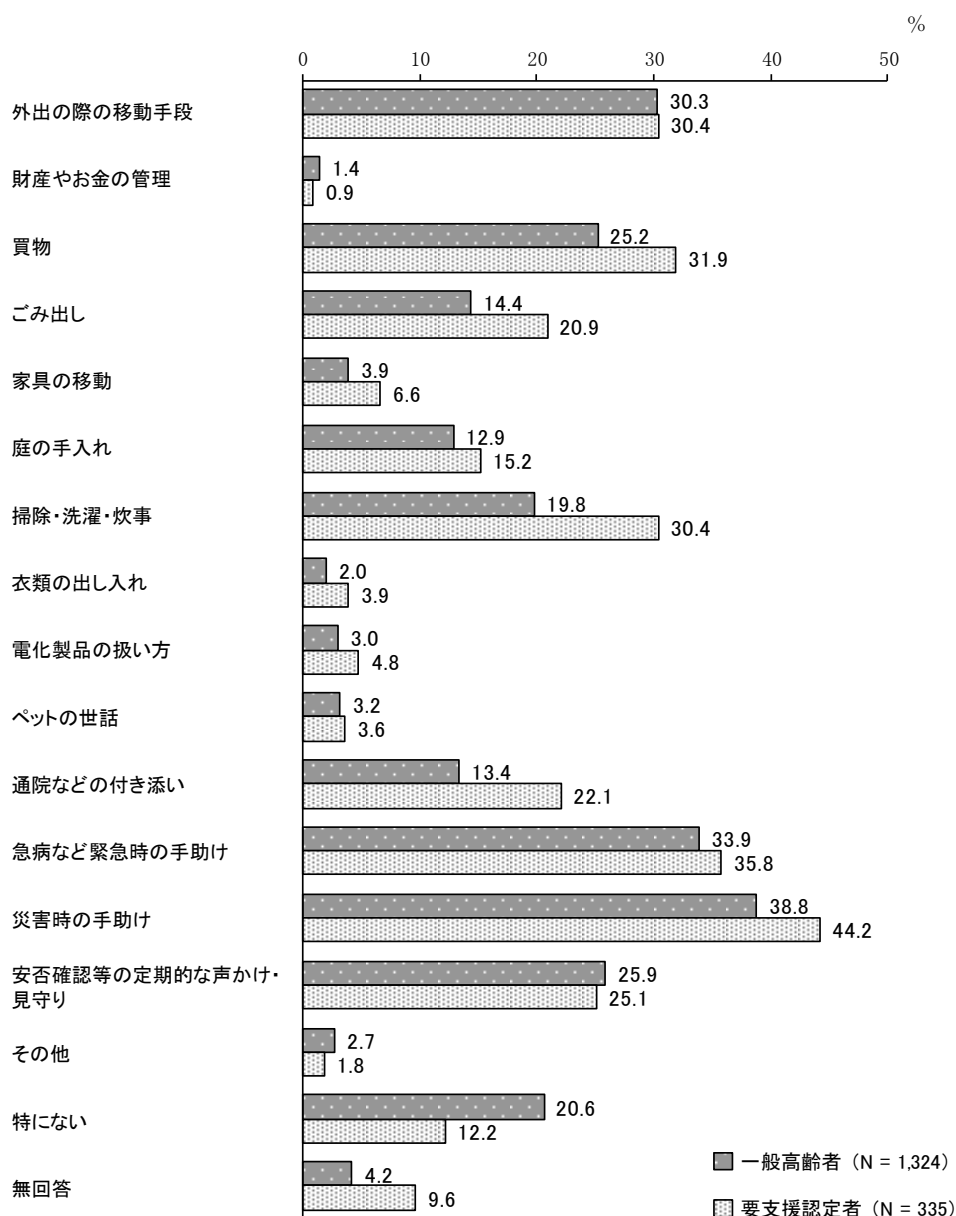


問 55 あなたやご家族が日常生活上の支援が必要になったとき、地域の人にどのような支援をしてほしいと思いますか（複数選択可）

一般高齢者では、「災害時の手助け」の割合が 38.8%と最も高く、次いで「急病など緊急時の手助け」の割合が 33.9%、「外出の際の移動手段」の割合が 30.3%となっています。

要支援認定者では、「災害時の手助け」の割合が 44.2%と最も高く、次いで「急病など緊急時の手助け」の割合が 35.8%、「買物」の割合が 31.9%となっています。

認定区分別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「特にない」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「買物」「ごみ出し」「掃除・洗濯・炊事」「通院などの付き添い」「災害時の手助け」の割合が高くなっています。

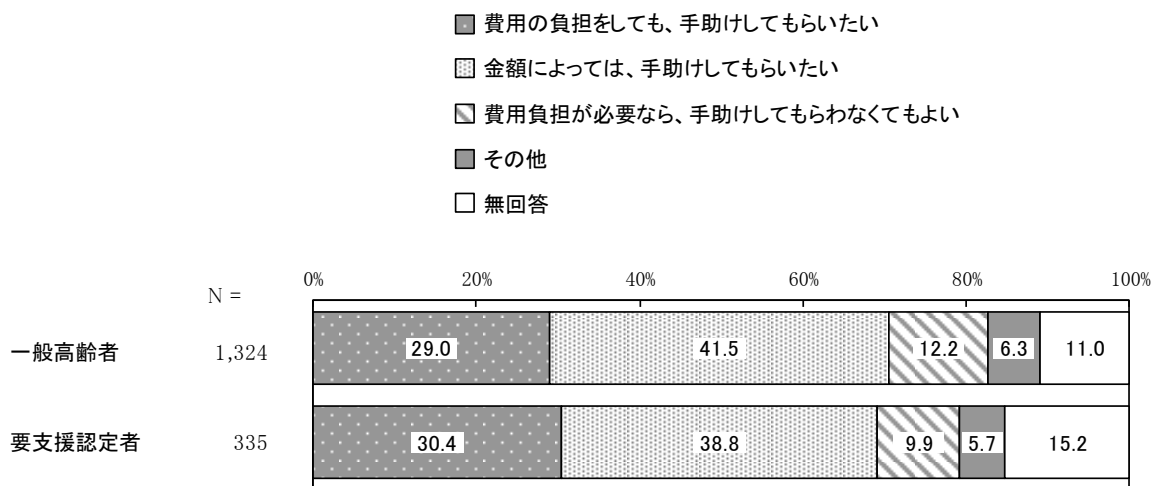


**問 56 あなたや家族が日常生活上の支援が必要になったとき、地域の人の手助けに対し、費用の負担をすることをどう思いますか（1つを選択）**

一般高齢者では、「金額によっては、手助けしてもらいたい」の割合が 41.5%と最も高く、次いで「費用の負担をしても、手助けしてもらいたい」の割合が 29.0%、「費用負担が必要なら、手助けしてもらわなくてもよい」の割合が 12.2%となっています。

要支援認定者では、「金額によっては、手助けしてもらいたい」の割合が 38.8%と最も高く、次いで「費用の負担をしても、手助けしてもらいたい」の割合が 30.4%となっています。

認定区分別でみると、大きな差異はみられません。



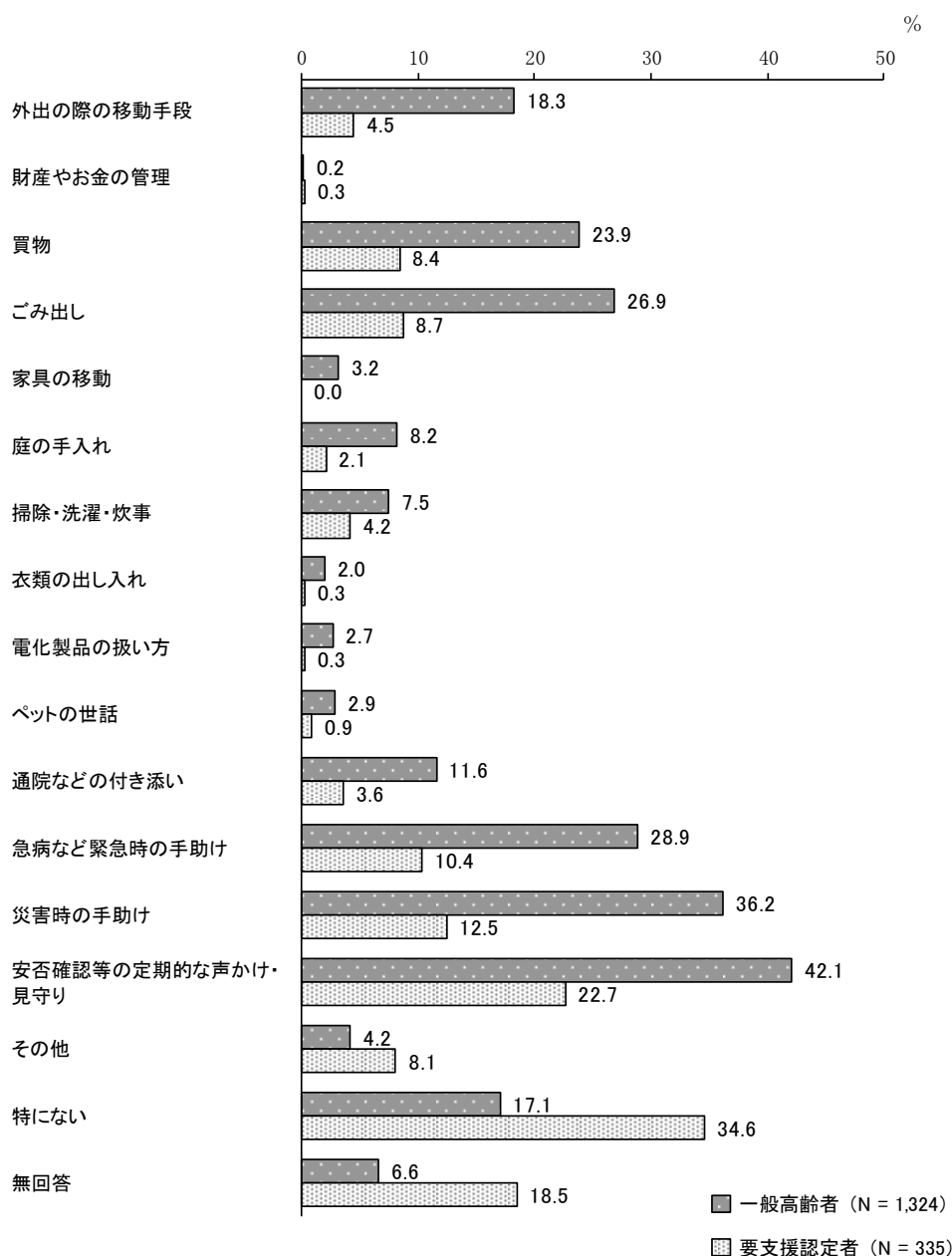


問 57 あなたのご近所で、高齢者や障がい者のみの世帯など、困っている世帯があったら、どんな対応ができますか（複数選択可）

一般高齢者では、「安否確認等の定期的な声かけ・見守り」の割合が 42.1%と最も高く、次いで「災害時の手助け」の割合が 36.2%、「急病など緊急時の手助け」の割合が 28.9%となっています。

要支援認定者では、「特にない」の割合が 34.6%と最も高く、次いで「安否確認等の定期的な声かけ・見守り」の割合が 22.7%、「災害時の手助け」の割合が 12.5%となっています。

認定区分別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「外出の際の移動手段」「買物」「ごみ出し」「庭の手入れ」「通院などの付き添い」「急病など緊急時の手助け」「災害時の手助け」「安否確認等の定期的な声かけ・見守り」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「特にない」の割合が高くなっています。

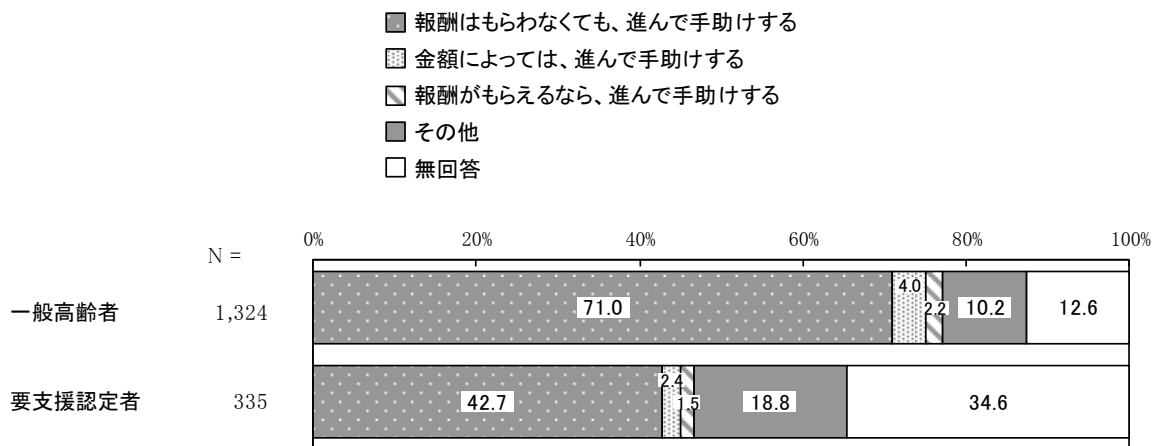


問 58 近所で、高齢者や障がい者のみの世帯など、困っている世帯への手助けに対し、報酬をもらうことをどう思いますか（1つを選択）

一般高齢者では、「報酬はもらわなくても、進んで手助けする」の割合が 71.0%と最も高くなっています。

要支援認定者では、「報酬はもらわなくても、進んで手助けする」の割合が 42.7%と最も高くなっています。

認定区分別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「報酬はもらわなくても、進んで手助けする」の割合が高くなっています。



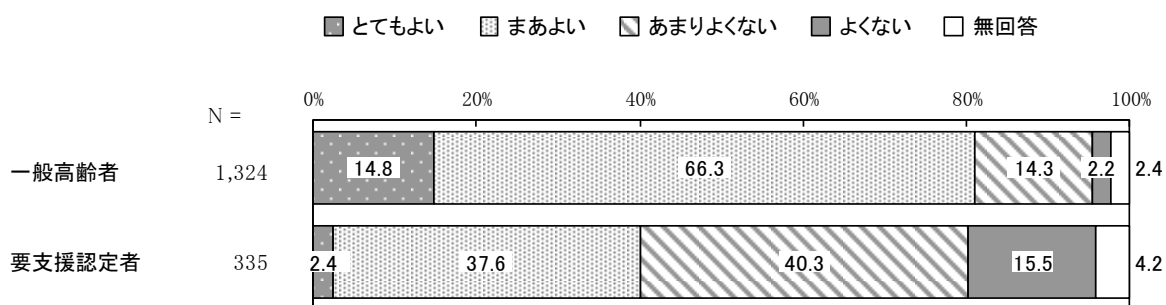
## 7 健康について

### 問 59 現在のあなたの健康状態はいかがですか（1つを選択）

一般高齢者では、「まあよい」の割合が66.3%と最も高く、次いで「とてもよい」の割合が14.8%、「あまりよくない」の割合が14.3%となっています。

要支援認定者では、「あまりよくない」の割合が40.3%と最も高く、次いで「まあよい」の割合が37.6%、「よくない」の割合が15.5%となっています。

認定区分別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「とてもよい」「まあよい」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「あまりよくない」「よくない」の割合が高くなっています。

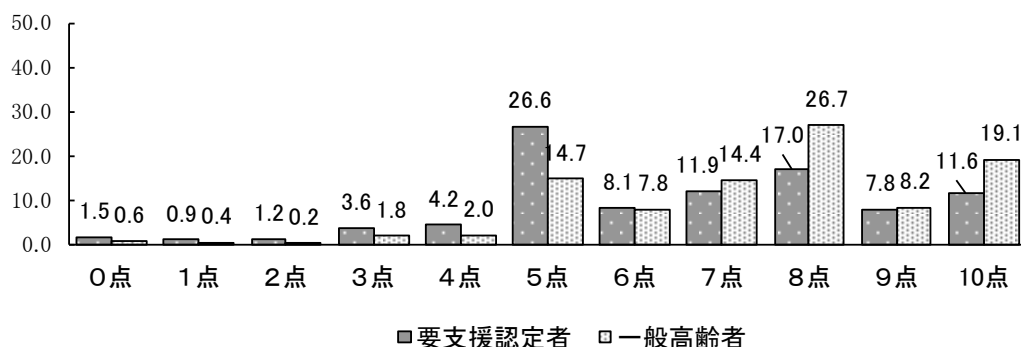


**問 60 あなたは、現在どの程度幸せですか**  
 (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として記入)

一般高齢者では、「8点」の割合が26.7%と最も高く、次いで「10点」の割合が19.1%、「5点」の割合が14.7%となっています。

要支援認定者では、「5点」の割合が26.6%と最も高く、次いで「8点」の割合が17.0%、「7点」の割合が11.9%となっています。

認定区分別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「7点」以上の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「6点」以下の割合が高くなっています。

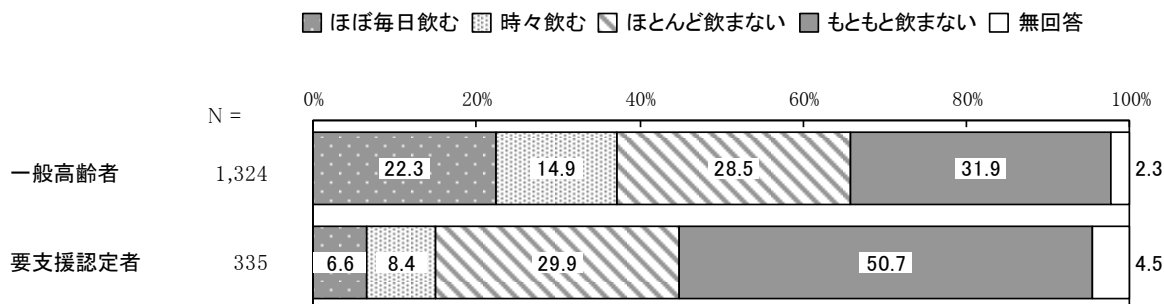


**問 61 お酒は飲みますか (1つを選択)**

一般高齢者では、「もともと飲まない」の割合が31.9%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」の割合が28.5%、「ほぼ毎日飲む」の割合が22.3%となっています。

要支援認定者では、「もともと飲まない」の割合が50.7%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」の割合が29.9%となっています。

認定区分別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「ほぼ毎日飲む」「時々飲む」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「もともと飲まない」の割合が高くなっています。

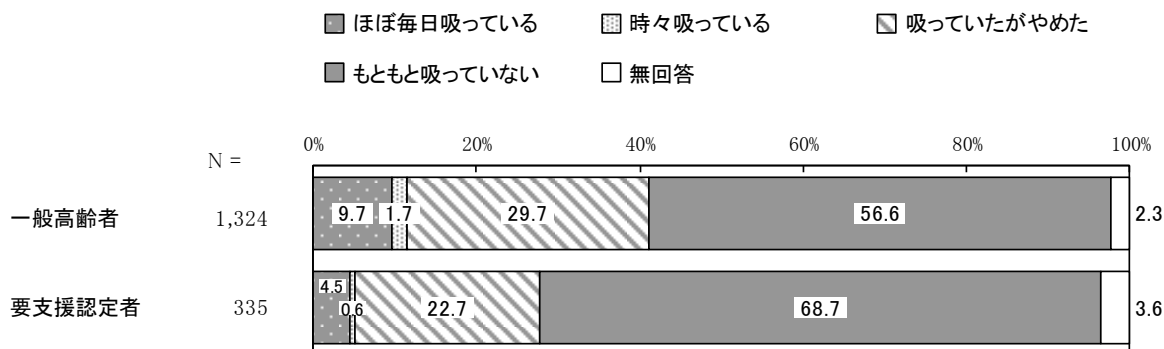


## 問 62 タバコは吸っていますか（1つを選択）

一般高齢者では、「もともと吸っていない」の割合が 56.6%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」の割合が 29.7%となっています。

要支援認定者では、「もともと吸っていない」の割合が 68.7%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」の割合が 22.7%となっています。

認定区分別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「ほぼ毎日吸っている」「吸っていたがやめた」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「もともと吸っていない」の割合が高くなっています。

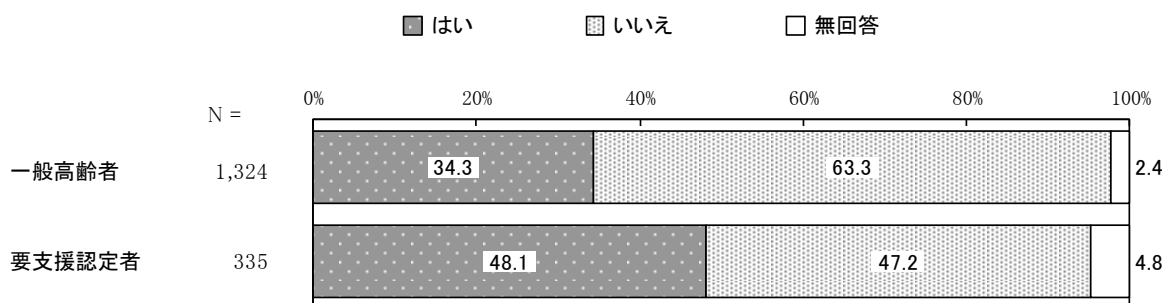


## 問 63 この1 か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか（1つを選択）

一般高齢者では、「はい」の割合が 34.3%、「いいえ」の割合が 63.3%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が 48.1%、「いいえ」の割合が 47.2%となっています。

認定区分別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「いいえ」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「はい」の割合が高くなっています。

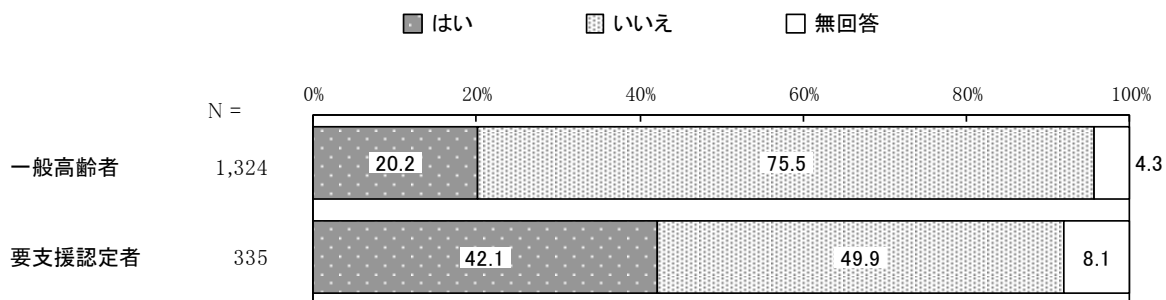


**問 64 この1 か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか（1つを選択）**

一般高齢者では、「はい」の割合が20.2%、「いいえ」の割合が75.5%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が42.1%、「いいえ」の割合が49.9%となっています。

認定区分別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「いいえ」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「はい」の割合が高くなっています。

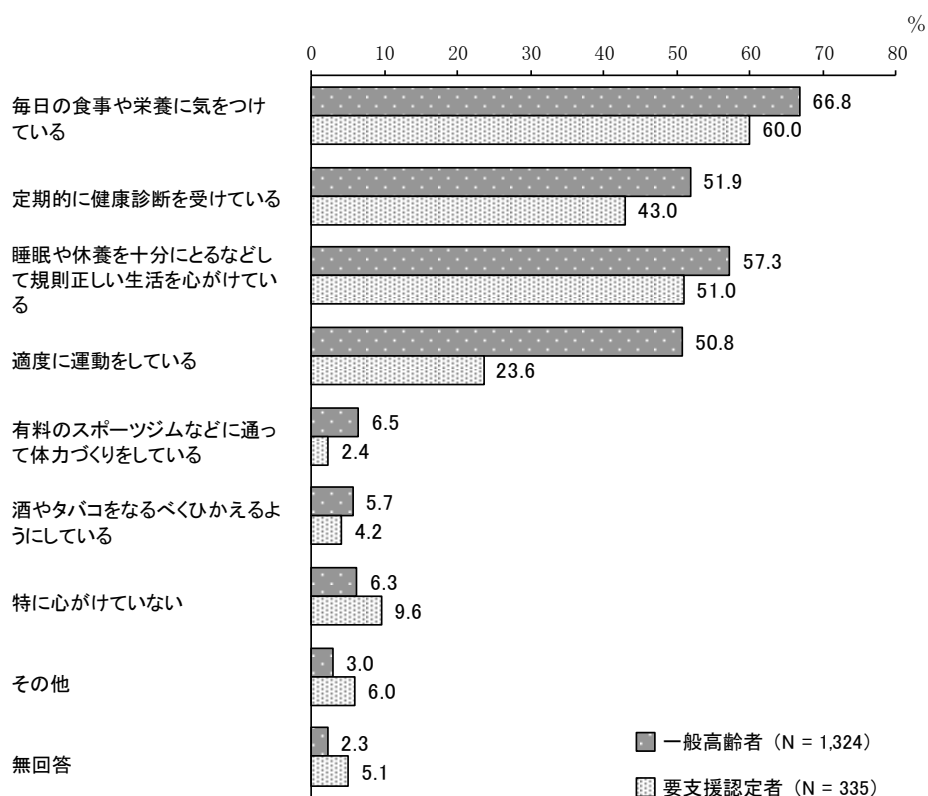


問 65 日頃、健康についてどんなことを心がけていますか（複数選択可）

一般高齢者では、「毎日の食事や栄養に気をつけている」の割合が 66.8%と最も高く、次いで「睡眠や休養を十分にとるなどして規則正しい生活を心がけている」の割合が 57.3%、「定期的に健康診断を受けている」の割合が 51.9%となっています。

要支援認定者では、「毎日の食事や栄養に気をつけている」の割合が 60.0%と最も高く、次いで「睡眠や休養を十分にとるなどして規則正しい生活を心がけている」の割合が 51.0%、「定期的に健康診断を受けている」の割合が 43.0%となっています。

認定区分別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「毎日の食事や栄養に気をつけている」「定期的に健康診断を受けている」「睡眠や休養を十分にとるなどして規則正しい生活を心がけている」「適度に運動をしている」の割合が高くなっています。

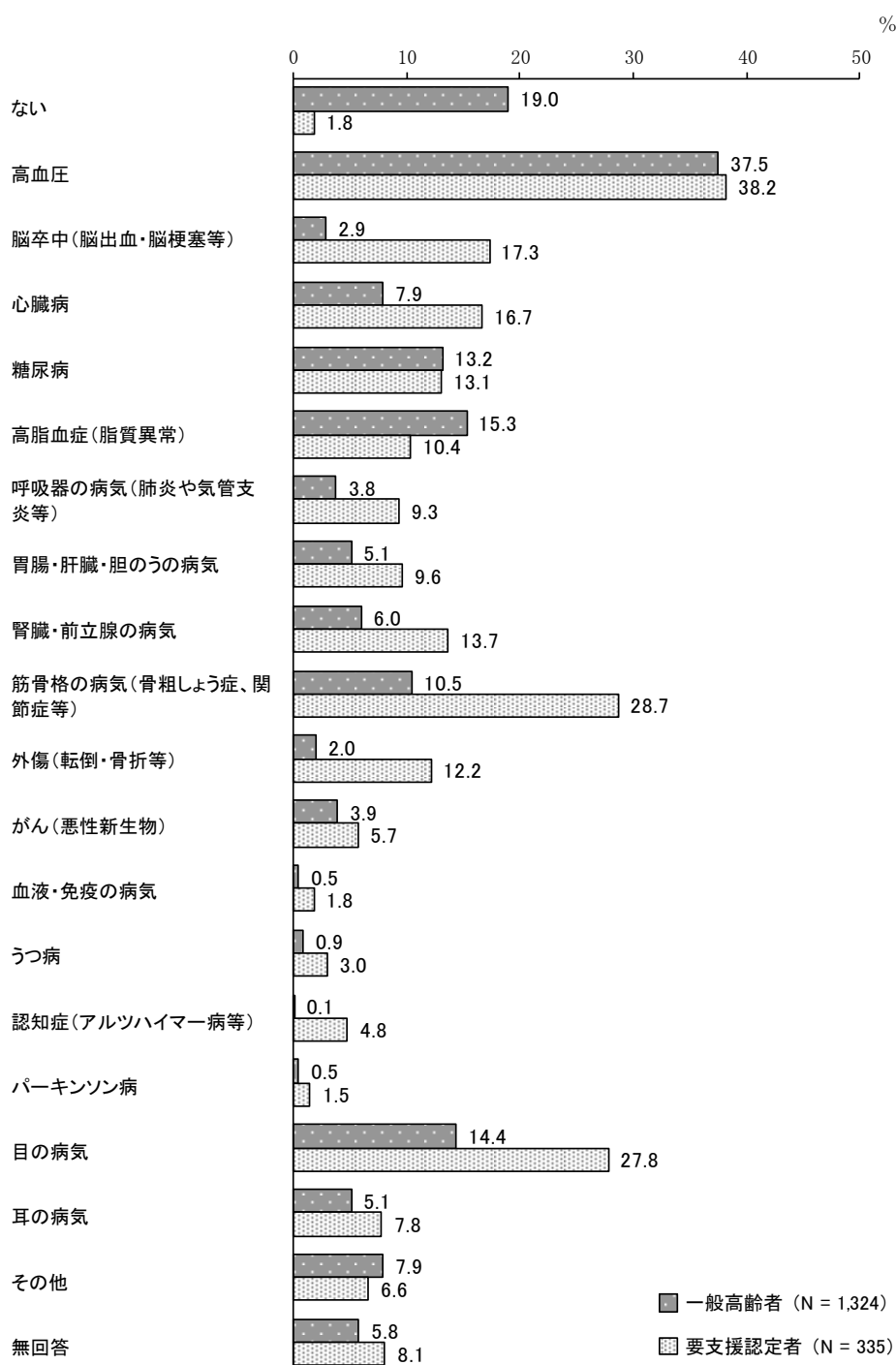


問 66 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（複数選択可）

一般高齢者では、「高血圧」の割合が37.5%と最も高く、次いで「ない」の割合が19.0%、「高脂血症（脂質異常）」の割合が15.3%となっています。

要支援認定者では、「高血圧」の割合が38.2%と最も高く、次いで「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」の割合が28.7%、「目の病気」の割合が27.8%となっています。

認定区分別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「ない」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」「心臓病」「呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）」「腎臓・前立腺の病気」「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」「外傷（転倒・骨折等）」「目の病気」の割合が高くなっています。





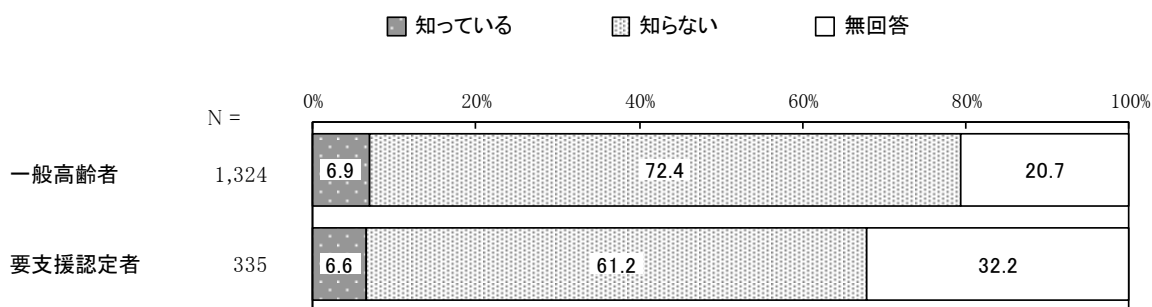
問 67 介護予防（介護が必要な状態にならないようにすること）について、以下の活動を知っていますか。また、参加したいですか（それぞれ1つを選択）

1 「やるっぴ！教室」（運動器機能、口腔器機能、栄養改善を目的とした教室）

<認知度>

一般高齢者では、「知っている」の割合が6.9%、「知らない」の割合が72.4%となっています。要支援認定者では、「知っている」の割合が6.6%、「知らない」の割合が61.2%となっています。

認定区分別でみると、認知度に大きな差異はみられません。

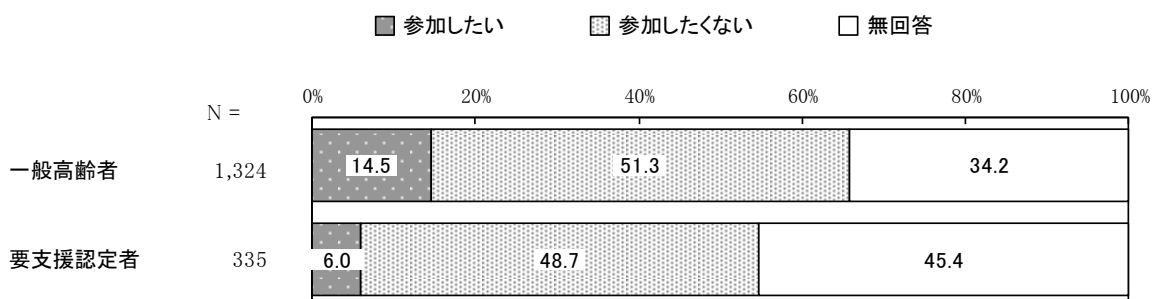


<参加意欲>

一般高齢者では、「参加したい」の割合が14.5%、「参加したくない」の割合が51.3%となっています。

要支援認定者では、「参加したい」の割合が6.0%、「参加したくない」の割合が48.7%となっています。

認定区分別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「参加したい」の割合が高くなっています。



## 2 「いき生き教室」

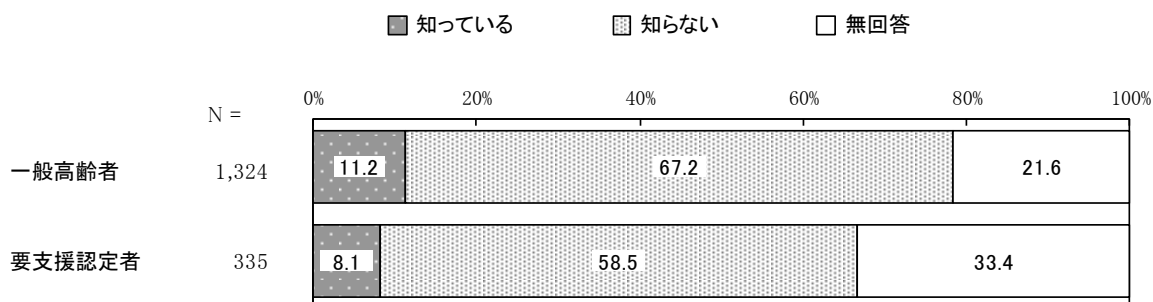
(認知症や生活習慣病予防を目的とした教室)

### <認知度>

一般高齢者では、「知っている」の割合が 11.2%、「知らない」の割合が 67.2%となっています。

要支援認定者では、「知っている」の割合が 8.1%、「知らない」の割合が 58.5%となっています。

認定区分別でみると、認知度に大きな差異はみられません。

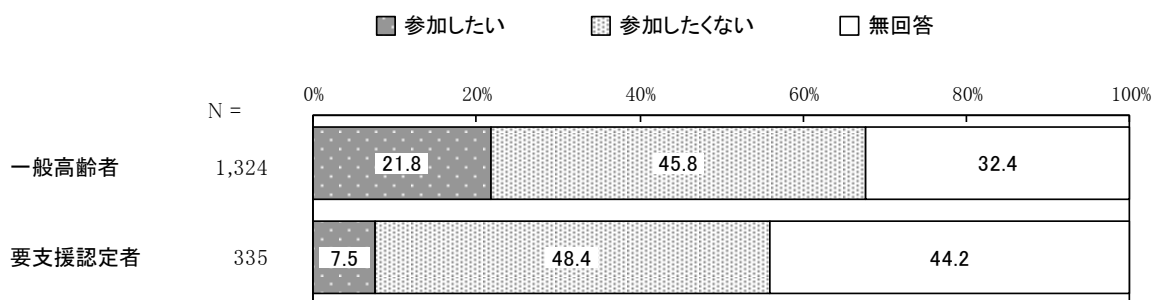


### <参加意欲>

一般高齢者では、「参加したい」の割合が 21.8%、「参加したくない」の割合が 45.8%となっています。

要支援認定者では、「参加したい」の割合が 7.5%、「参加したくない」の割合が 48.4%となっています。

認定区分別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「参加したい」の割合が高くなっています。



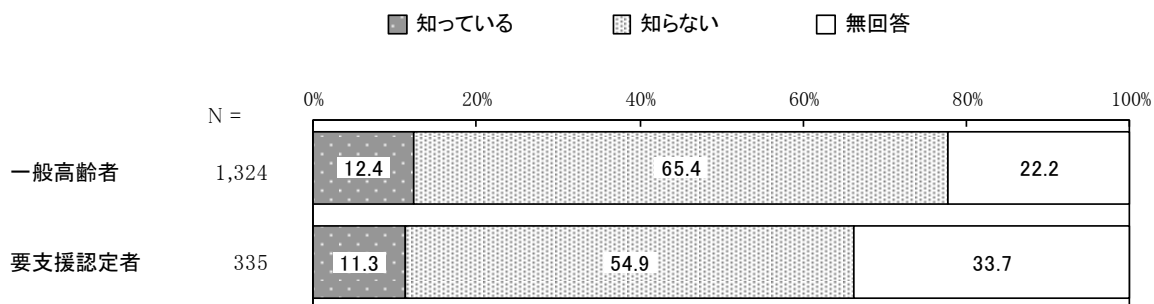
### 3 筋力向上トレーニング教室（運動器機能改善を目的とした教室）

#### <認知度>

一般高齢者では、「知っている」の割合が 12.4%、「知らない」の割合が 65.4%となっています。

要支援認定者では、「知っている」の割合が 11.3%、「知らない」の割合が 54.9%となっています。

認定区分別でみると、認知度に大きな差異はみられません。

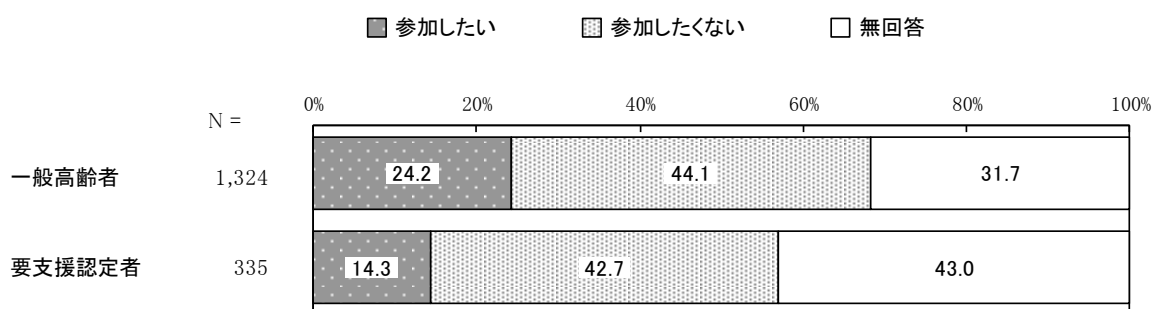


#### <参加意欲>

一般高齢者では、「参加したい」の割合が 24.2%、「参加したくない」の割合が 44.1%となっています。

要支援認定者では、「参加したい」の割合が 14.3%、「参加したくない」の割合が 42.7%となっています。

認定区分別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「参加したい」の割合が高くなっています。



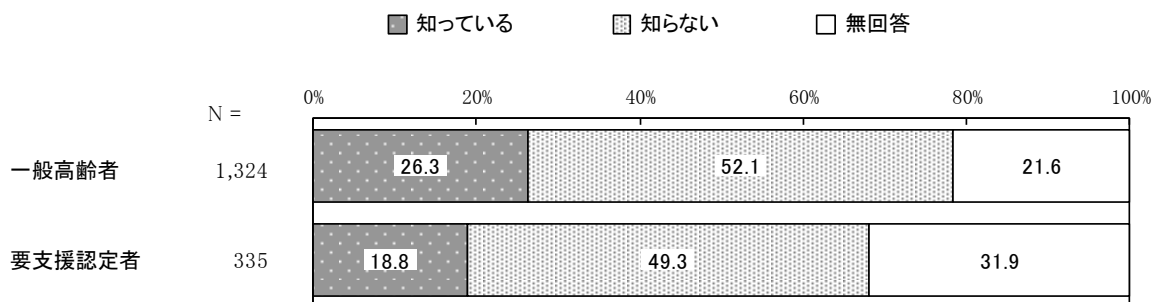
#### 4 高齢者サロン（身近な場所で高齢者等が定期的に交流する場）

##### <認知度>

一般高齢者では、「知っている」の割合が 26.3%、「知らない」の割合が 52.1%となっています。

要支援認定者では、「知っている」の割合が 18.8%、「知らない」の割合が 49.3%となっています。

認定区分別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「知っている」の割合が高くなっています。

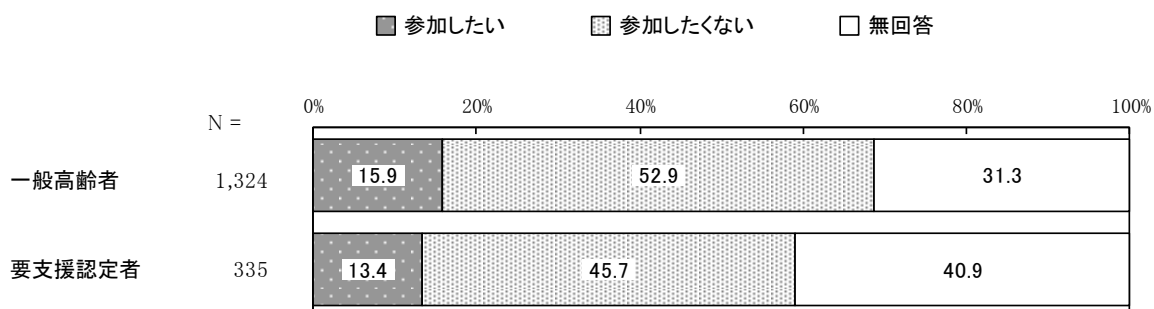


##### <参加意欲>

一般高齢者では、「参加したい」の割合が 15.9%、「参加したくない」の割合が 52.9%となっています。

要支援認定者では、「参加したい」の割合が 13.4%、「参加したくない」の割合が 45.7%となっています。

認定区分別で見ると、参加意欲に大きな差異はみられません。



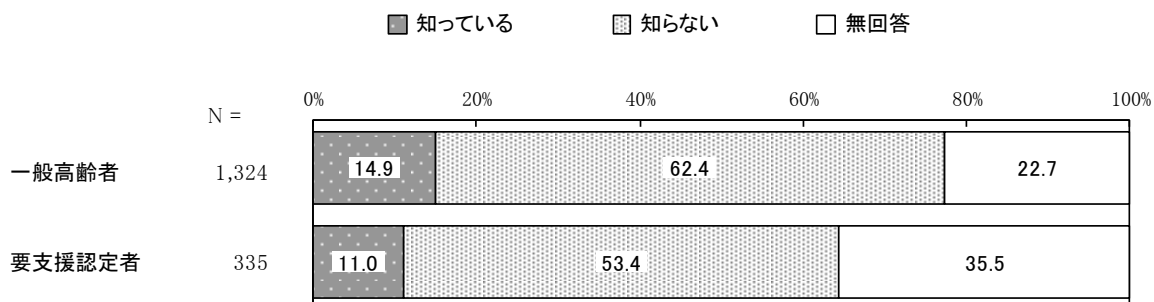
## 5 巡回介護予防教室（老人クラブを対象にした介護予防に関する講座）

### <認知度>

一般高齢者では、「知っている」の割合が 14.9%、「知らない」の割合が 62.4%となっています。

要支援認定者では、「知っている」の割合が 11.0%、「知らない」の割合が 53.4%となっています。

認定区分別で見ると、認知度に大きな差異はみられません。

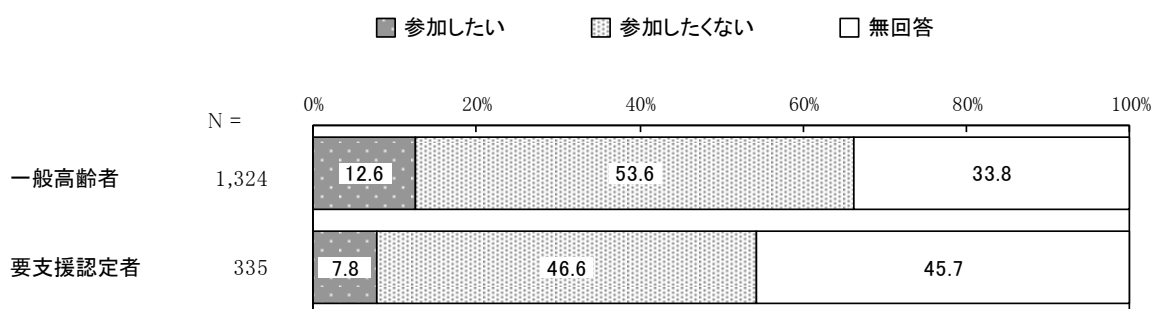


### <参加意欲>

一般高齢者では、「参加したい」の割合が 12.6%、「参加したくない」の割合が 53.6%となっています。

要支援認定者では、「参加したい」の割合が 7.8%、「参加したくない」の割合が 46.6%となっています。

認定区分別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「参加したい」の割合が高くなっています。



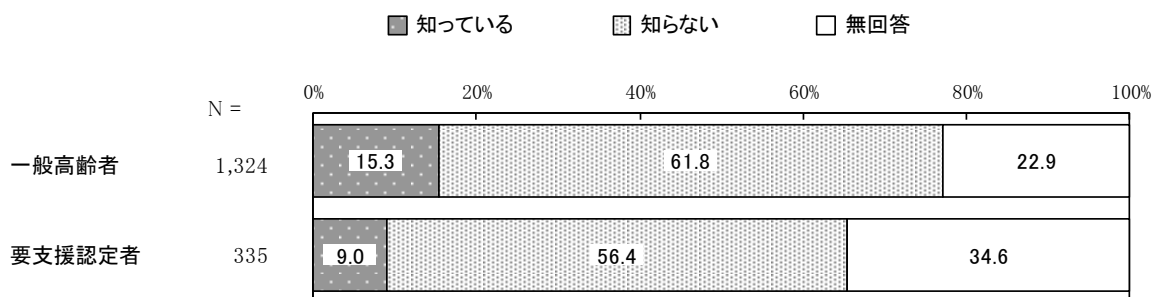
## 6 認知症カフェ（認知症の人やその家族、各専門家や地域住民が交流する場）

### <認知度>

一般高齢者では、「知っている」の割合が 15.3%、「知らない」の割合が 61.8%となっています。

要支援認定者では、「知っている」の割合が 9.0%、「知らない」の割合が 56.4%となっています。

認定区分別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「知っている」の割合が高くなっています。

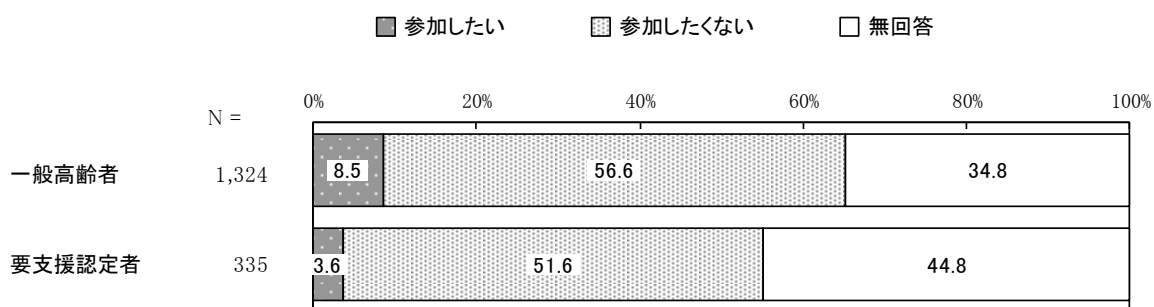


### <参加意欲>

一般高齢者では、「参加したい」の割合が 8.5%、「参加したくない」の割合が 56.6%となっています。

要支援認定者では、「参加したい」の割合が 3.6%、「参加したくない」の割合が 51.6%となっています。

認定区分別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「参加したい」の割合が高くなっています。



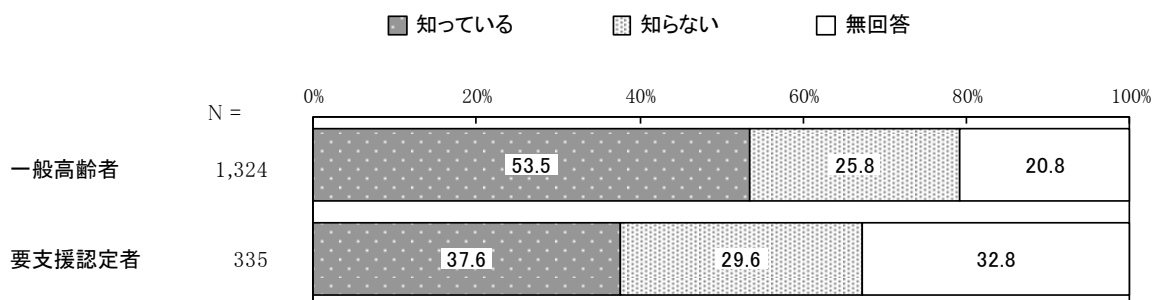
## 7 老人クラブ活動

### <認知度>

一般高齢者では、「知っている」の割合が 53.5%、「知らない」の割合が 25.8%となっています。

要支援認定者では、「知っている」の割合が 37.6%、「知らない」の割合が 29.6%となっています。

認定区分別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「知っている」の割合が高くなっています。

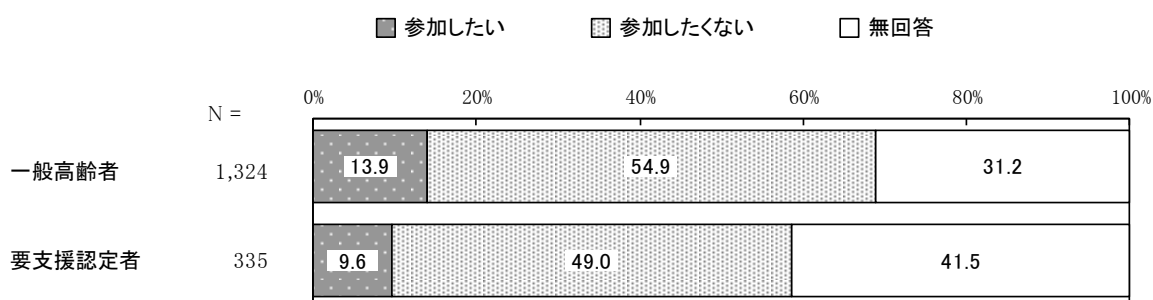


### <参加意欲>

一般高齢者では、「参加したい」の割合が 13.9%、「参加したくない」の割合が 54.9%となっています。

要支援認定者では、「参加したい」の割合が 9.6%、「参加したくない」の割合が 49.0%となっています。

認定区分別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「参加したい」の割合が高くなっています。



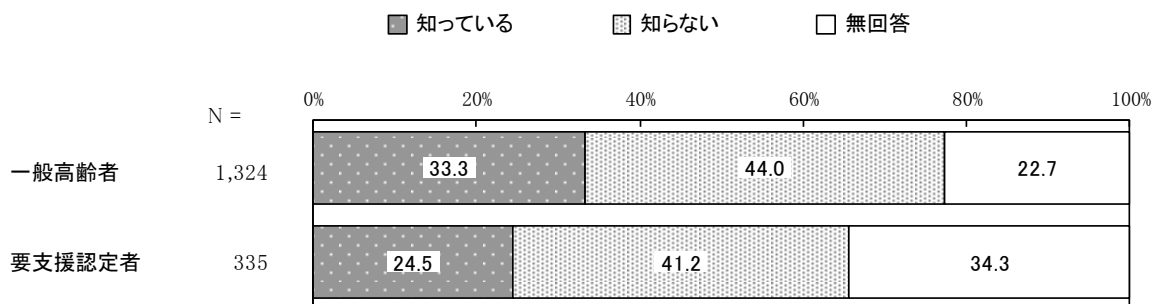
## 8 老人福祉センターの健康教室・講座

### <認知度>

一般高齢者では、「知っている」の割合が 33.3%、「知らない」の割合が 44.0%となっています。

要支援認定者では、「知っている」の割合が 24.5%、「知らない」の割合が 41.2%となっています。

認定区分別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「知っている」の割合が高くなっています。

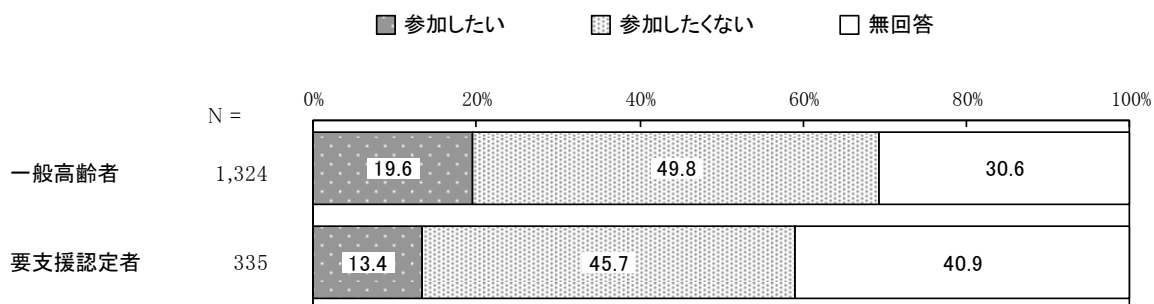


### <参加意欲>

一般高齢者では、「参加したい」の割合が 19.6%、「参加したくない」の割合が 49.8%となっています。

要支援認定者では、「参加したい」の割合が 13.4%、「参加したくない」の割合が 45.7%となっています。

認定区分別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「参加したい」の割合が高くなっています。

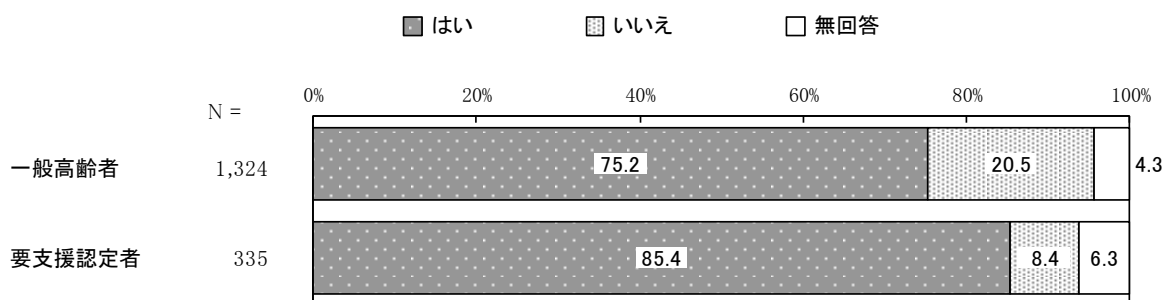




## 8 在宅医療について

### 問 68 かかりつけ医がいますか（1つを選択）

一般高齢者では、「はい」の割合が75.2%、「いいえ」の割合が20.5%となっています。  
 要支援認定者では、「はい」の割合が85.4%、「いいえ」の割合が8.4%となっています。  
 認定区分別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「はい」の割合が高くなっています。

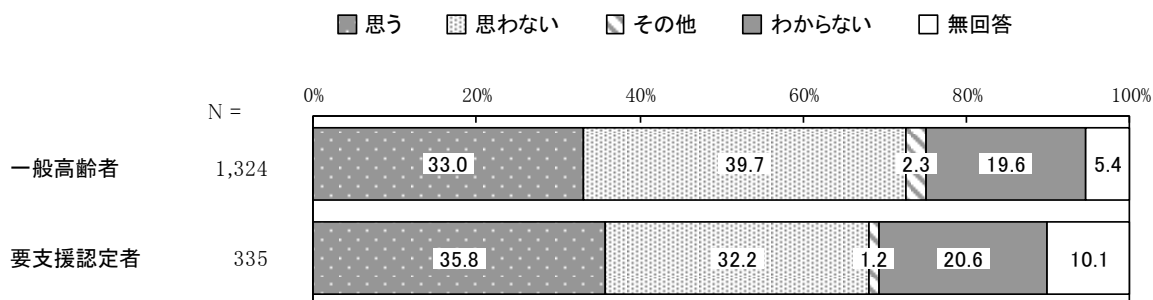


### 問 69 医師、歯科医師による訪問診療が必要だと思いますか（1つを選択）

一般高齢者では、「思わない」の割合が39.7%と最も高く、次いで「思う」の割合が33.0%、「わからない」の割合が19.6%となっています。

要支援認定者では、「思う」の割合が35.8%と最も高く、次いで「思わない」の割合が32.2%、「わからない」の割合が20.6%となっています。

認定区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「思う」の割合が高くなっています。



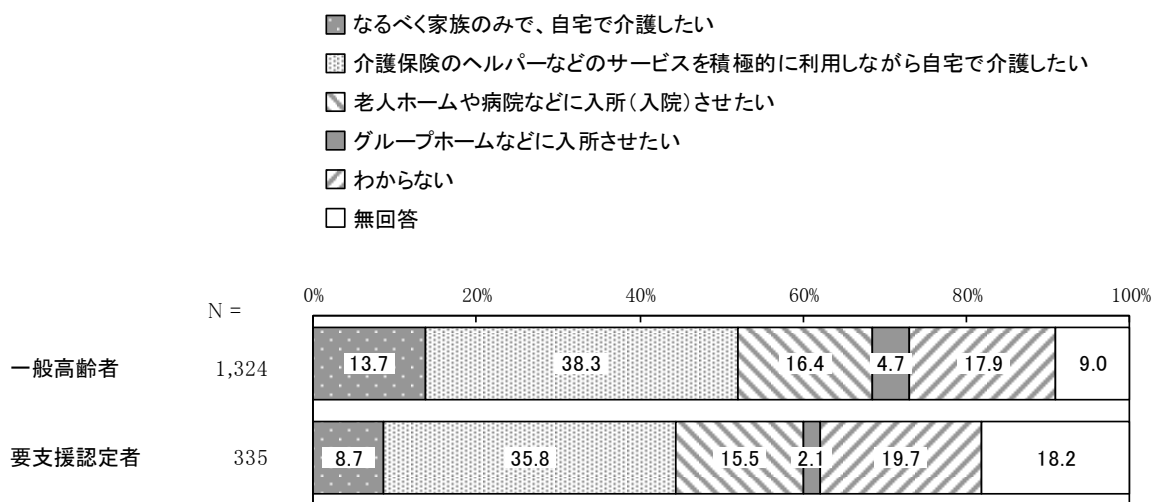
## 9 介護保険について

### 問 70 家族等に介護が必要となった場合、どのようにしたいと思いますか（1つを選択）

一般高齢者では、「介護保険のヘルパーなどのサービスを積極的に利用しながら自宅で介護したい」の割合が38.3%と最も高く、次いで「わからない」の割合が17.9%、「老人ホームや病院などに入所（入院）させたい」の割合が16.4%となっています。

要支援認定者では、「介護保険のヘルパーなどのサービスを積極的に利用しながら自宅で介護したい」の割合が35.8%と最も高く、次いで「わからない」の割合が19.7%、「老人ホームや病院などに入所（入院）させたい」の割合が15.5%となっています。

認定区分別にみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「なるべく家族のみで自宅で介護したい」の割合が高くなっています。



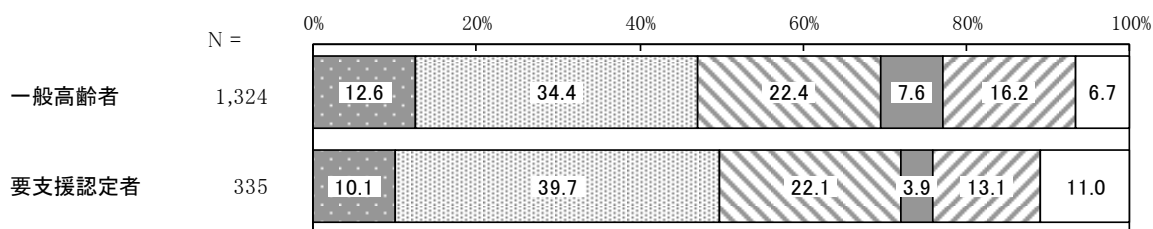
**問 71 今後、あなたご自身に介護が必要となった場合、どのような介護を希望しますか  
(1つを選択)**

一般高齢者では、「介護保険のヘルパーなどのサービスを積極的に利用しながら自宅で介護してほしい」の割合が 34.4%と最も高く、次いで「老人ホームや病院などに入所(入院)したい」の割合が 22.4%、「わからない」の割合が 16.2%となっています。

要支援認定者では、「介護保険のヘルパーなどのサービスを積極的に利用しながら自宅で介護してほしい」の割合が 39.7%と最も高く、次いで「老人ホームや病院などに入所(入院)したい」の割合が 22.1%、「わからない」の割合が 13.1%となっています。

認定区分別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「介護保険のヘルパーなどのサービスを積極的に利用しながら自宅で介護してほしい」の割合が高くなっています。

- 家族などを中心に自宅で介護してほしい
- 介護保険のヘルパーなどのサービスを積極的に利用しながら自宅で介護してほしい
- 老人ホームや病院などに入所(入院)したい
- グループホームなどに入所したい
- わからない
- 無回答

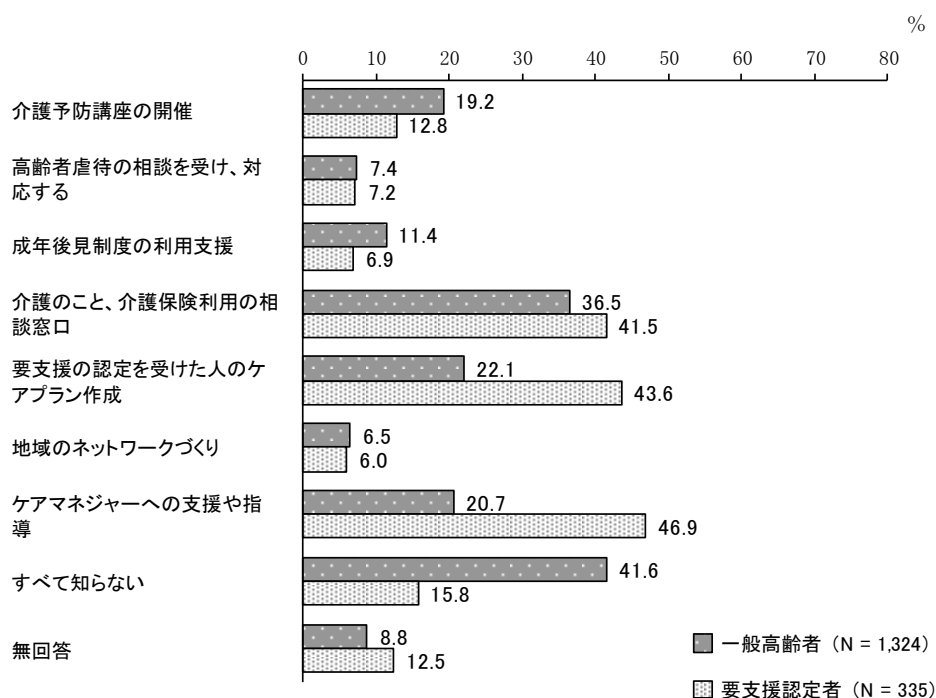


## 問 72 地域包括支援センターの役割として知っているものはどれですか（複数選択可）

一般高齢者では、「すべて知らない」の割合が 41.6%と最も高く、次いで「介護のこと、介護保険利用の相談窓口」の割合が 36.5%、「要支援の認定を受けた人のケアプラン作成」の割合が 22.1%となっています。

要支援認定者では、「ケアマネジャーへの支援や指導」の割合が 46.9%と最も高く、次いで「要支援の認定を受けた人のケアプラン作成」の割合が 43.6%、「介護のこと、介護保険利用の相談窓口」の割合が 41.5%となっています。

認定区分別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「介護予防講座の開催」「すべて知らない」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「要支援の認定を受けた人のケアプラン作成」「ケアマネジャーへの支援や指導」の割合が高くなっています。



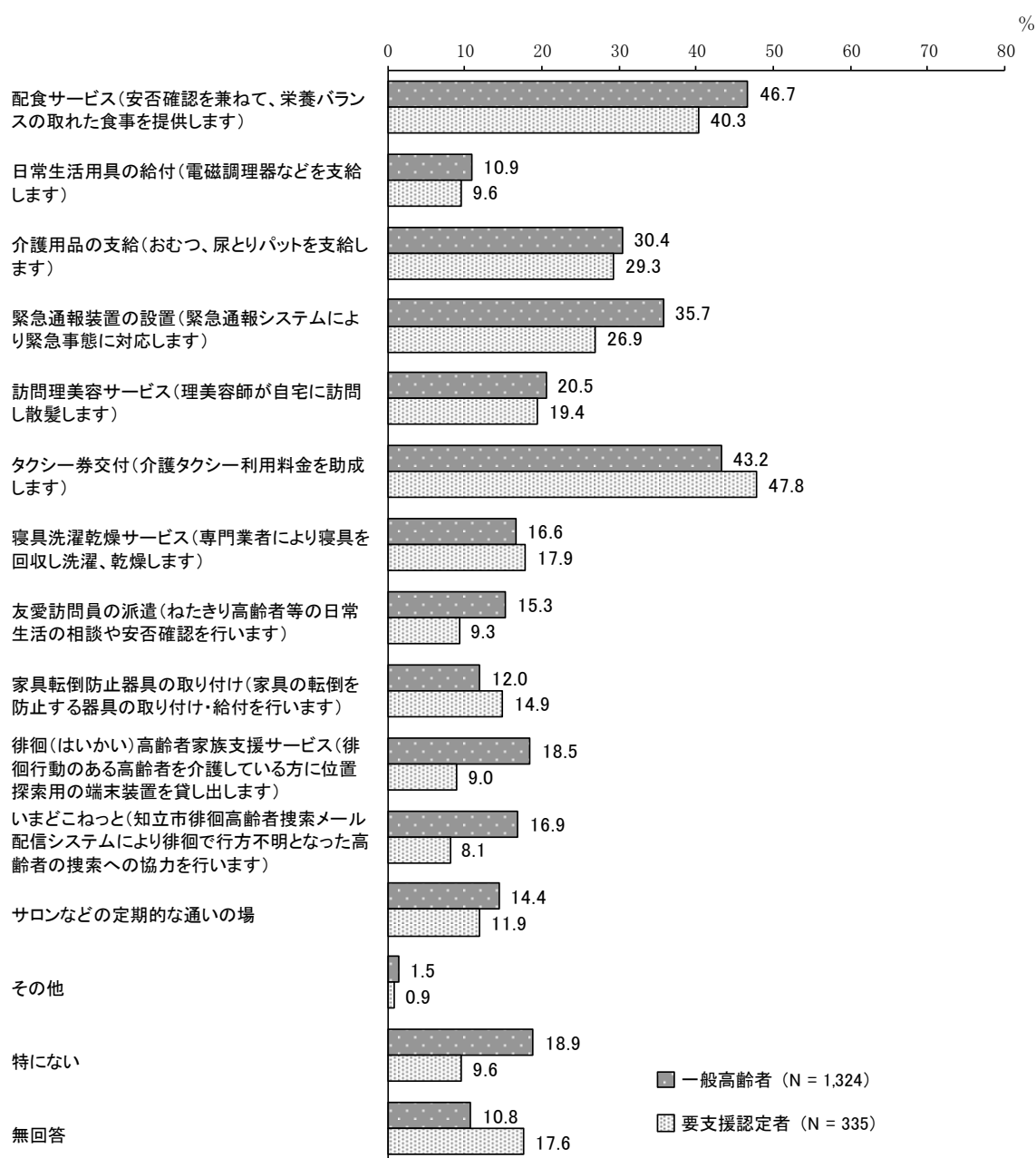
## 10 市の高齢者福祉について

### 問 73 介護保険以外の高齢者福祉サービスについて、今後利用したい・実施してほしいサービスはありますか（複数選択可）

一般高齢者では、「配食サービス」の割合が46.7%と最も高く、次いで「タクシー券交付」の割合が43.2%、「緊急通報装置の設置」の割合が35.7%となっています。

要支援認定者では、「タクシー券交付」の割合が47.8%と最も高く、次いで「配食サービス」の割合が40.3%、「介護用品の支給」の割合が29.3%となっています。

認定区分別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「配食サービス」「緊急通報装置の設置」「友愛訪問員の派遣」「徘徊（はいかい）高齢者家族支援サービス」「いまどこねっと」「特にない」の割合が高くなっています。

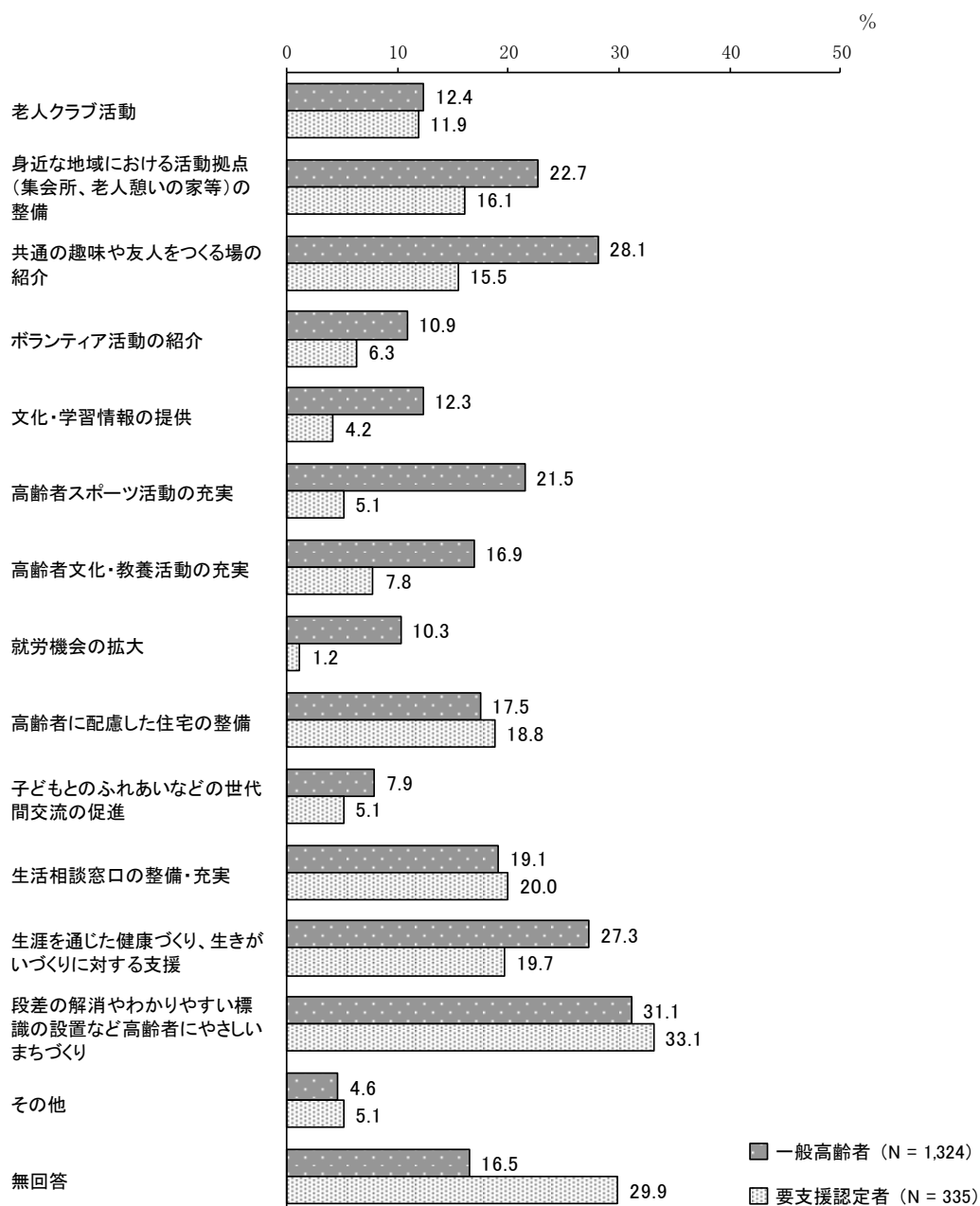


**問 74 高齢者の方々が生きがいをもって快適に暮らすために、今後、市が特に力を入れるべきと思うものをお答えください（5つまで選択可）**

一般高齢者では、「段差の解消やわかりやすい標識の設置など高齢者にやさしいまちづくり」の割合が 31.1%と最も高く、次いで「共通の趣味や友人をつくる場の紹介」の割合が 28.1%、「生涯を通じた健康づくり、生きがいづくりに対する支援」の割合が 27.3%となっています。

要支援認定者では、「段差の解消やわかりやすい標識の設置など高齢者にやさしいまちづくり」の割合が 33.1%と最も高く、次いで「生活相談窓口の整備・充実」の割合が 20.0%、「生涯を通じた健康づくり、生きがいづくりに対する支援」の割合が 19.7%となっています。

認定区分別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「身近な地域における活動拠点（集会所、老人憩いの家等）の整備」「共通の趣味や友人をつくる場の紹介」「文化・学習情報の提供」「高齢者スポーツ活動の充実」「高齢者文化・教養活動の充実」「就労機会の拡大」「生涯を通じた健康づくり、生きがいづくりに対する支援」の割合が高くなっています。



### Ⅲ 生活機能評価等に関する分析

#### 1 機能別リスク該当者割合の分析

##### (1) 運動器

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器のリスク該当者と判定しました。

##### 【判定設問】

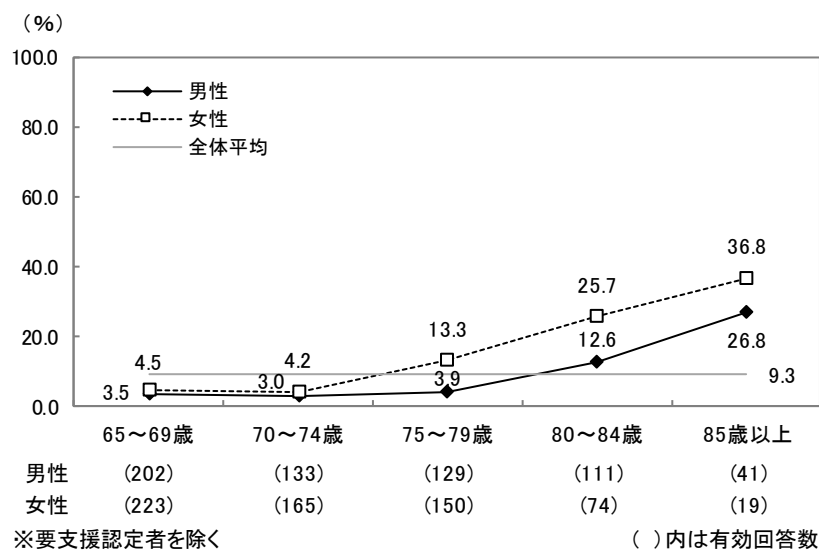
問番号	設問	該当する選択肢
問 8	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
問 9	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない
問 10	15分位続けて歩いていますか。	3. できない
問 11	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある
問 12	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である

##### 【リスク該当状況】

国の手引きに基づく運動器の評価結果をみると、全体平均で9.3%が運動器の機能低下該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、すべての年代で男性に比べ該当者割合が高く、85歳以上では36.8%と75～79歳に比べ23.5ポイント上昇しています。一方、男性では、85歳以上では26.8%と75～79歳に比べ22.9ポイント上昇しています。したがって、男性、女性ともに75歳以降で運動器におけるリスクが顕在化し、特に女性でリスクが高くなっています。

##### 【性別・年齢階級別】



## (2) 閉じこもり

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を閉じこもりのリスク該当者と判定しました。

### 【判定設問】

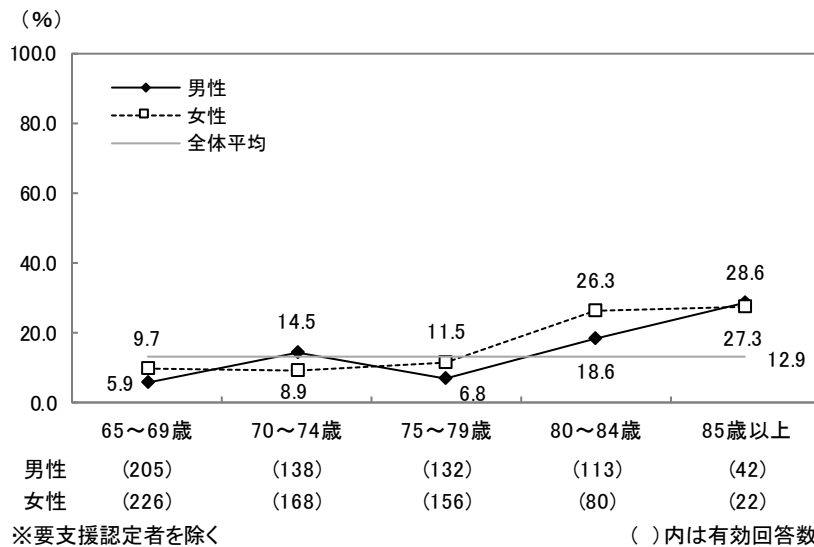
問番号	設問	該当する選択肢
問 13	週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

### 【リスク該当状況】

国の手引きに基づく閉じこもりの評価結果をみると、全体平均で12.9%が閉じこもりのリスク該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、70～74歳と85歳以上を除き男性に比べ閉じこもりのリスクが高くなっています。一方、男性では、85歳以上では28.6%と80～84歳に比べ10.0ポイント上昇しています。

### 【性別・年齢階級別】





### (3) 転倒

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を転倒のリスク該当者と判定しました。

#### 【判定設問】

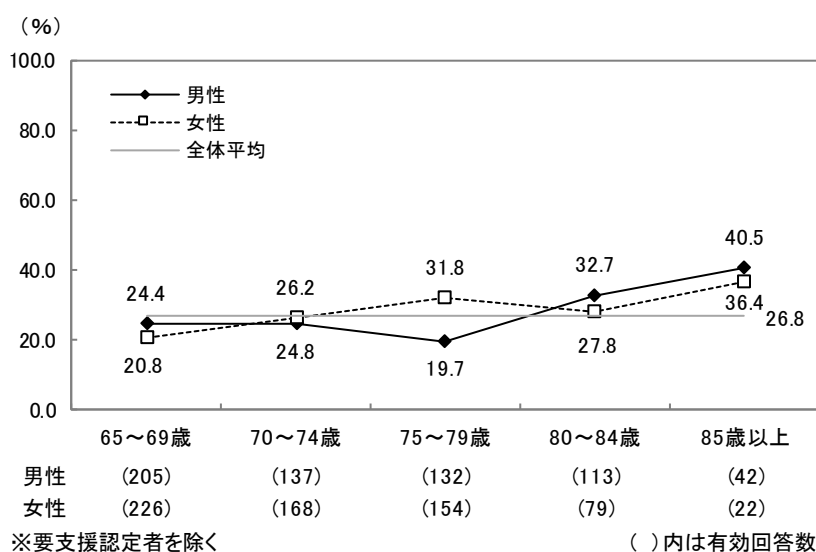
問番号	設問	該当する選択肢
問 11	過去 1 年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1 度ある

#### 【リスク該当状況】

国の手引きに基づく転倒の評価結果をみると、全体平均で 26.8%が転倒リスクの該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、75 歳代以上になると全体平均より転倒リスクの割合が高くなっています。一方、男性では、75～79 歳を境に上昇し、85 歳以上で 40.5%と 75～79 歳に比べ 20.8 ポイント上昇しています。

【性別・年齢階級別】



## (4) 栄養

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のすべてに該当する人を栄養のリスク該当者と判定しました。

### 【判定設問】

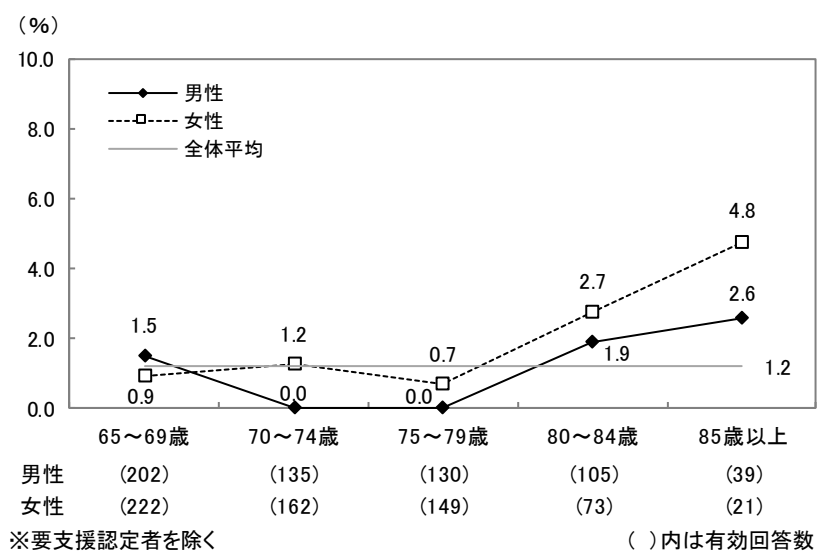
問番号	設問	該当する選択肢
問 16	身長・体重をご記入ください。	BMI 18.5 未満
問 21	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	1. はい

### 【リスク該当状況】

国の手引きに基づく栄養の評価結果をみると、全体平均で1.2%が低栄養リスクの該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性は男性に比べて低栄養リスクが高くなっています。

### 【性別・年齢階級別】



## (5) 口腔

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、3項目のうち2項目以上に該当する人を口腔のリスク該当者と判定しました。

### 【判定設問】

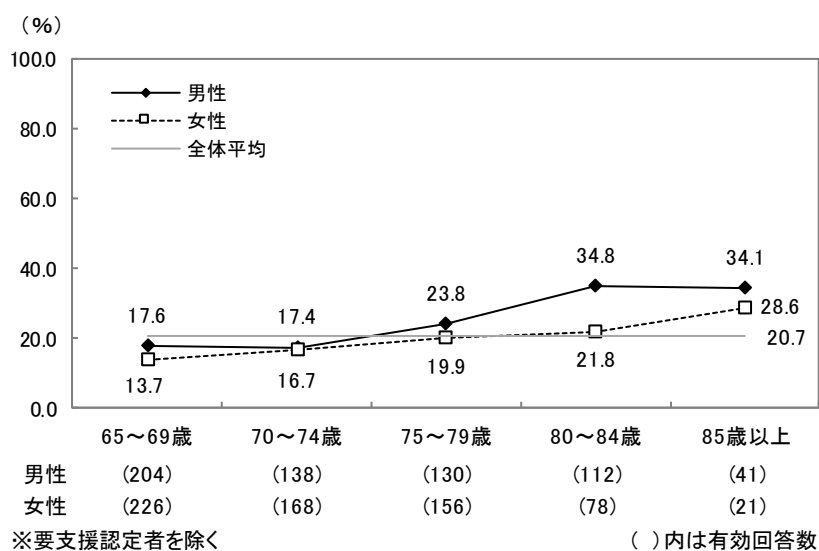
問番号	設問	該当する選択肢
問 17	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい
問 18	お茶や汁物等でむせることがありますか。	1. はい
問 19	口の渇きが気になりますか。	1. はい

### 【リスク該当状況】

国の手引きに基づく口腔の評価結果をみると、全体平均で 20.7%が口腔機能低下のリスク該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男性では、75～79歳で、女性では、80～84歳で全体平均を超えています。男性では、80～84歳で 34.8%と 75～79歳に比べ 11.0ポイント上昇しており、女性では、85歳以上で 28.6%と 80～84歳に比べ 6.8ポイント上昇しています。

#### 【性別・年齢階級別】



## (6) 認知

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、以下の項目に該当する人を認知のリスク該当者と判定しました。

### 【判定設問】

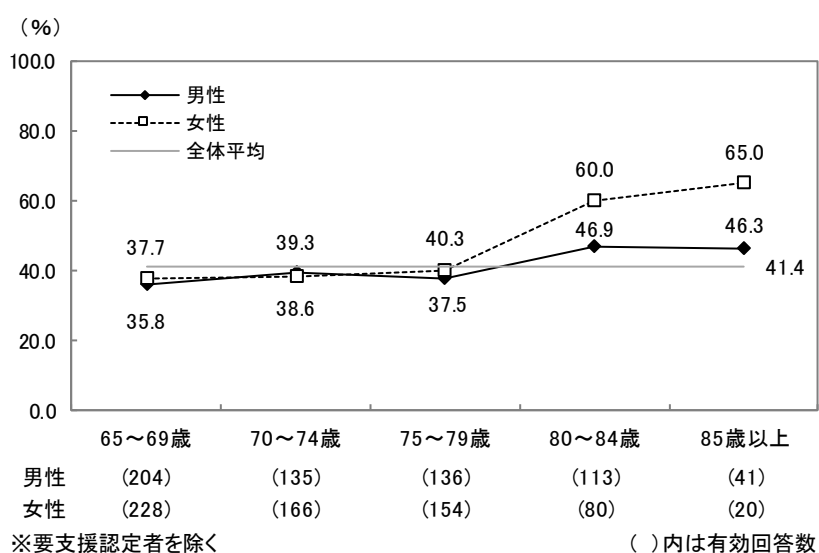
問番号	設問	該当する選択肢
問 23	物忘れが多いと感じますか。	1. はい

### 【リスク該当状況】

国の手引きに基づく認知の評価結果をみると、全体平均で41.4%が該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男性、女性ともに、80歳以上になると急激に上昇しています。男性では、80～84歳で46.9%と75～79歳に比べ9.4ポイント、女性では、80～84歳で60.0%と75～79歳に比べ19.7ポイント増加しています。

### 【性別・年齢階級別】



## (7) うつ

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のうち1項目以上に該当する人をうつのリスク該当者と判定しました。

### 【判定設問】

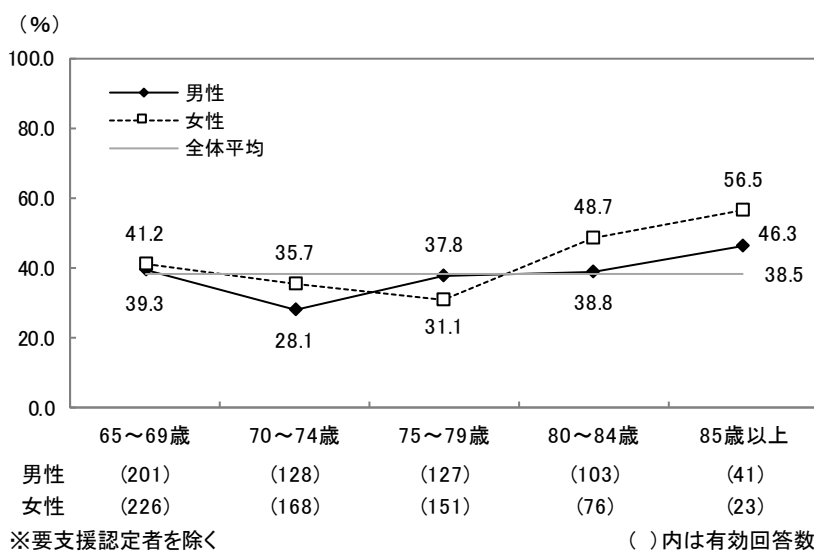
問番号	設問	該当する選択肢
問 63	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい
問 64	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい

### 【リスク該当状況】

国の手引きに基づきうつの評価結果をみると、全体平均で38.5%が該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、75～79歳を除き男性に比べ該当者割合が高くなっています。また、女性では、80歳以上で急激に上昇し、85歳以上で56.5%と75～79歳に比べ25.4ポイント上昇しています。

【性別・年齢階級別】



## 2 日常生活

### (1) 手段的自立度 (IADL)

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標には、高齢者の手段的自立度 (IADL) に関する設問が5問あり、「手段的自立度 (IADL)」として尺度化されています。

評価は、各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価しています。

また、4点以下を手段的自立度の低下者とし、低下者の割合を示しています。

#### 【判定設問】

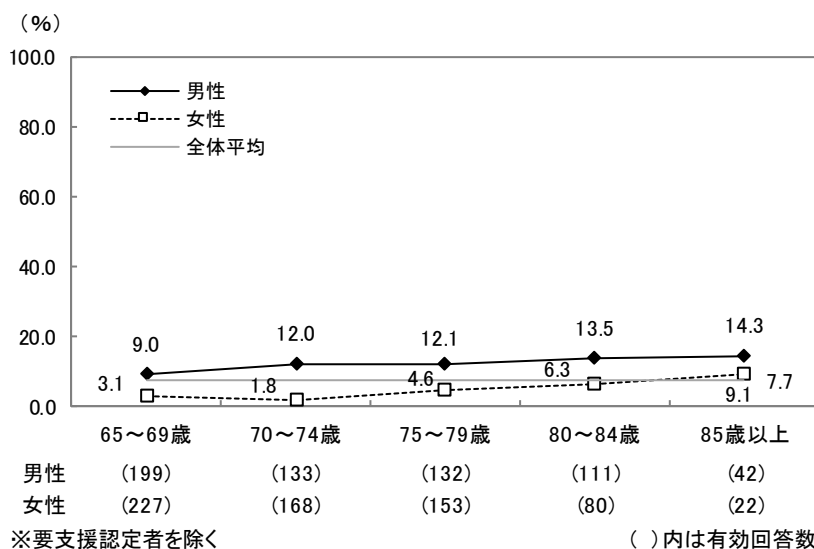
問番号	設問	該当する選択肢
問 29	バスや電車を使って1人で外出していますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問 30	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問 32	自分で食事の用意をしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問 33	自分で請求書の支払いをしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問 34	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点

#### 【該当状況】

全体平均では7.7%が手段的自立度の低下者となっています。

性別・年齢階級別でみると、女性に比べ、男性で割合が高くなっています。

#### 【性別・年齢階級別】



### 3 社会参加

#### (1) 知的能動性

老研式活動能力指標には、高齢者の知的活動に関する設問が4問あり、「知的能動性」として尺度化されています。

評価は、各設問に「はい」と回答した場合を1点として、4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。

また、3点以下を知的能動性の低下者とし、低下者の割合を示しています。

#### 【判定設問】

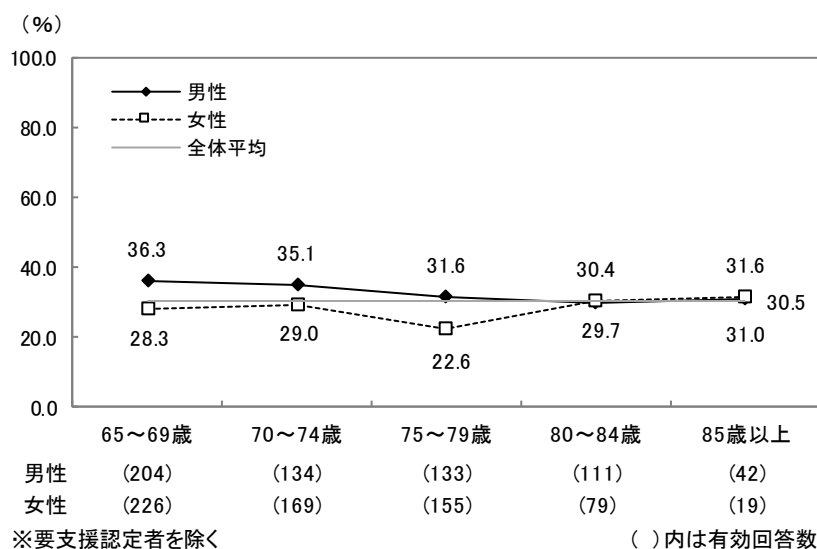
問番号	設問	該当する選択肢
問 35	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。	1. はい：1点
問 36	新聞を読んでいますか。	1. はい：1点
問 37	本や雑誌を読んでいますか。	1. はい：1点
問 39	健康についての記事や番組に関心がありますか。	1. はい：1点

#### 【該当状況】

知的能動性の低下者は、全体平均では30.5%となっています。

性別・年齢階級別でみると、男性では、80～84歳と85歳以上を除き女性に比べ割合が高くなっています。

【性別・年齢階級別】



## (2) 社会的役割

老研式活動能力指標には、高齢者の社会活動に関する設問が4問あり、「社会的役割」として尺度化されています。

評価は、知的能動性と同様に4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。

また、3点以下を社会的役割の低下者とし、低下者の割合を示しています。

### 【判定設問】

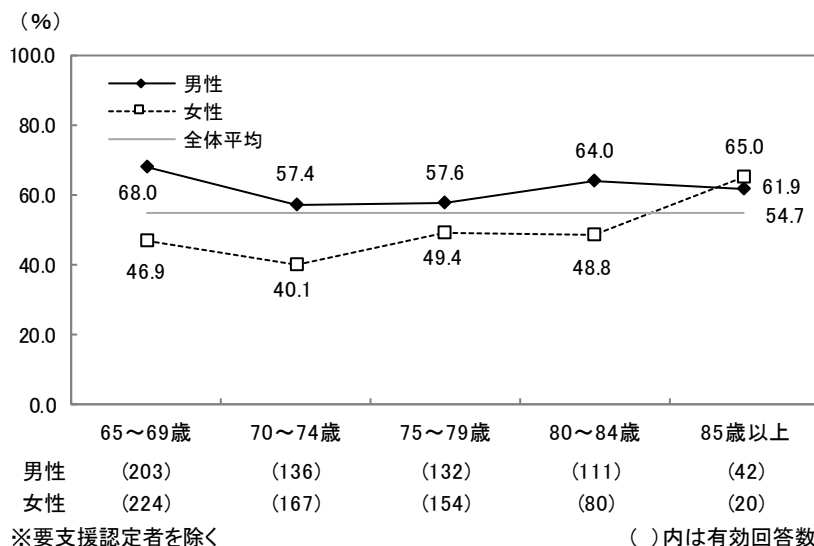
問番号	設問	該当する選択肢
問 40	友人の家を訪ねていますか。	1. はい：1点
問 41	家族や友人の相談にのっていますか。	1. はい：1点
問 42	病人を見舞うことができますか。	1. はい：1点
問 43	若い人に自分から話しかけることがありますか。	1. はい：1点

### 【該当状況】

社会的役割の低下者は、全体平均では54.7%となっています。

性別・年齢階級別でみると、男性では、85歳以上を除き女性に比べ割合が高くなっています。また、女性では85歳以上で急激に上昇し、85歳以上で65.0%と80～84歳に比べ16.2ポイント上昇しています。

【性別・年齢階級別】



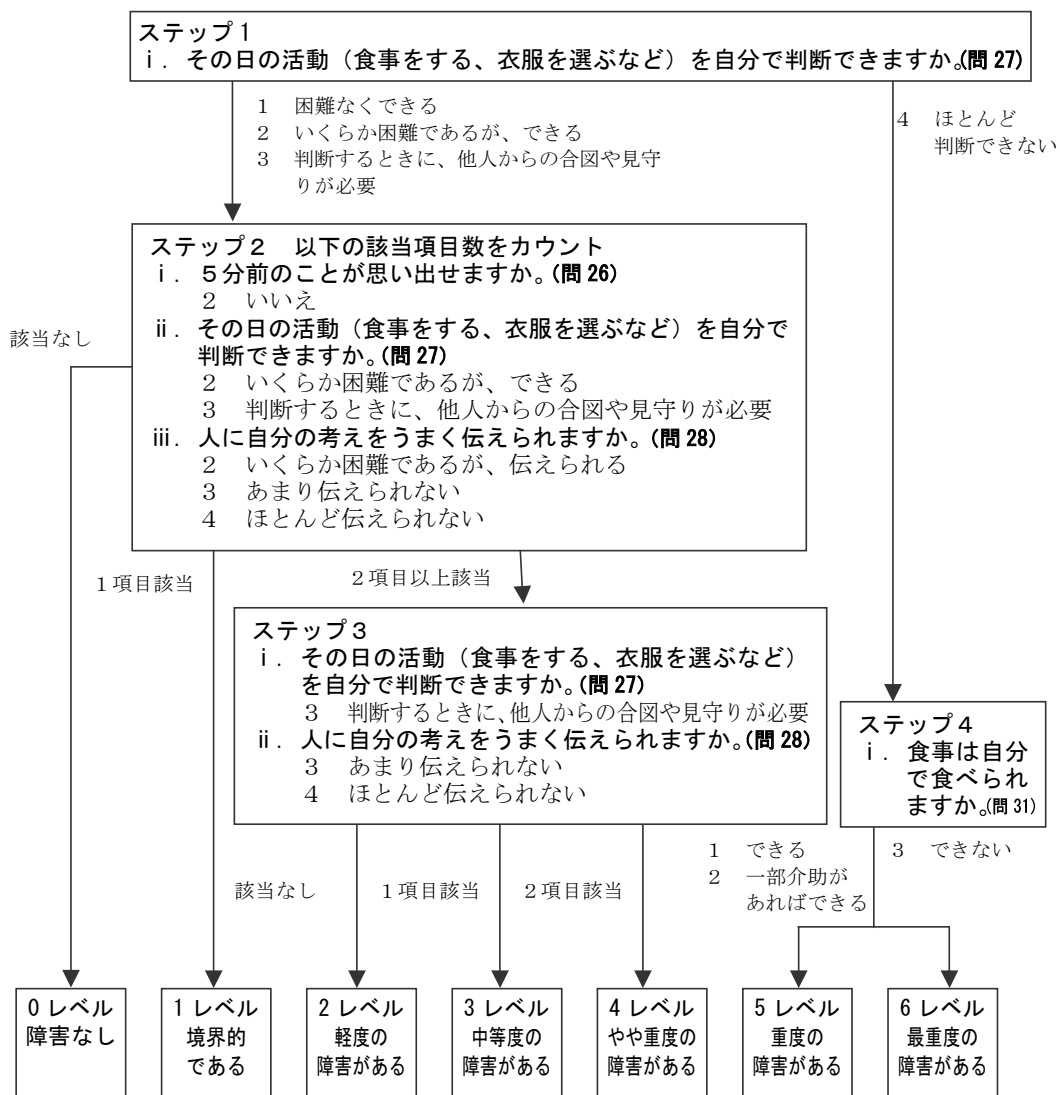


## 4 認知症リスク（CPS）

認知機能障害程度の判定にあたっては、問 27「その日の活動を自分で判断できますか」で（ほとんど判断できない）と回答した人のうち、問 31「食事は自分で食べられますか」で（できない）と回答した人は 6 レベル（最重度の障害がある）に、そうでない人は 5 レベル（重度の障害がある）と判定します。

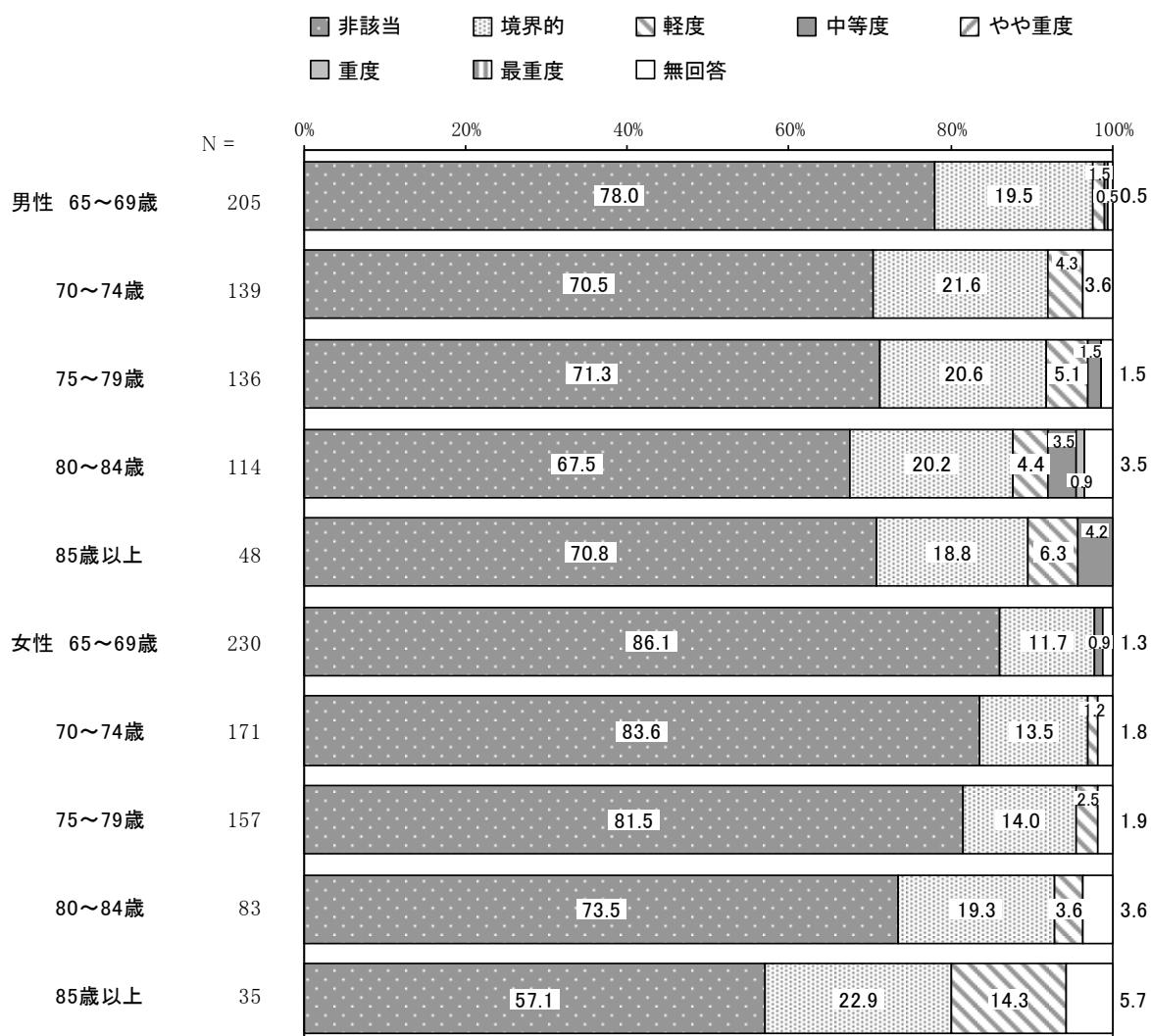
問 27 で（ほとんど判断できない）と回答した人以外で問 26「5 分前のことが思い出せますか」、問 28「人に自分の考えをうまく伝えられますか」及び問 27 によって 0 レベルから 4 レベルに判定します。

### 認知機能の障害程度の評価方法



【性年齢別】 ※要支援認定者を除く

男女ともに、年齢が上がるほど「非該当」の割合が低くなる傾向がみられます。



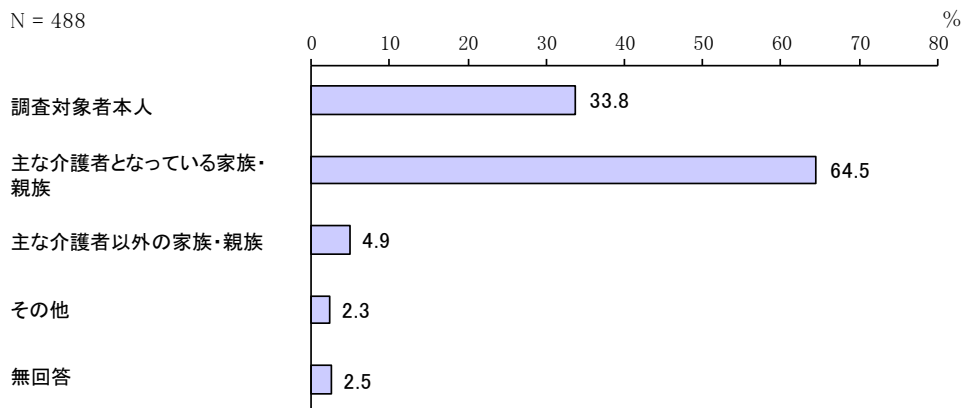
## IV 調査結果（在宅介護実態調査）

### 1 A票 調査対象者本人について

#### （1）回答者属性

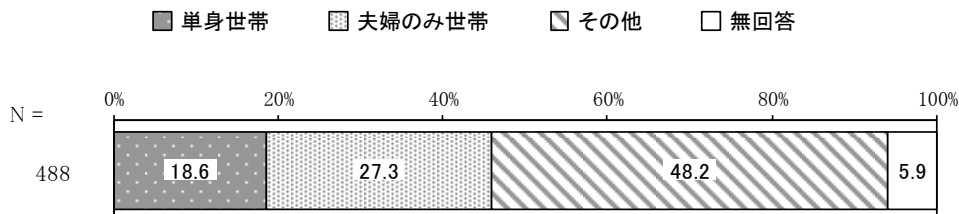
##### 問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（複数回答可）

「主な介護者となっている家族・親族」の割合が64.5%と最も高く、次いで「調査対象者本人」の割合が33.8%となっています。



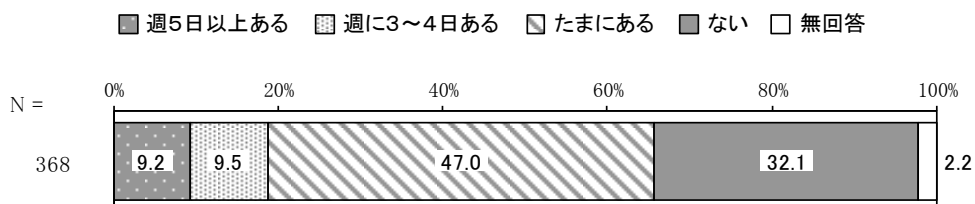
##### 問2 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

「単身世帯」の割合が18.6%、「夫婦のみ世帯」の割合が27.3%となっています。



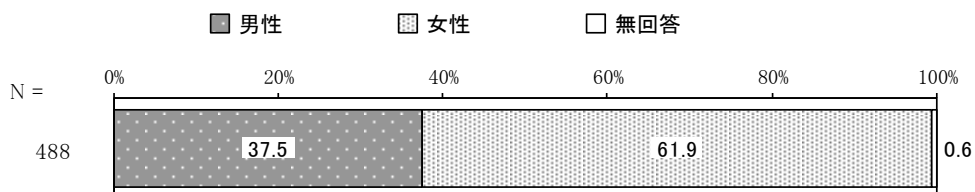
##### 問2で「2 夫婦のみ世帯」「3 その他」と回答した方にお伺いします 問2-① ご本人は、日中、一人になることがありますか（1つを選択）

「たまにある」の割合が47.0%と最も高く、次いで「ない」の割合が32.1%となっています。



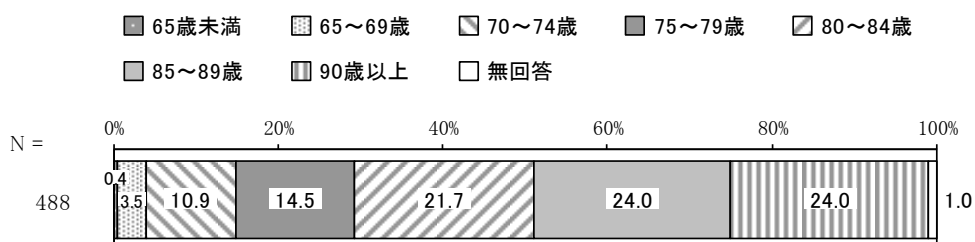
### 問3 ご本人の性別について、ご回答ください（1つを選択）

「男性」の割合が37.5%、「女性」の割合が61.9%となっています。



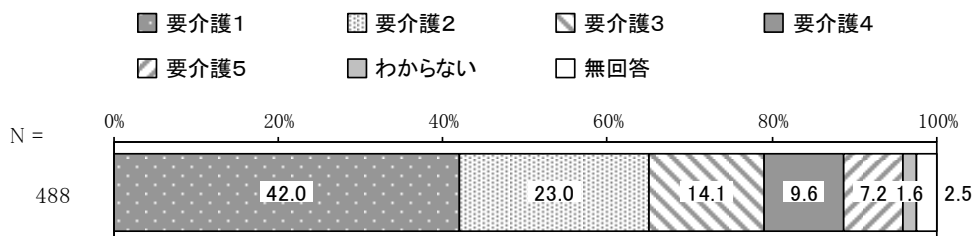
### 問4 ご本人の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

「85～89歳」、「90歳以上」の割合が24.0%と最も高く、次いで、「80～84歳」の割合が21.7%となっています。



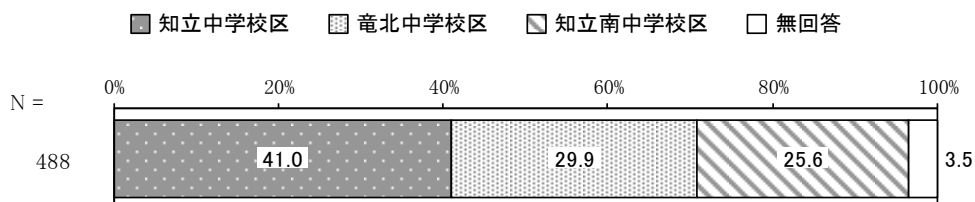
### 問5 ご本人の要介護度について、ご回答ください（1つを選択）

「要介護1」の割合が42.0%と最も高く、次いで「要介護2」の割合が23.0%、「要介護3」の割合が14.1%となっています。



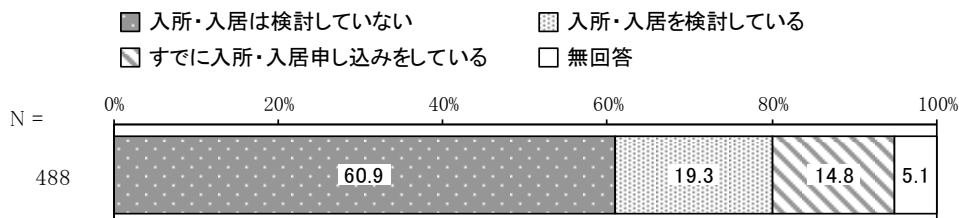
### 問6 あなたがお住まいの地区を以下の中学校区の中からお選びください。ご不明な場合は、ご自宅から最も近いと思われる中学校をお選びください（1つを選択）

「知立中学校区」の割合が41.0%と最も高く、次いで「竜北中学校区」の割合が29.9%、「知立南中学校区」の割合が25.6%となっています。



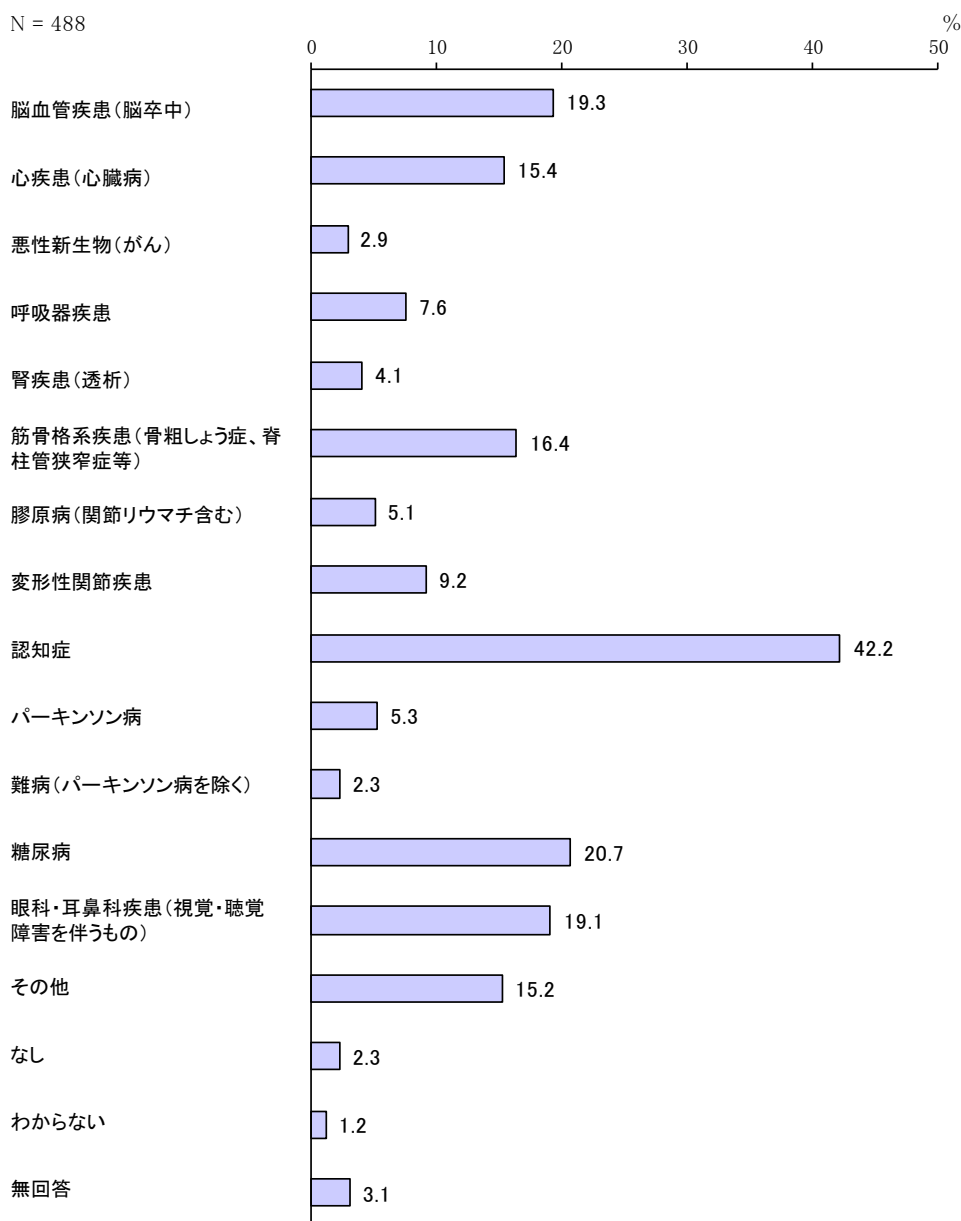
**問7 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）**

「入所・入居は検討していない」の割合が60.9%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」の割合が19.3%、「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合が14.8%となっています。



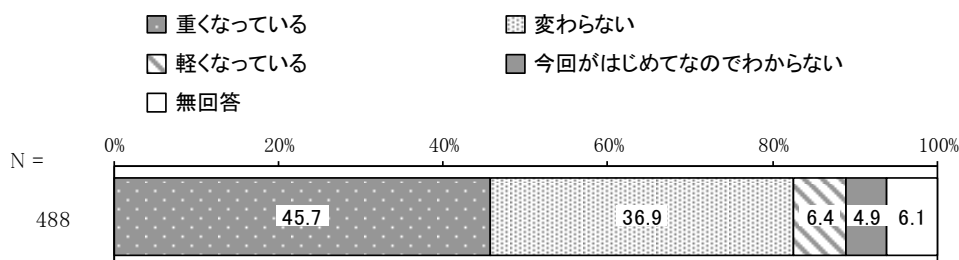
**問8 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（複数選択可）**

「認知症」の割合が42.2%と最も高く、次いで「糖尿病」の割合が20.7%、「脳血管疾患（脳卒中）」の割合が19.3%となっています。



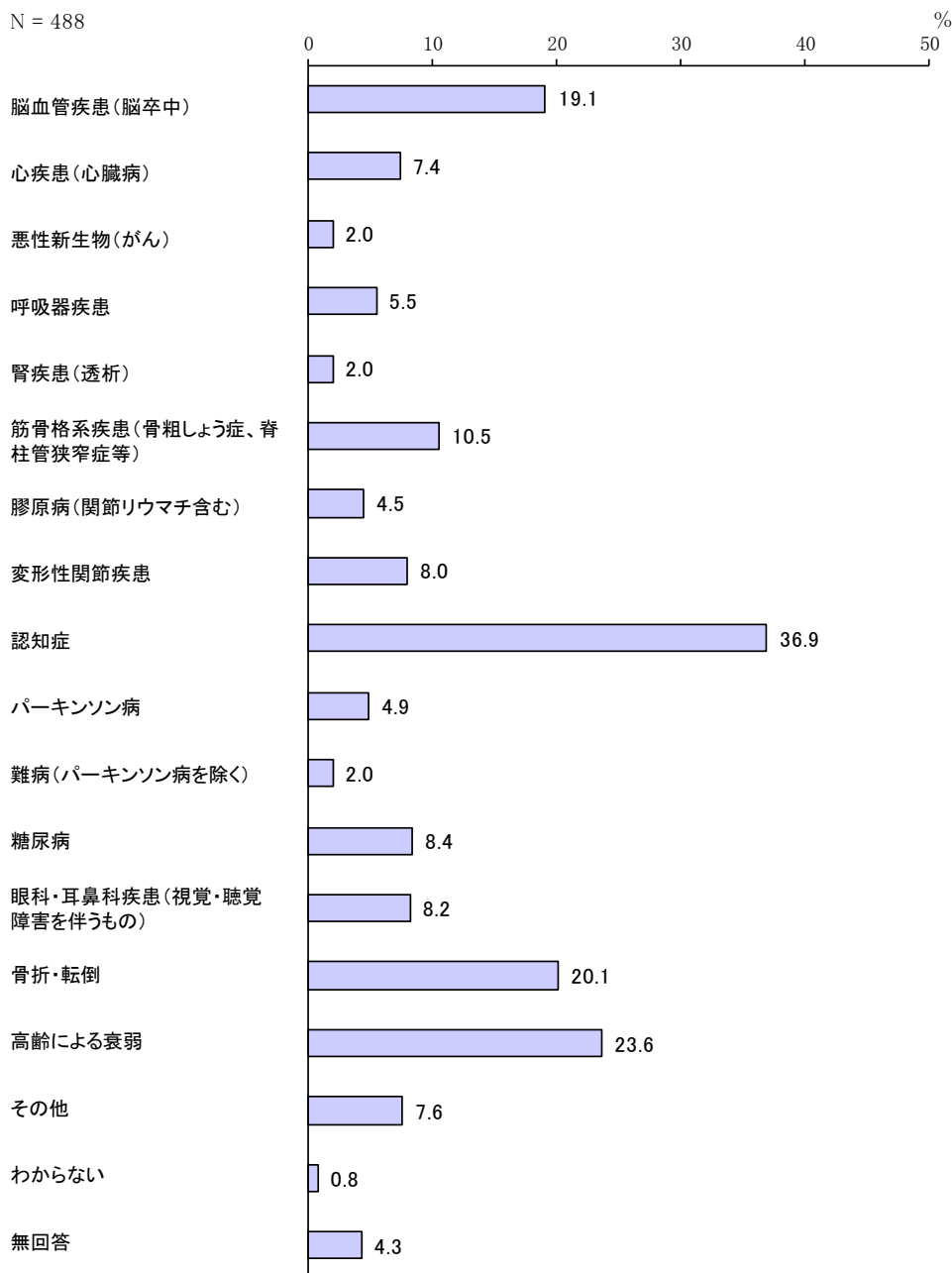
**問9 以前と比べてあなたの要介護度の状況はいかがですか（1つを選択）**

「重くなっている」の割合が45.7%と最も高く、次いで「変わらない」の割合が36.9%となっています。



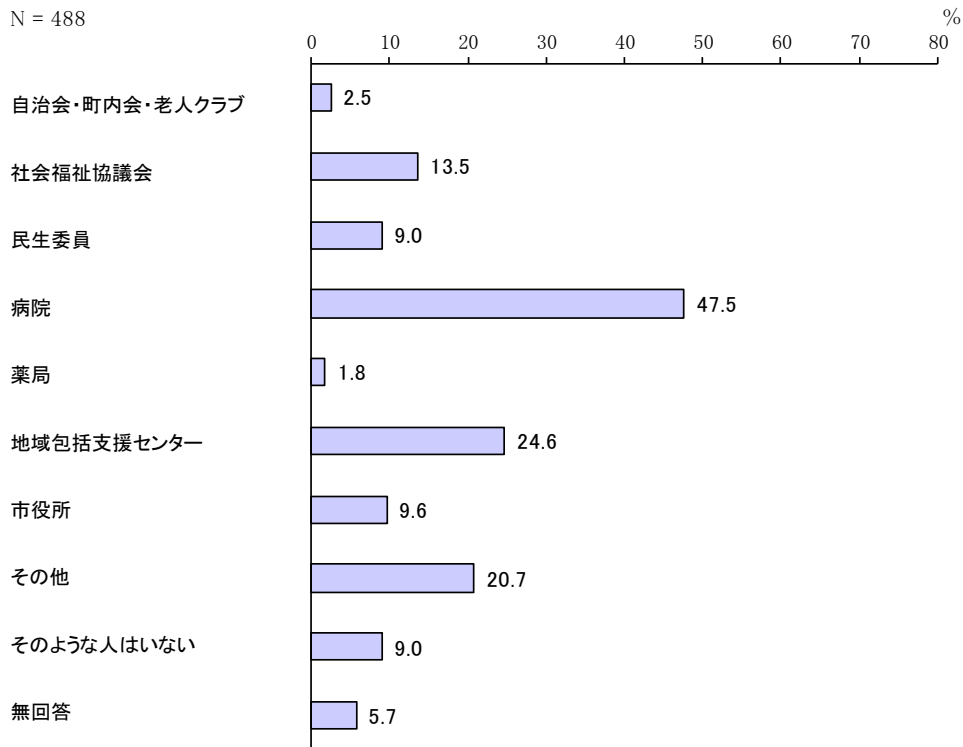
**問10 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（複数選択可）**

「認知症」の割合が36.9%と最も高く、次いで「高齢による衰弱」の割合が23.6%、「骨折・転倒」の割合が20.1%となっています。



問 11 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（複数選択可）

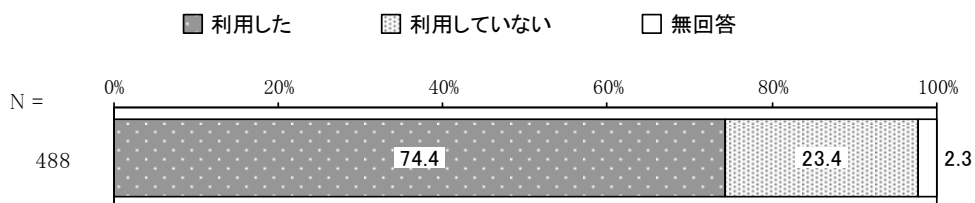
「病院」の割合が 47.5%と最も高く、次いで「地域包括支援センター」の割合が 24.6%、「社会福祉協議会」の割合が 13.5%となっています。



## (2) 介護保険サービスについて

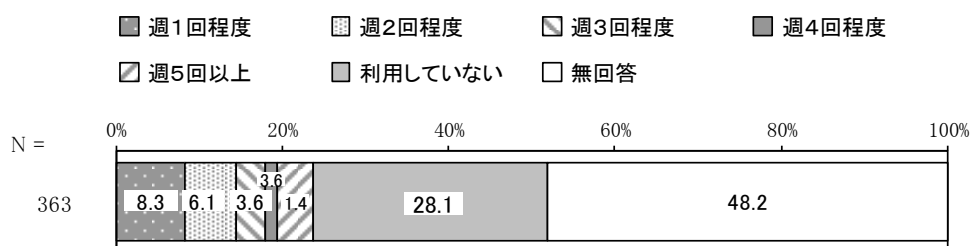
問 12 平成 28 年 12 月の 1 か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用しましたか (1 つを選択)

「利用した」の割合が 74.4%、「利用していない」の割合が 23.4%となっています。



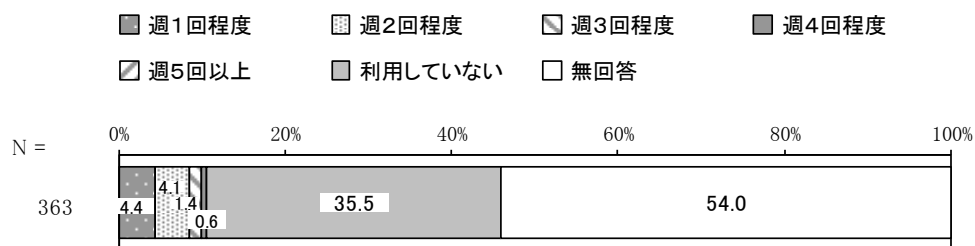
問 12 で「1 利用した」と回答した方にお伺いします  
問 12-① A. 訪問介護 (ホームヘルプサービス)

「利用していない」の割合が 28.1%と最も高くなっています。



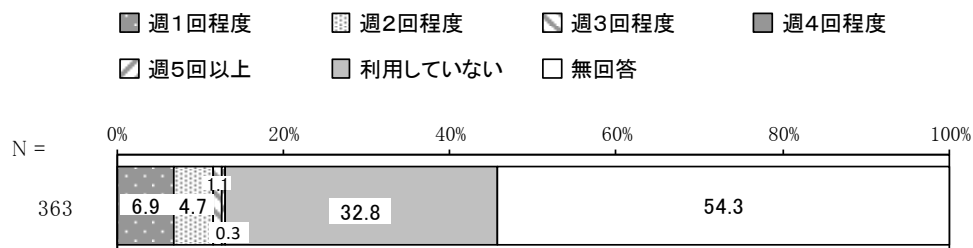
問 12-① B. 訪問入浴介護

「利用していない」の割合が 35.5%と最も高くなっています。



問 12-① C. 訪問看護

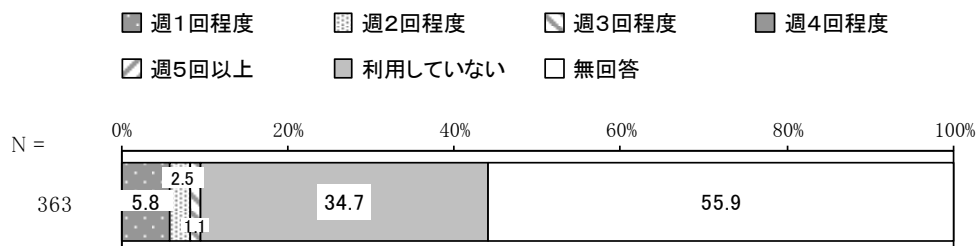
「利用していない」の割合が 32.8%と最も高くなっています。





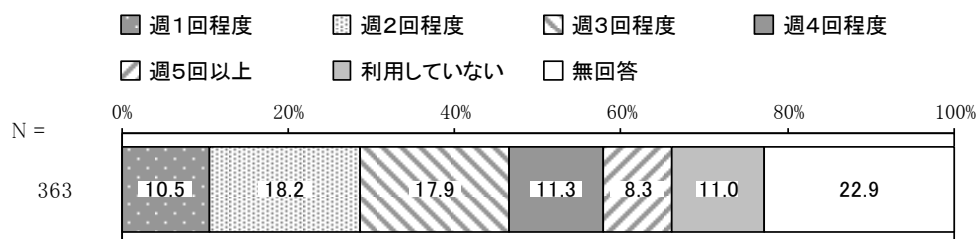
### 問 12-① D. 訪問リハビリテーション

「利用していない」の割合が34.7%と最も高くなっています。



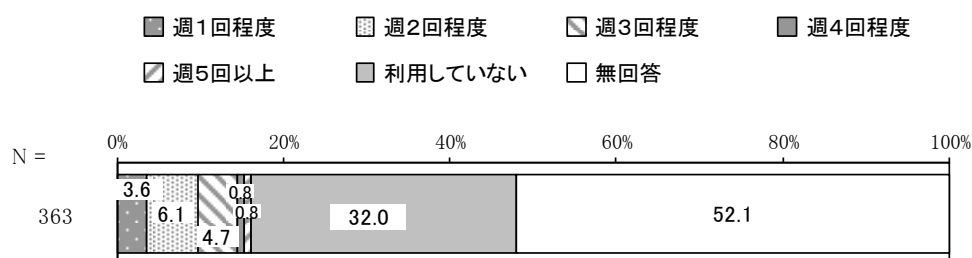
### 問 12-① E. 通所介護（デイサービス）

「週2回程度」の割合が18.2%と最も高く、次いで「週3回程度」の割合が17.9%、「週4回程度」の割合が11.3%となっています。



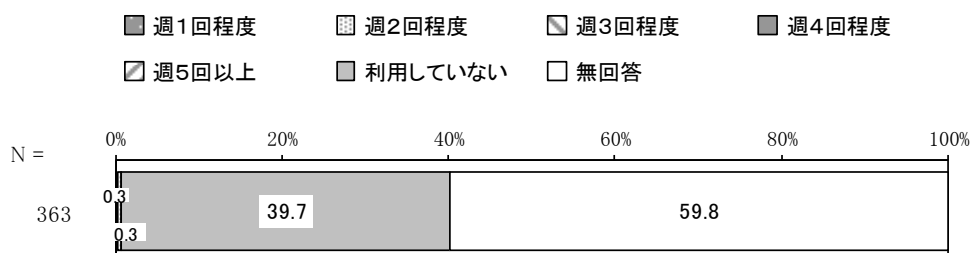
### 問 12-① F. 通所リハビリテーション（デイケア）

「利用していない」の割合が32.0%と最も高くなっています。



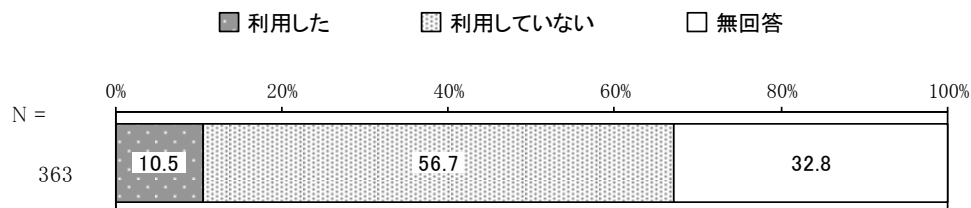
### 問 12-① G. 夜間対応型訪問介護

「利用していない」の割合が39.7%と最も高くなっています。



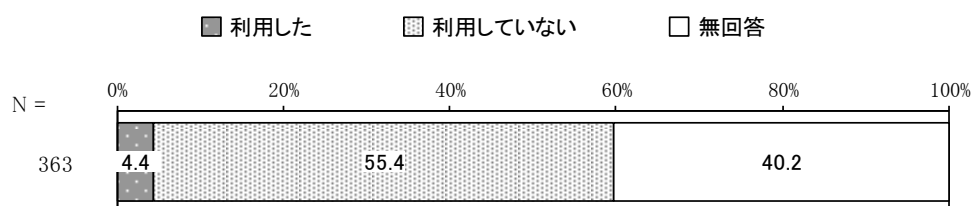
問 12-① H. 定期巡回・随時対応型 訪問介護看護

「利用していない」の割合が 56.7%、「利用した」の割合が 10.5%となっています。



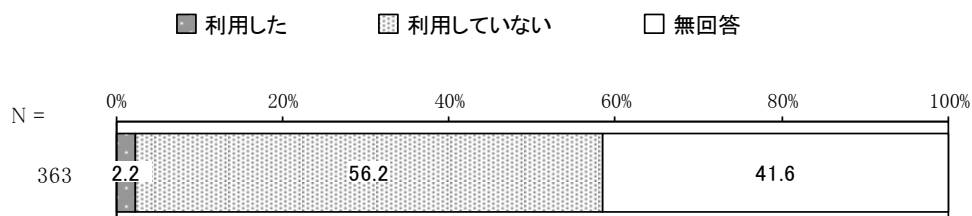
問 12-① I. 小規模多機能型居宅介護

「利用していない」の割合が 55.4%、「利用した」の割合が 4.4%となっています。



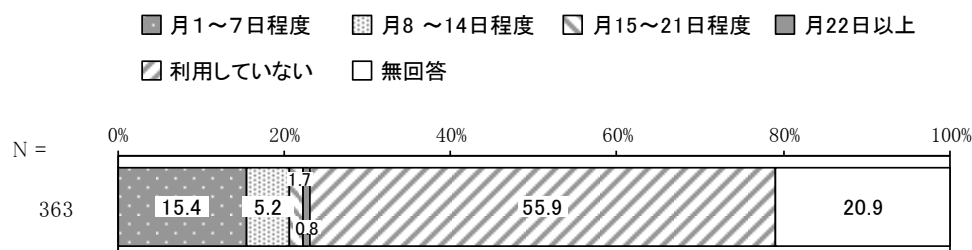
問 12-① J. 看護小規模多機能型 居宅介護

「利用していない」の割合が 56.2%、「利用した」の割合が 2.2%となっています。



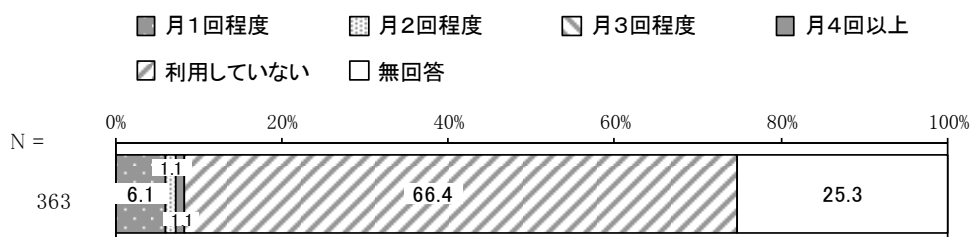
問 12-① K. ショートステイ

「利用していない」の割合が 55.9%と最も高く、次いで「月 1～7 日程度」の割合が 15.4%となっています。



## 問 12-① L. 居宅療養管理指導

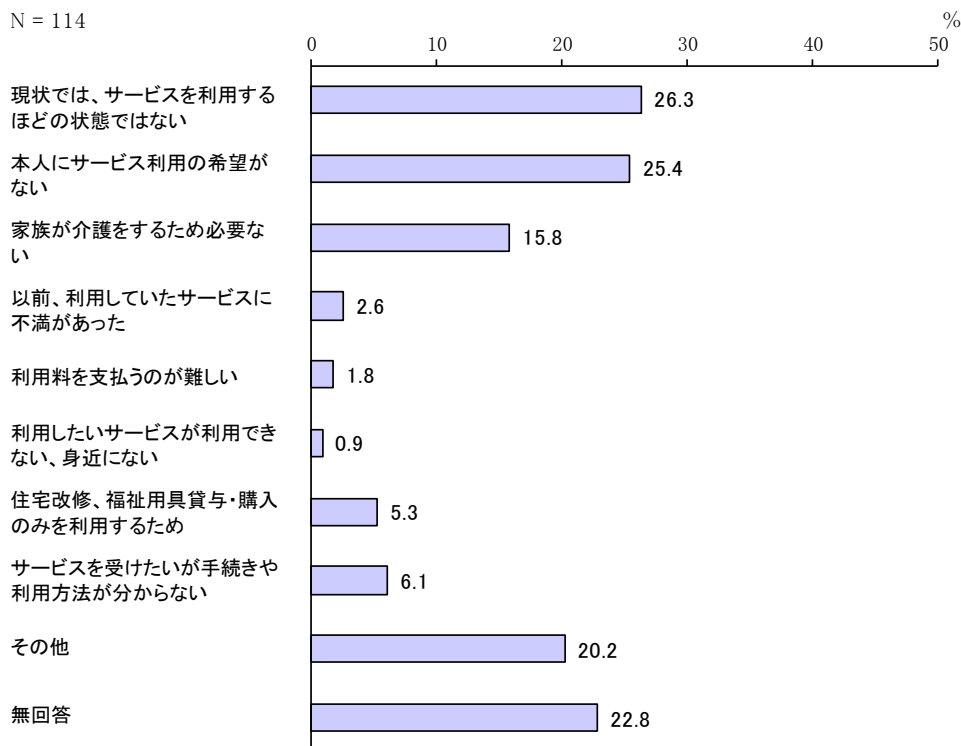
「利用していない」の割合が66.4%と最も高くなっています。



## 問 12 で「2 利用していない」と回答した方にお伺いします

### 問 12-② 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）

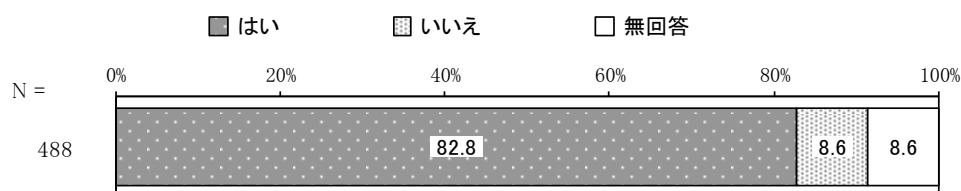
「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が26.3%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」の割合が25.4%、「家族が介護をするため必要ない」の割合が15.8%となっています。



### (3) 在宅医療について

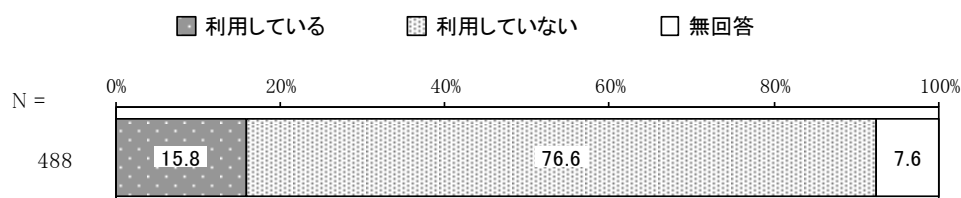
#### 問 13 かかりつけ医がいますか（1つを選択）

「はい」の割合が82.8%、「いいえ」の割合が8.6%となっています。



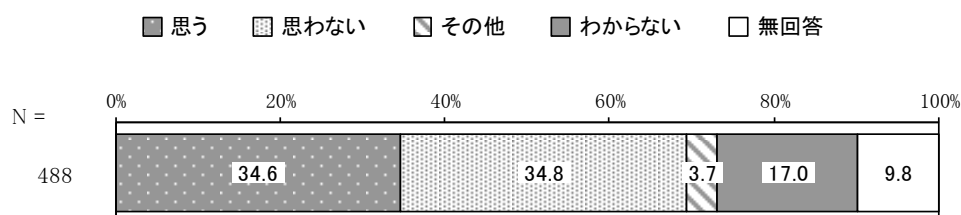
#### 問 14 ご本人（認定調査対象者）は、現在、医師、歯科医師による訪問診療を利用していますか（1つを選択）

「利用している」の割合が15.8%、「利用していない」の割合が76.6%となっています。



#### 問 15 医師、歯科医師による訪問診療が必要だと思いますか（1つを選択）

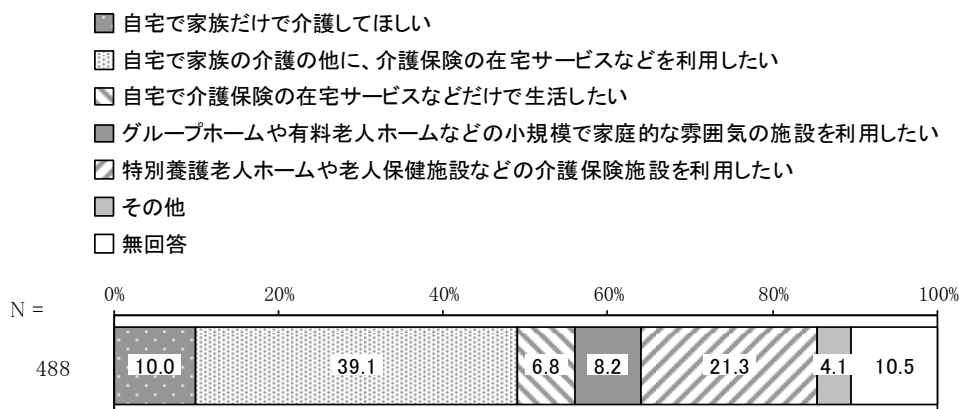
「思わない」の割合が34.8%と最も高く、次いで「思う」の割合が34.6%、「わからない」の割合が17.0%となっています。



#### (4) 今後の介護の希望について

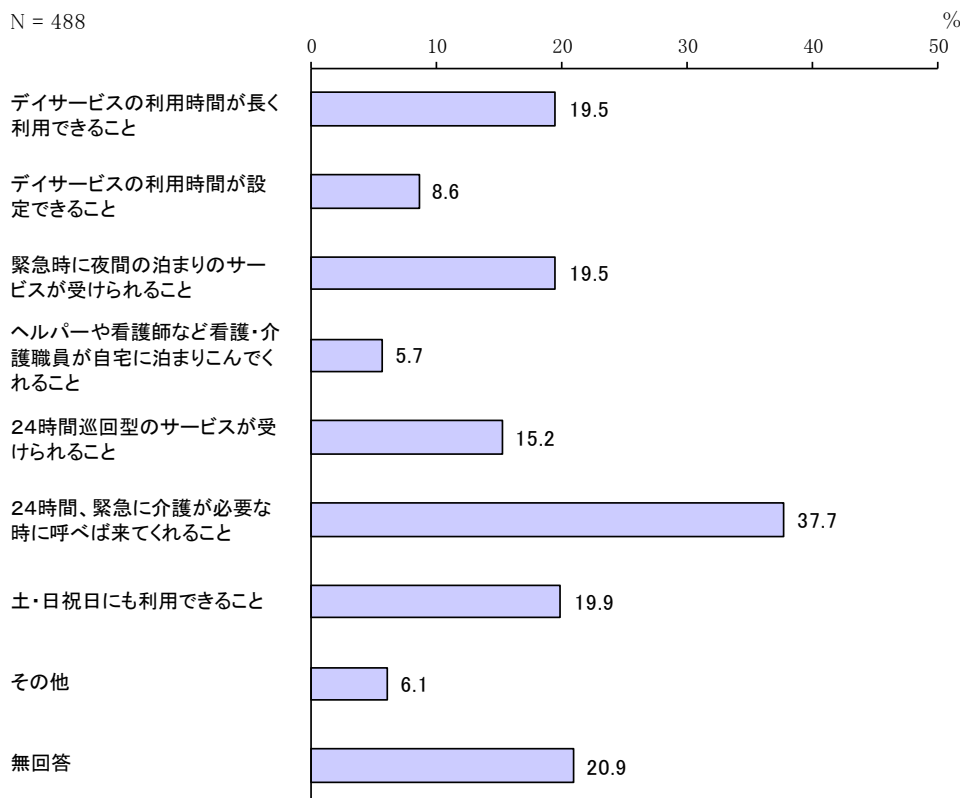
##### 問 16 今後、どのように介護してほしいと思いますか（1つを選択）

「自宅で家族の介護の他に、介護保険の在宅サービスなどを利用したい」の割合が 39.1%と最も高く、次いで「特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設を利用したい」の割合が 21.3%、「自宅で家族だけで介護してほしい」の割合が 10.0%となっています。



##### 問 17 一人暮らしで、要介護状態が重くなった場合、どのようなサービスがあれば自宅で生活が続けられると思いますか（2つまで選択可）

「24時間、緊急に介護が必要な時に呼べば来てくれること」の割合が 37.7%と最も高く、次いで「土・日祝日にも利用できること」の割合が 19.9%、「デイサービスの利用時間が長く利用できること」、「緊急時に夜間の泊まりのサービスが受けられること」の割合が 19.5%となっています。

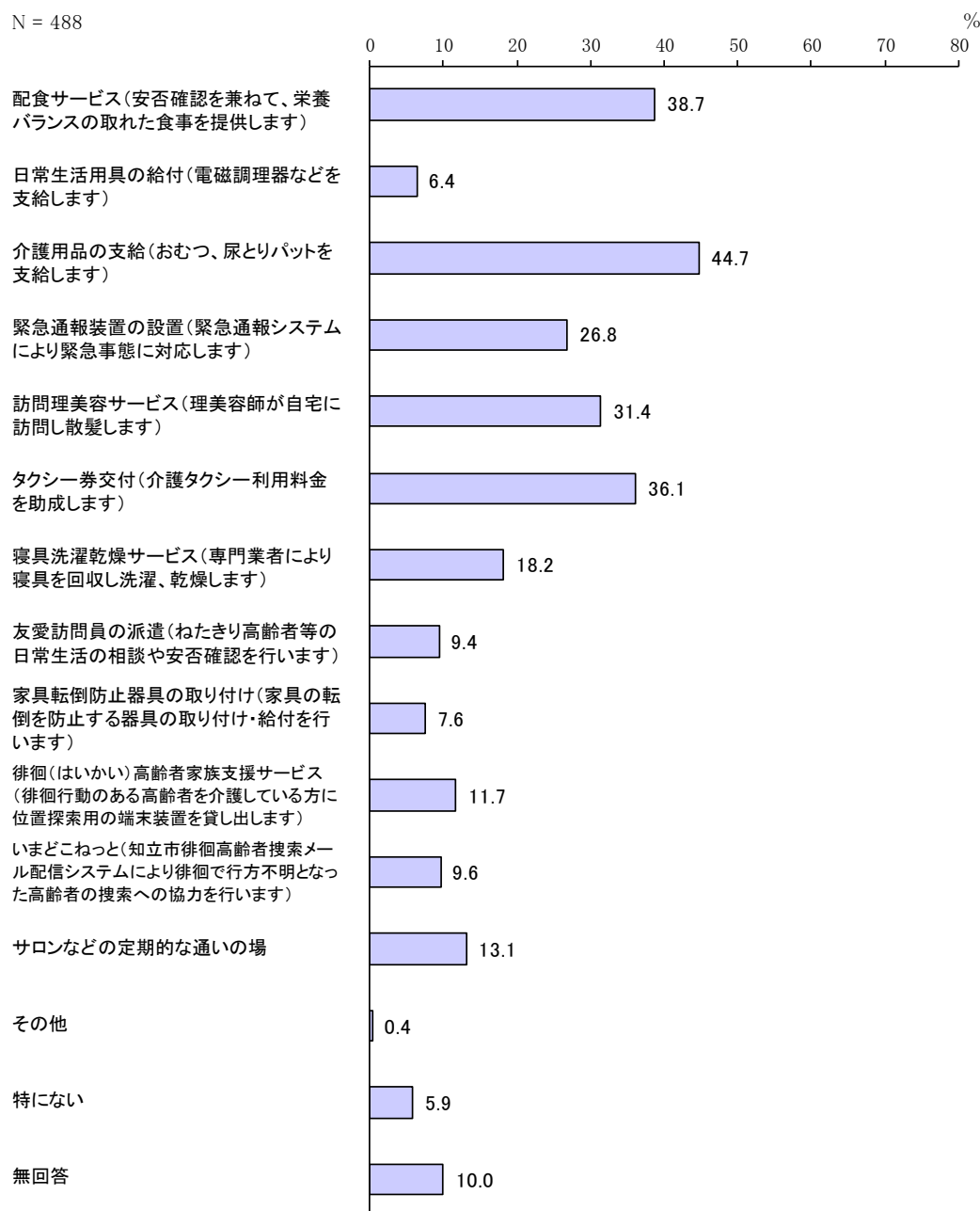


## (5) 高齢者福祉全般について

問 18 介護保険以外の高齢者福祉サービスについて、今後利用したい・実施してほしいサービスはありますか（複数選択可）

「介護用品の支給」の割合が 44.7%と最も高く、次いで「配食サービス」の割合が 38.7%、「タクシー券交付」の割合が 36.1%となっています。

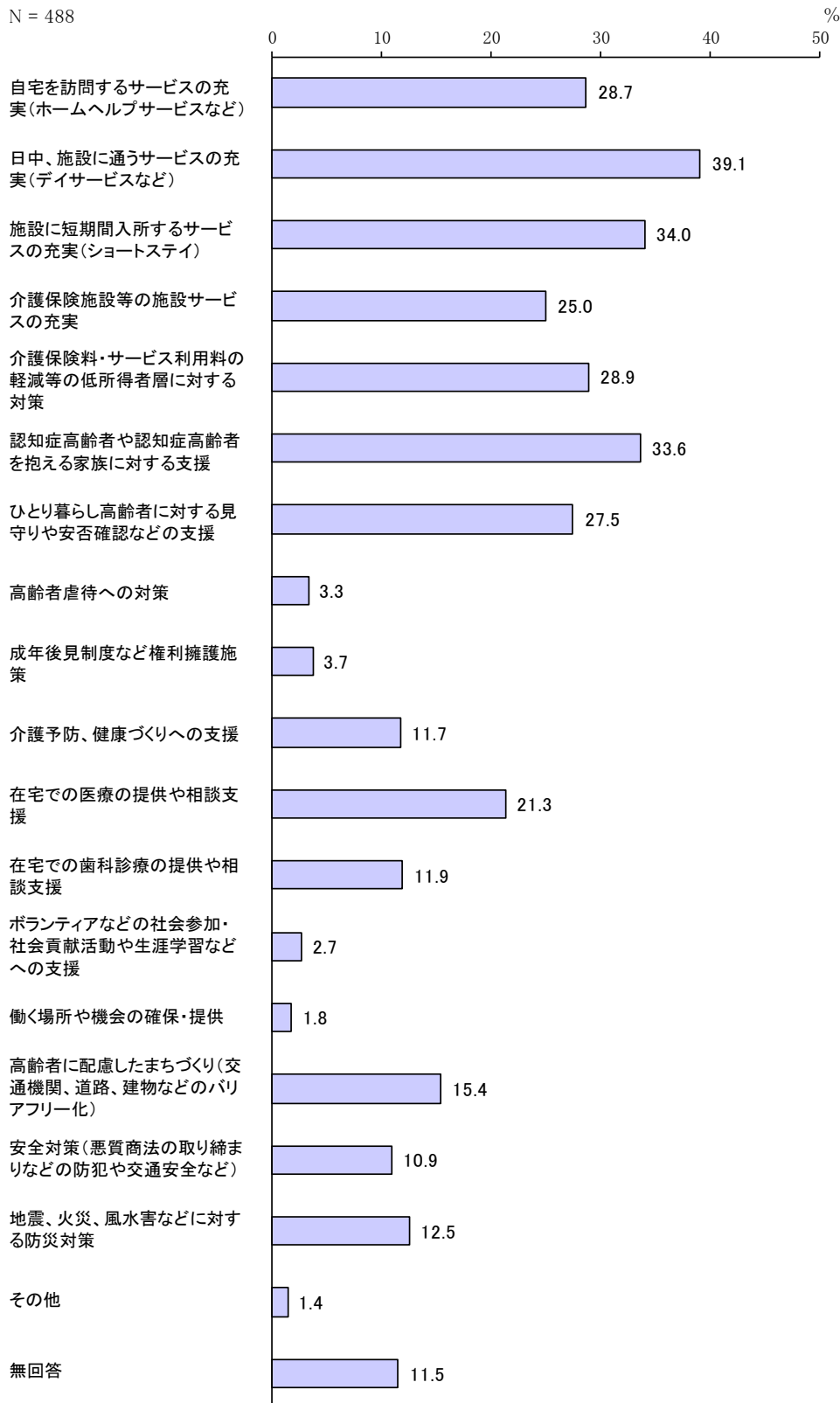
N = 488



問 19 高齢者に対する施策や支援で、特に大切だと思うものは何ですか  
(5つまで選択可)

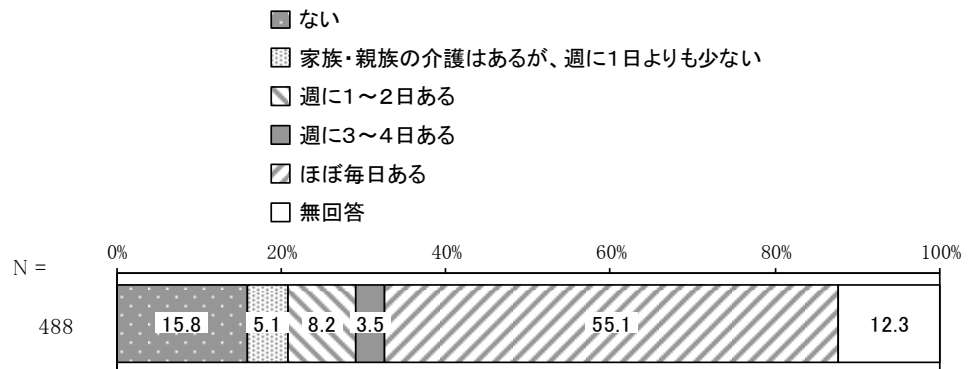
「日中、施設に通うサービスの充実(デイサービスなど)」の割合が39.1%と最も高く、次いで「施設に短期間入所するサービスの充実(ショートステイ)」の割合が34.0%、「認知症高齢者や認知症高齢者を抱える家族に対する支援」の割合が33.6%となっています。

N = 488



問 21 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

「ほぼ毎日ある」の割合が 55.1%と最も高く、次いで「ない」の割合が 15.8%となっています。

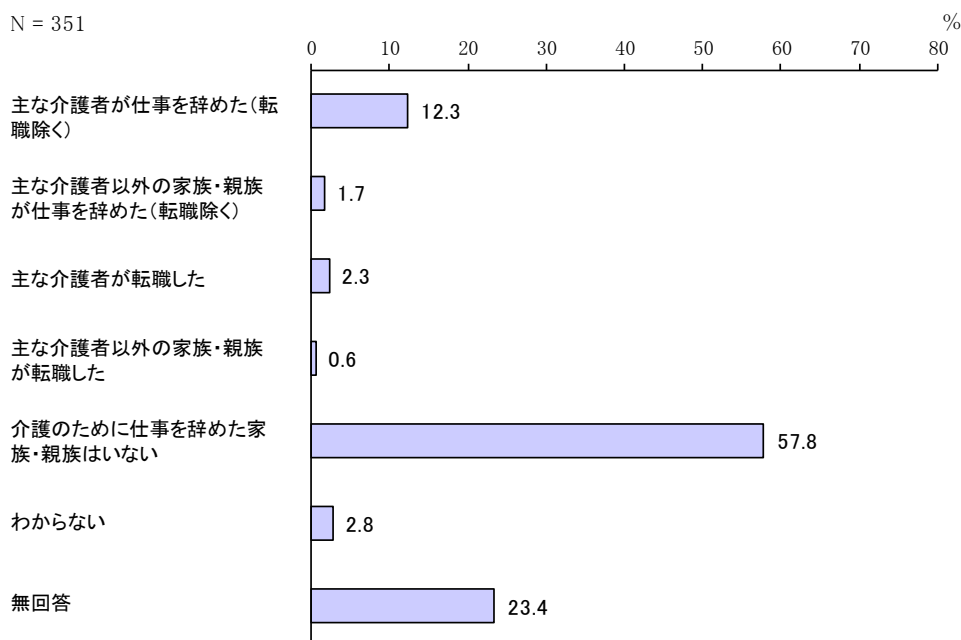




## 2 B票 主な介護者の方について

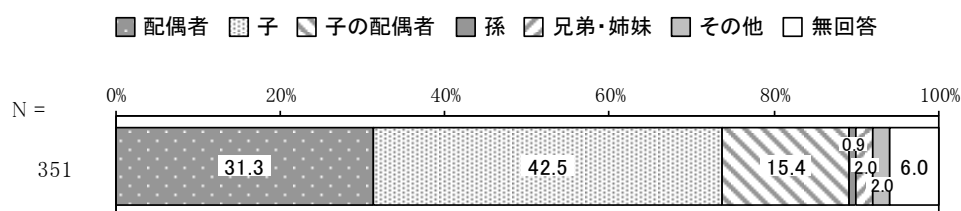
問 22 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が57.8%と最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」の割合が12.3%となっています。



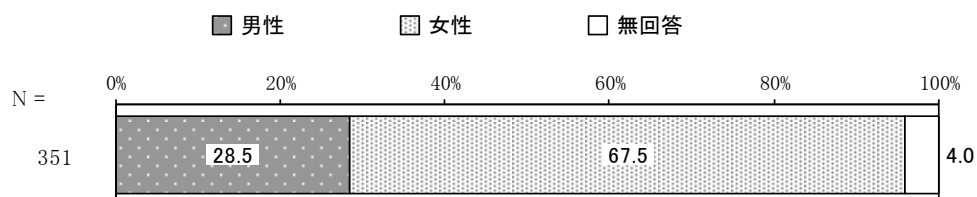
問 23 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

「子」の割合が42.5%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が31.3%、「子の配偶者」の割合が15.4%となっています。



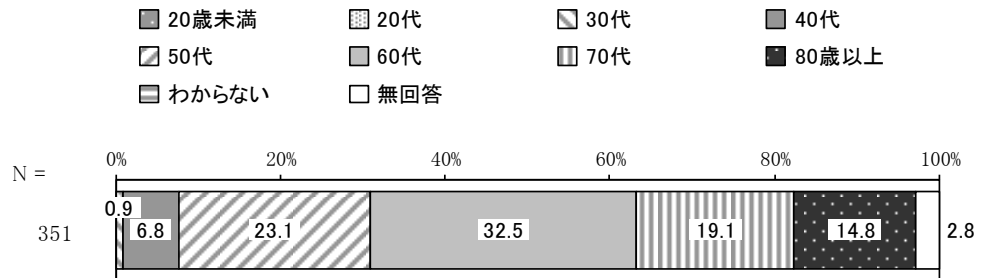
問 24 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

「男性」の割合が28.5%、「女性」の割合が67.5%となっています。



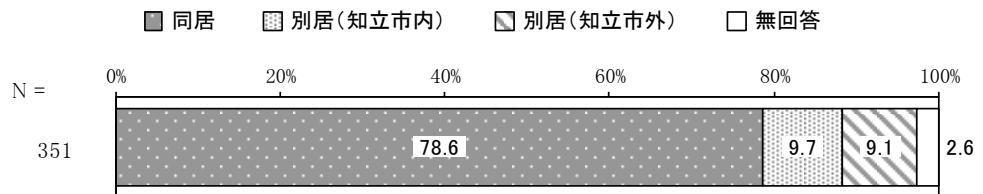
問 25 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

「60代」の割合が32.5%と最も高く、次いで「50代」の割合が23.1%、「70代」の割合が19.1%となっています。



問 26 主な介護者は、宛名の方と同居していますか（1つを選択）

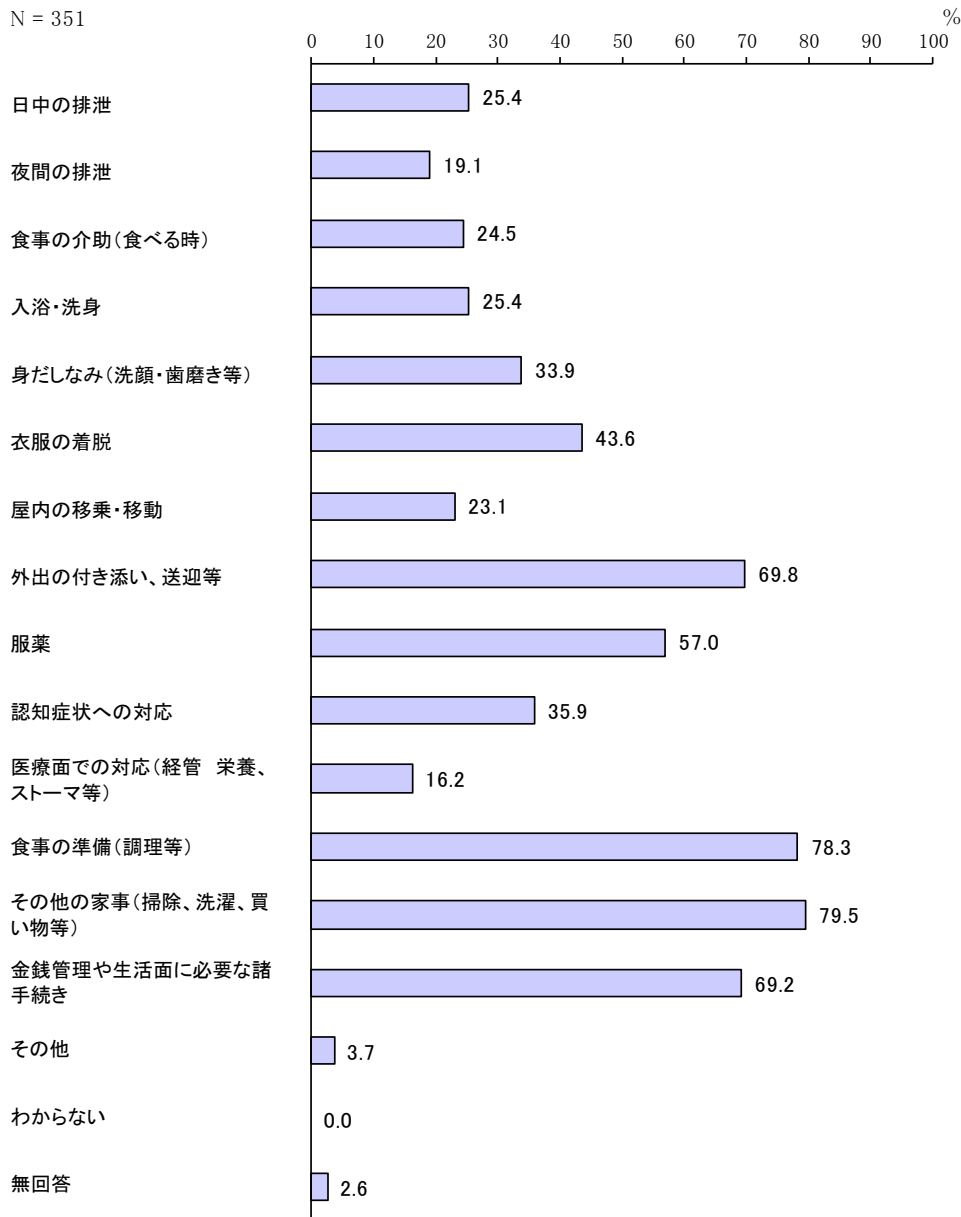
「同居」の割合が78.6%と最も高くなっています。



問 27 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください  
(複数選択可)

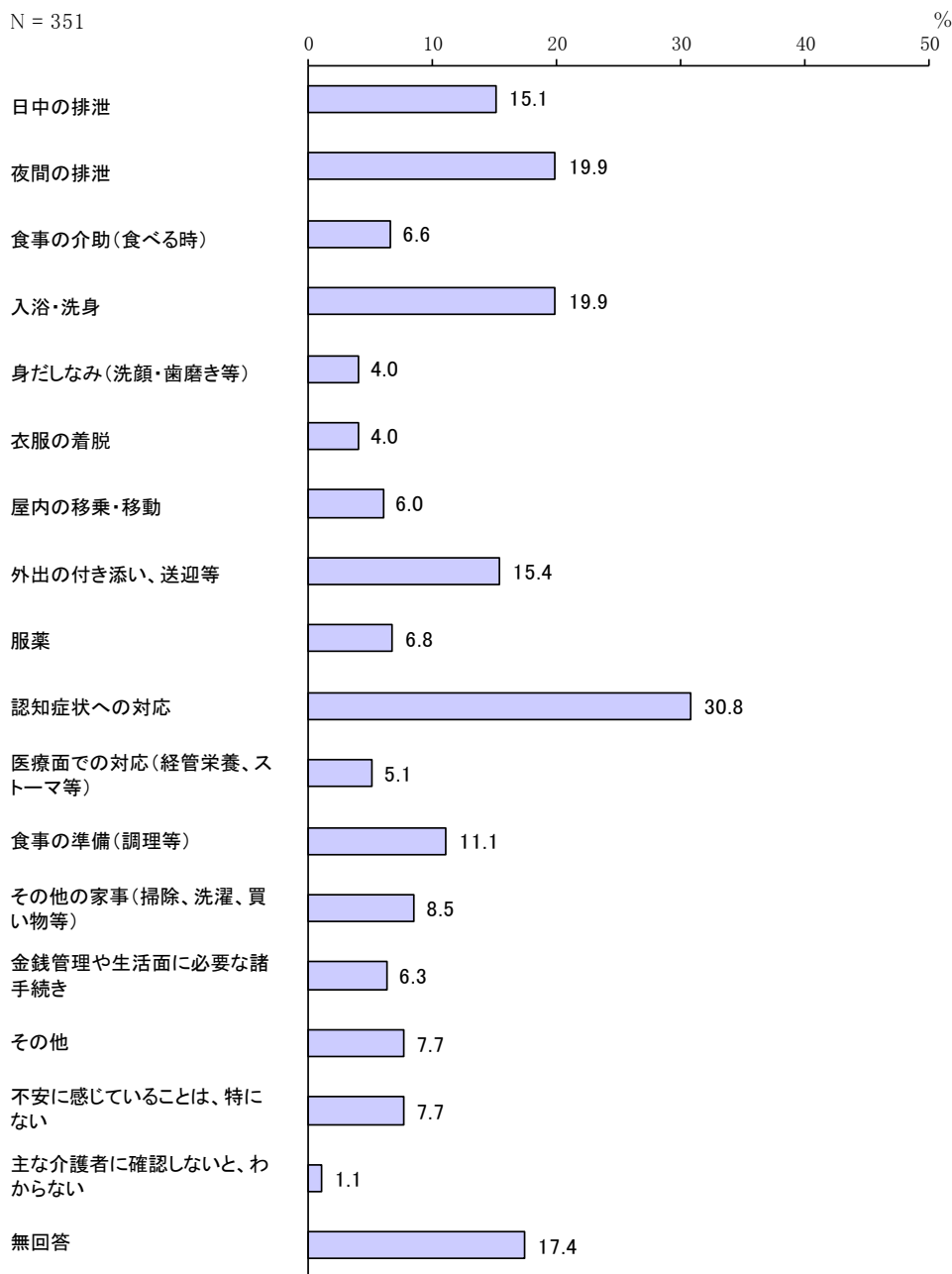
「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が 79.5%と最も高く、次いで「食事の準備（調理等）」の割合が 78.3%、「外出の付き添い、送迎等」の割合が 69.8%となっています。

N = 351



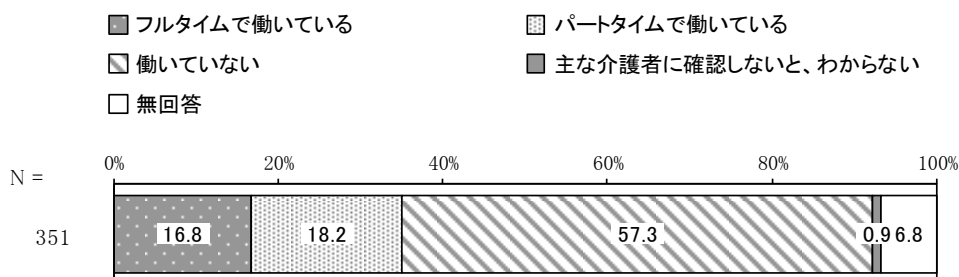
問 28 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）  
（3つまで選択可）

「認知症状への対応」の割合が30.8%と最も高く、次いで「夜間の排泄」、「入浴・洗身」の割合が19.9%となっています。



**問 29 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）**

「働いていない」の割合が57.3%と最も高く、次いで「パートタイムで働いている」の割合が18.2%、「フルタイムで働いている」の割合が16.8%となっています。

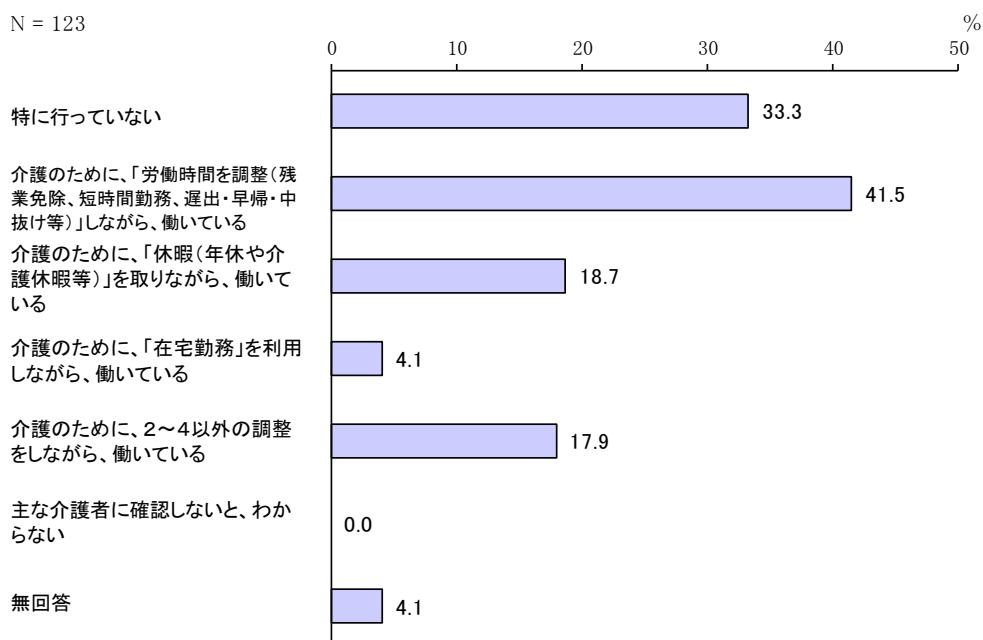


**問 29 で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします**

**問 29-① 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか（複数選択可）**

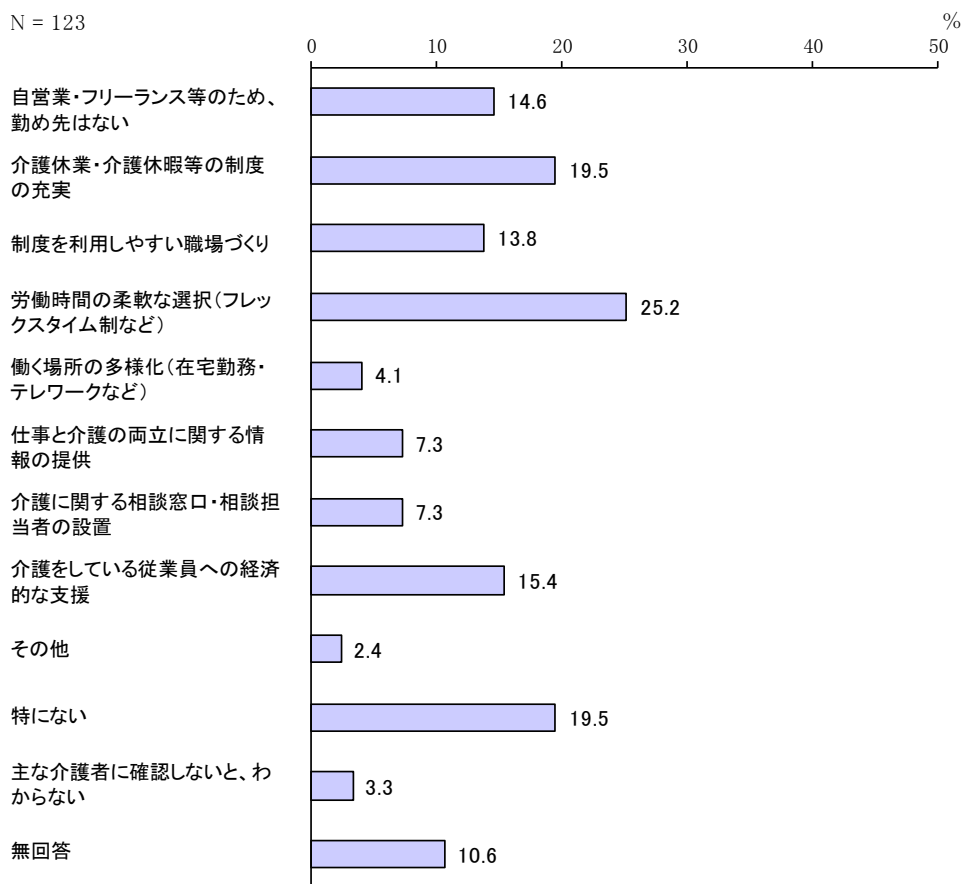
「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」の割合が41.5%と最も高く、次いで「特に行っていない」の割合が33.3%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」の割合が18.7%となっています。

N = 123



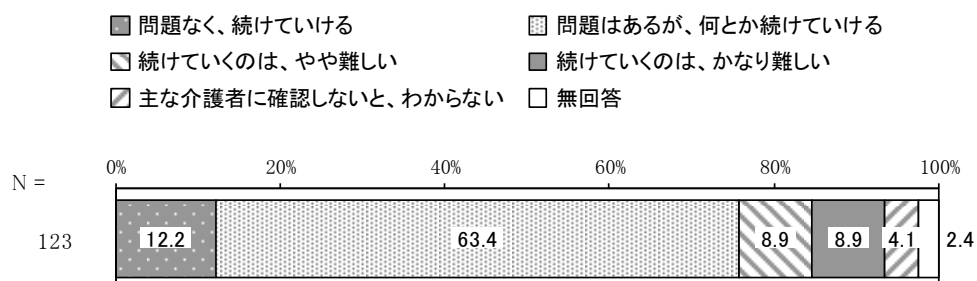
問 29-② 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」の割合が 25.2%と最も高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、「特にない」の割合が 19.5%となっています。



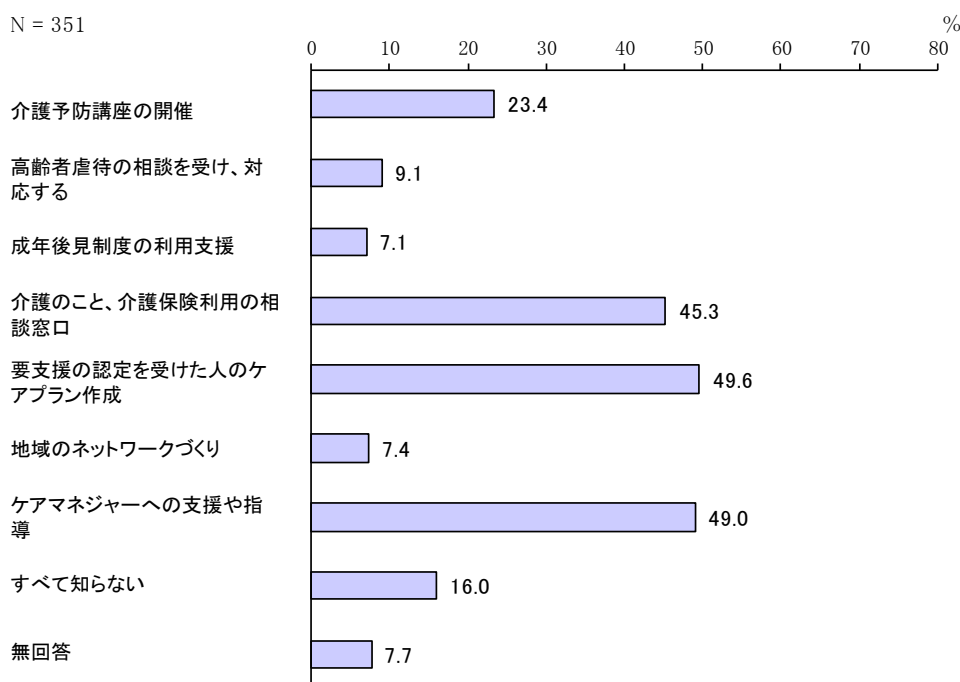
問 29-③ 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が 63.4%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」の割合が 12.2%となっています。



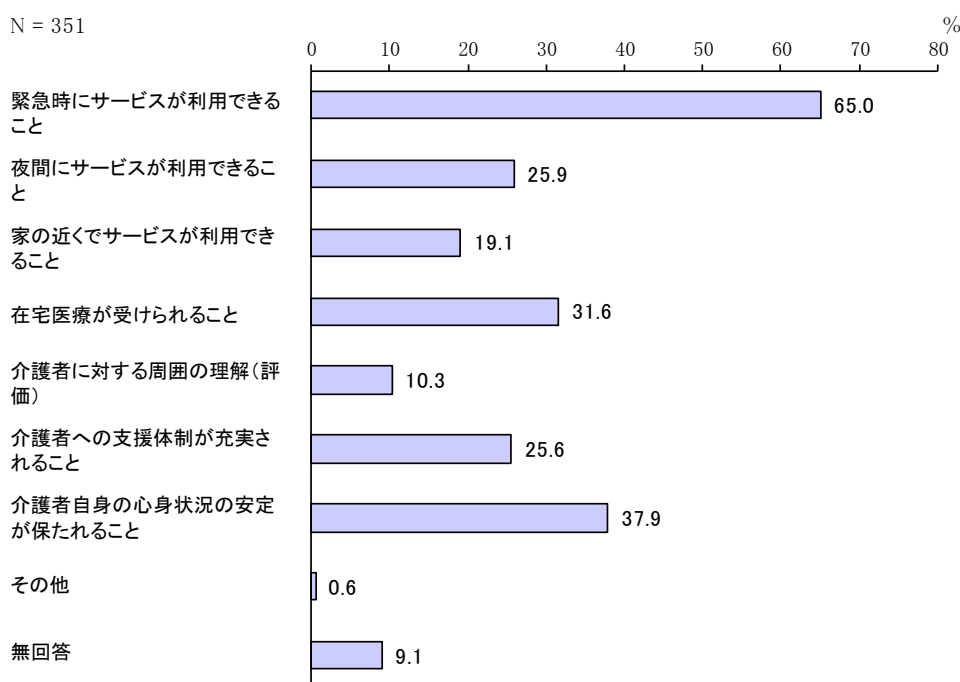
**問 30 地域包括支援センターの役割として知っているものはどれですか（複数選択可）**

「要支援の認定を受けた人のケアプラン作成」の割合が49.6%と最も高く、次いで「ケアマネジャーへの支援や指導」の割合が49.0%、「介護のこと、介護保険利用の相談窓口」の割合が45.3%となっています。



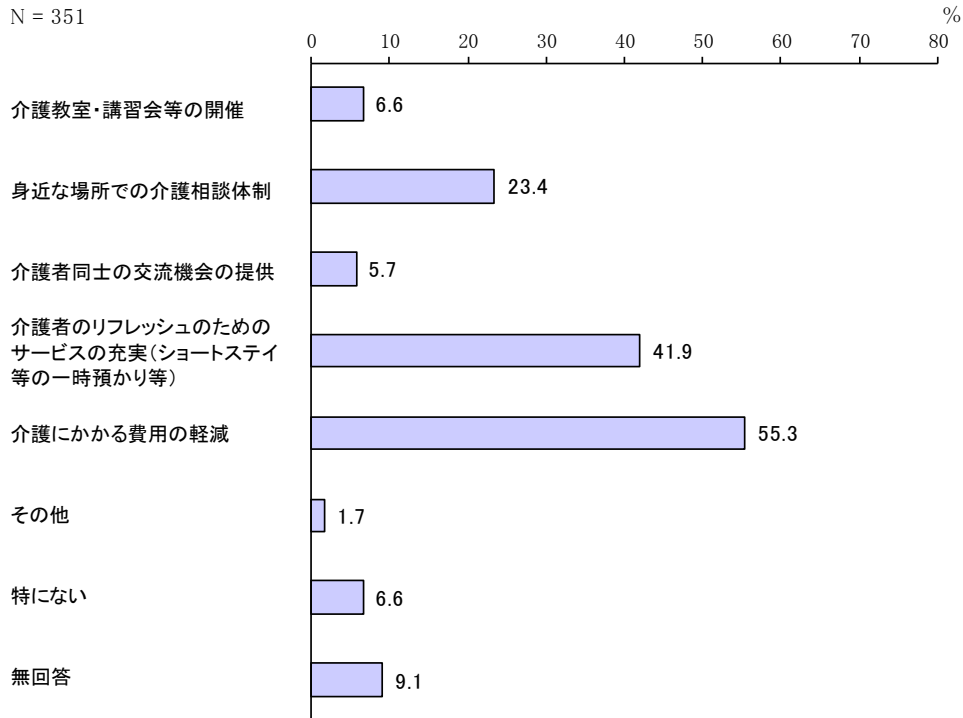
**問 31 ご本人（宛名の方）を在宅で介護するためには、どのようなことが重要だと思いますか（3つまで選択可）**

「緊急時にサービスが利用できること」の割合が65.0%と最も高く、次いで「介護者自身の心身状況の安定が保たれること」の割合が37.9%、「在宅医療が受けられること」の割合が31.6%となっています。



問 32 家族等の介護者に対して、どのような支援があればいいと思いますか  
(2つまで選択可)

「介護にかかる費用の軽減」の割合が 55.3%と最も高く、次いで「介護者のリフレッシュのためのサービスの充実(ショートステイ等の一時預かり等)」の割合が 41.9%、「身近な場所での介護相談体制」の割合が 23.4%となっています。



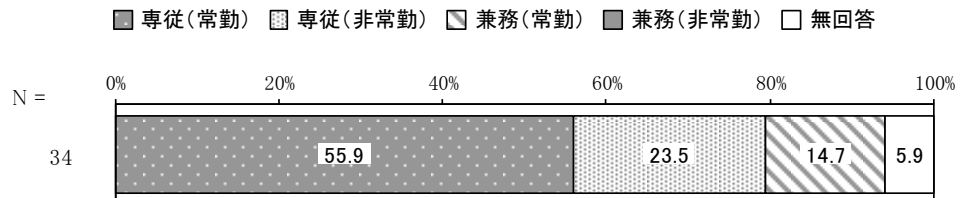


## V 調査結果（介護支援専門員）

### （1）回答者属性

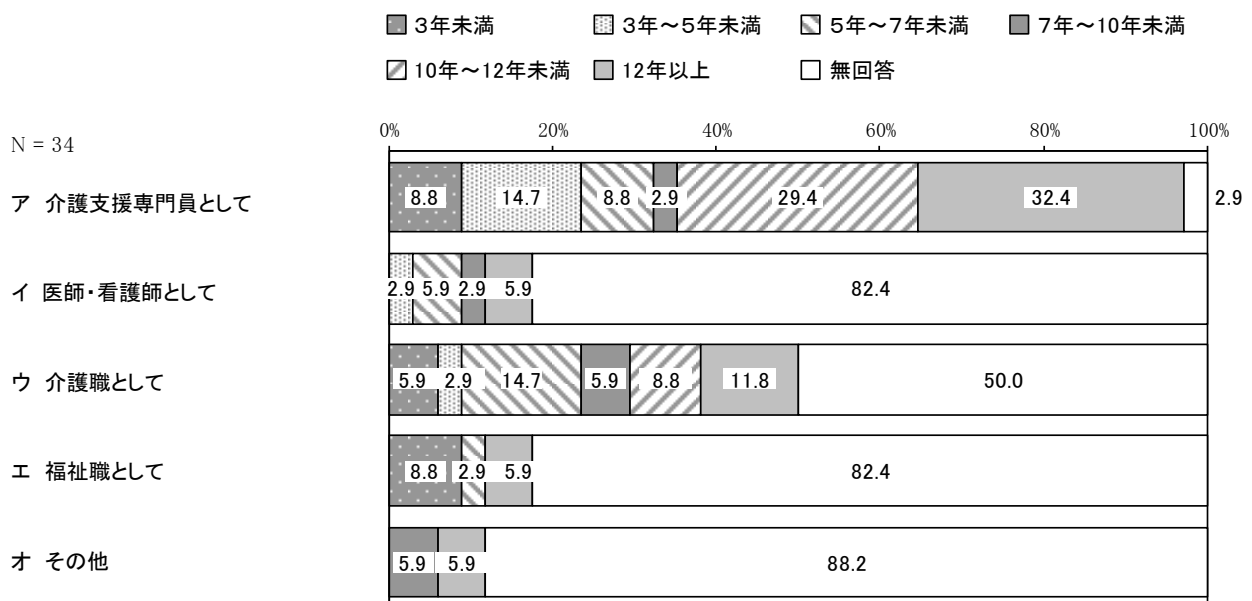
問 あなたの勤務形態はどれに該当しますか。（1つを選択）

「専従（常勤）」の割合が55.9%と最も高く、次いで「専従（非常勤）」の割合が23.5%、「兼務（常勤）」の割合が14.7%となっています。



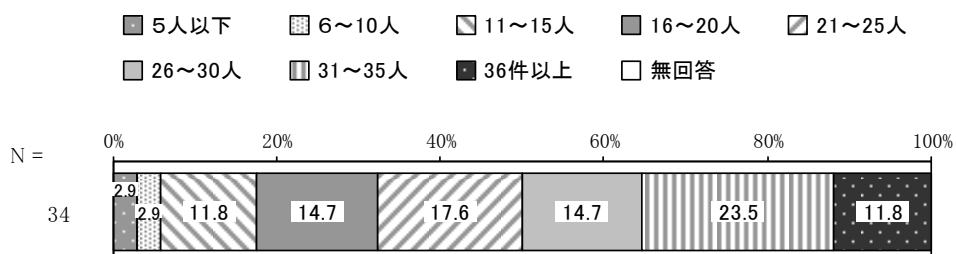
問 介護や医療保健福祉職としての経験年数をお答えください。（アからオで、該当する項目すべてで1つを選択）

ア 介護支援専門員としてで10年以上の割合と、ウ 介護職としてで5年以上の割合が高くなっています。



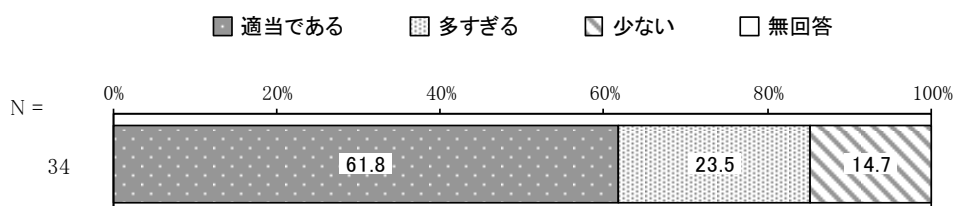
問 平成 29 年 1 月 1 日現在、あなたは何人のケアプランを担当していますか。  
(1つを選択)

「31～35人」の割合が 23.5%と最も高く、次いで「21～25人」の割合が 17.6%、「16～20人」、  
「26～30人」の割合が 14.7%となっています。



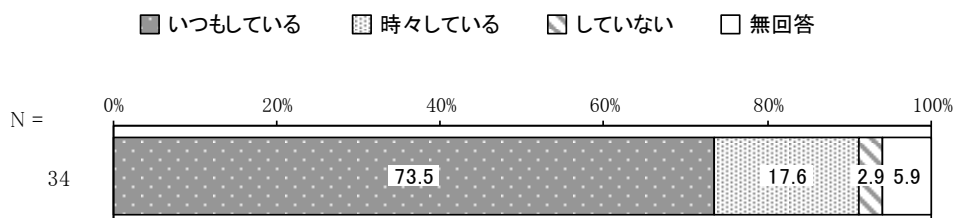
問 あなたが担当している人数は適当だと思いますか。(1つを選択)

「適当である」の割合が 61.8%と最も高く、次いで「多すぎる」の割合が 23.5%、「少ない」  
の割合が 14.7%となっています。



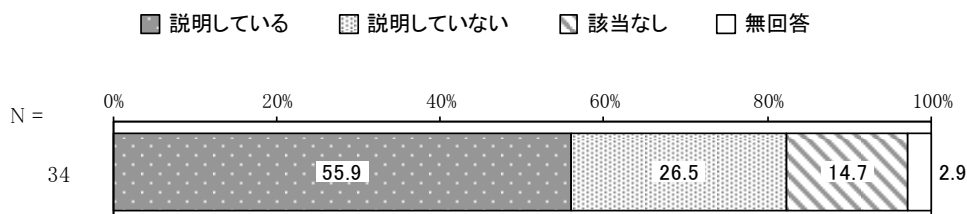
問 軽度の認定者には、自立支援を考慮しながら介護サービス計画を作成していますか。(1つを選択)

「いつもしている」の割合が 73.5%と最も高く、次いで「時々している」の割合が 17.6%とな  
っています。



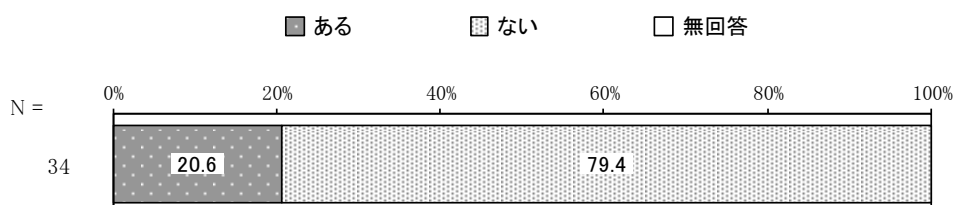
問 現在担当している利用者の状態が良くなった場合、変更申請するように説明していますか。(1つを選択)

「説明している」の割合が 55.9%と最も高く、次いで「説明していない」の割合が 26.5%、「該当なし」の割合が 14.7%となっています。



問 介護サービス計画の作成を断ったことはありますか。(1つを選択)

「ある」の割合が 20.6%、「ない」の割合が 79.4%となっています。



【問7で「1 ある」と回答した方におたずねします。】

問7-1 断った理由は何ですか。

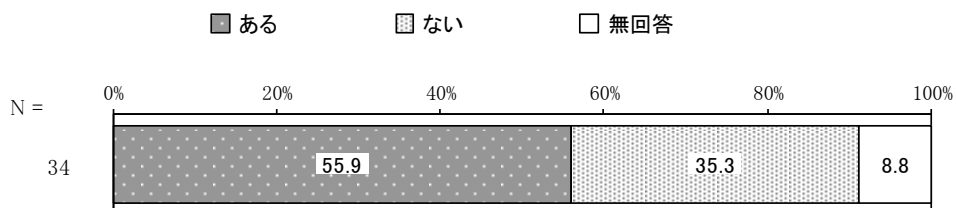
主な意見

- ・新規利用者数名同時に重った時、調整できなかったため。
- ・新規利用者が数名重なった場合。
- ・件数に関わらず、新規、退院等によるケアプラン作成を多く持っている時。
- ・受けもちが一杯であった。
- ・人数的に受け入れ難しい。
- ・基準をこえる場合（持ち件数いっぱい）。

など

問 困難事例などを地域包括支援センターに相談したことはありますか。(1つを選択)

「ある」の割合が 55.9%、「ない」の割合が 35.3%となっています。



【問8で「1 ある」と回答した方におたずねします。】

問8-1 どのような事例でしたか。

主な意見

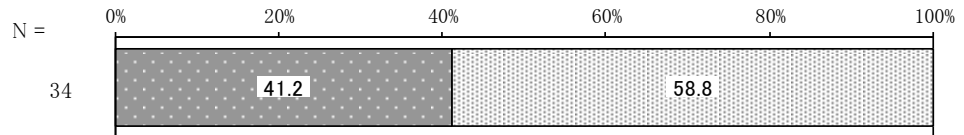
- ・ネグレクトなど多問題家族。
- ・認知症状が進行しているがサービスが導入できず、家族が疲弊してしまっているケース。
- ・妻による精神的な虐待が疑われる事例。
- ・独居の方で金銭管理が自分で困難、病院受診されない。十分な年金があっても、1か月で使い果たしてしまい、食事等うまく取ることができず相談。
- ・介護サービス拒否（本人または家族）、支払い困難など。
- ・包括職員にて職員間やケア会議での相談はある。
- ・生活保護で第2号被保険者、ごみ屋敷、ネコ屋敷、デイサービス利用も暴言あり、利用者を怖がらせている。
- ・独居、認知症、身よりなし。
- ・脳血管性認知症の方で介護職員の対応が困難な方。
- ・事業所と家族とのトラブル。

など

問 介護保険給付対象外のサービス（市が単独で行っているサービスなど）をとり入れて、サービス計画の作成を行っていますか。（1つを選択）

「とり入れたことがある」の割合が58.8%と最も高く、次いで「よくとり入れている」の割合が41.2%となっています。

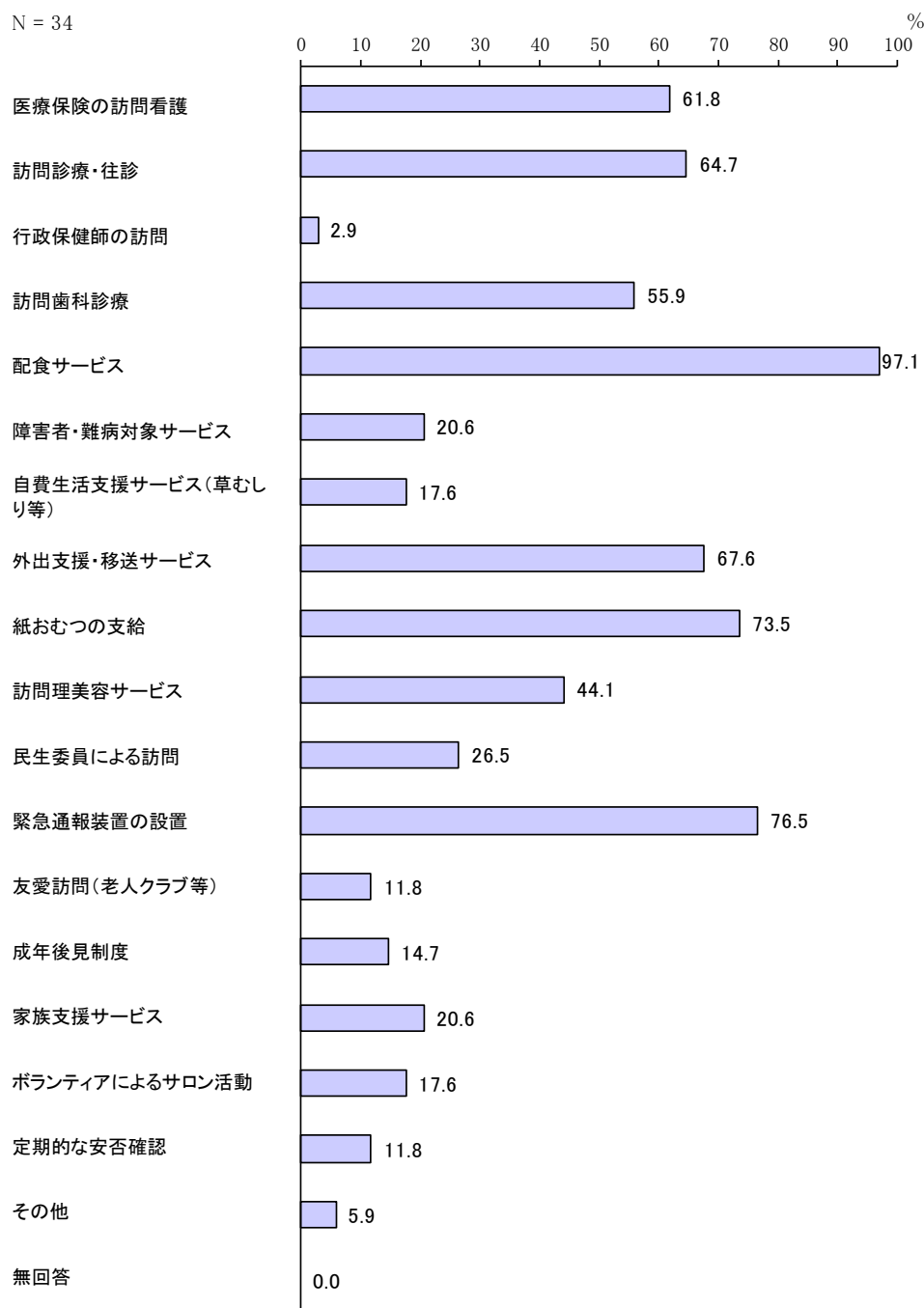
■ よくとり入れている □ とり入れたことがある ▨ とり入れたことはない □ 無回答



【前問で「1 よくとり入れている」「2 とり入れたことがある」のいずれかに回答した方におたずねします。】

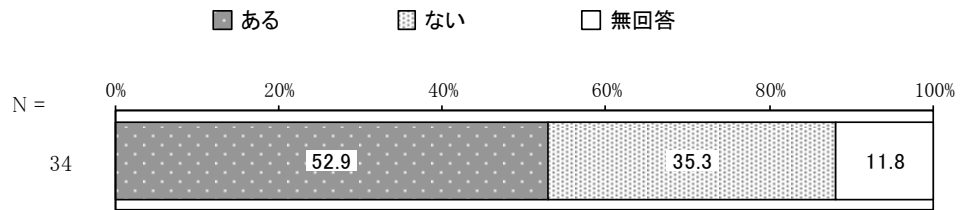
問 介護保険給付以外にケアプランに位置づけているサービスや支援活動の種類は何ですか（複数選択可）

「配食サービス」の割合が97.1%と最も高く、次いで「緊急通報装置の設置」の割合が76.5%、「紙おむつの支給」の割合が73.5%となっています。



**問 介護保険給付対象外のサービス（市が単独で行っているサービスなど）で新たに実施してほしいサービスがありますか。（1つを選択）**

「ある」の割合が 52.9%、「ない」の割合が 35.3%となっています。



**【問 10 で「1 ある」と回答した方におたずねします。】**

**問 10-1 介護保険給付対象外のサービス（市が単独で行っているサービスなど）で新たに実施してほしいサービス内容、実施してほしい理由は何ですか。**

主な意見

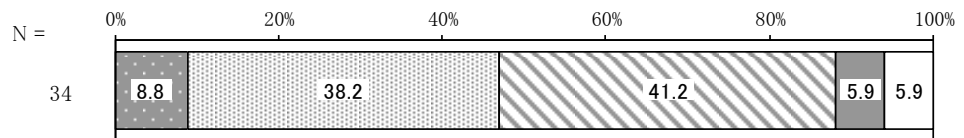
- ・ワンコインサービス、確か愛知県のNPO法人が行っていたと思いますが、ちょっとしたお手伝い。たとえば、ボタンづけやゴミ出し。朝、早い時間でのヘルパー調整が困難（買物等と組み合わせたい）。
- ・シルバー購入の助成（歩行器支給または購入の補助、宅配給食の所得による補助の制限）。
- ・病院の付き添い（一人暮らしの方、身内の方が遠方で支援できない、経済的に有料でヘルパーさんの利用ができる方）。
- ・ミニバスのルートをもっと細かく短時間（10分～20分）で目的地（病院、市役所、スーパー、施設、銀行、薬局）に行くことができるミニミニタクシーのようなものがあると良い。1区間100円、200円くらいがよい。200mの距離を歩けない方が多く、高齢者の方がいつまでも車の運転をされている。
- ・支援イベントの補助（事業者ごとの料金設定のため、一定の規準を超えた場合に市が補助など）。
- ・友愛ボランティアや見守り訪問、安否確認等の一人暮らしの高齢者のためのサービスの充実。
- ・かぜや虐待等で緊急に入所できるショートステイ等の施設確保。
- ・お金がない人の身元保証。
- ・地域包括支援センターの増設。
- ・民生委員の役割がケアマネジャーに伝わっていないため、情報共有を向上させるもの。
- ・成年後見制度の市長申し立て。

など

問 介護保険対象の在宅サービスの充足度について、どのようにお考えですか。(1つを選択)

「どちらかといえば不足している」の割合が41.2%と最も高く、次いで「どちらかといえば充足している」の割合が38.2%となっています。

- 充足している
- どちらかといえば充足している
- どちらかといえば不足している
- 不足している
- 無回答



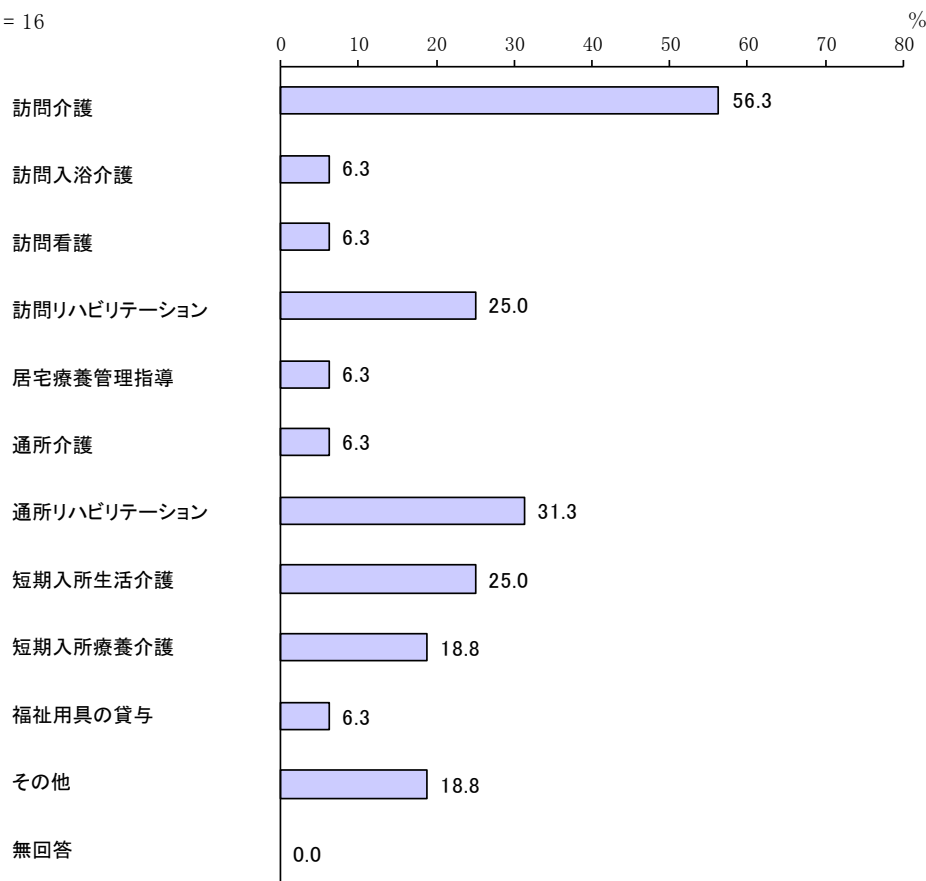


【前問で「3 どちらかといえば不足している」「4 不足している」のいずれかに回答した方におたずねします。】

問 介護保険対象の居宅サービスの中で、供給が不足していると感じているサービスは何ですか。（複数選択可）

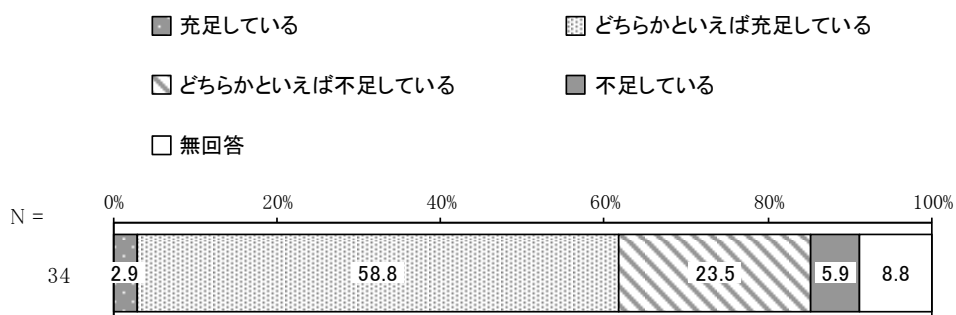
「訪問介護」の割合が 56.3%と最も高く、次いで「通所リハビリテーション」の割合が 31.3%、「訪問リハビリテーション」、「短期入所生活介護」の割合が 25.0%となっています。

N = 16



**問 介護保険施設サービスの充足度について、どのようにお考えですか。(1つを選択)**

「どちらかといえば充足している」の割合が 58.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば不足している」の割合が 23.5%となっています。



**【問 12 で「3～4」のいずれかに回答した方におたずねします。】**

**問 12-1 不足していると考えているのはどんなサービスですか。**

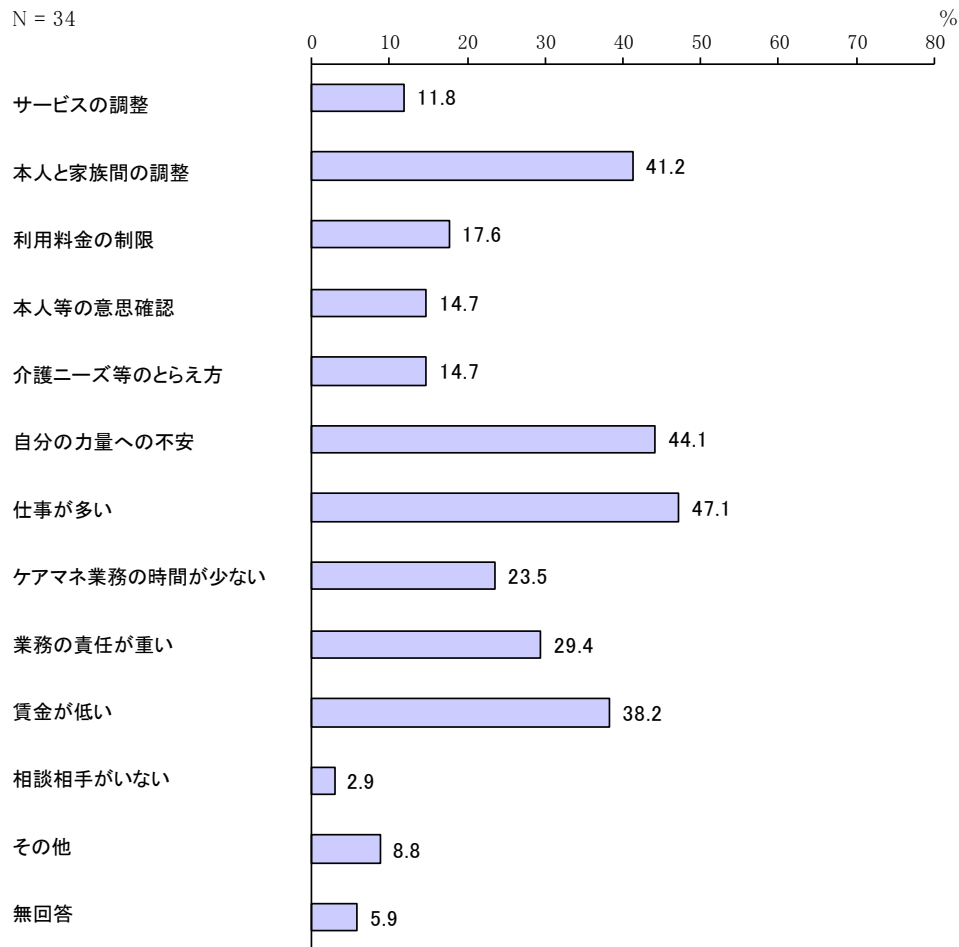
主な意見

- ・もう少しグループホームを増やしてほしい。
- ・特別養護老人施設が増えるとよい。
- ・老人保健施設（知立老健にはなかなか入れず、他市に依頼せざるをえない）。
- ・病気をした人（かぜなど）ショートステイ。
- ・重度認知症利用者や知的・精神障がい者、インシュリン、透析、ターミナル等に対して専門的サービスを提供できるショートステイや入所施設。職員不足、勤務体制的に困難。
- ・有料老人ホームは多くなっているが、利用料の問題から困難な人も多い。また個室が多くなっている。昨今、4人部屋等多床室のニーズもあるが、新設はないのであった方がよい。
- ・個別ケア、個々のニーズに合ったケアができていない。職員不足。
- ・訪問介護の受け入れ先が少ない。人員不足でことわられることが多い。
- ・ニーズは少ないが必要なサービスというものがあるが、そういうものを行政で準備してほしい。

など

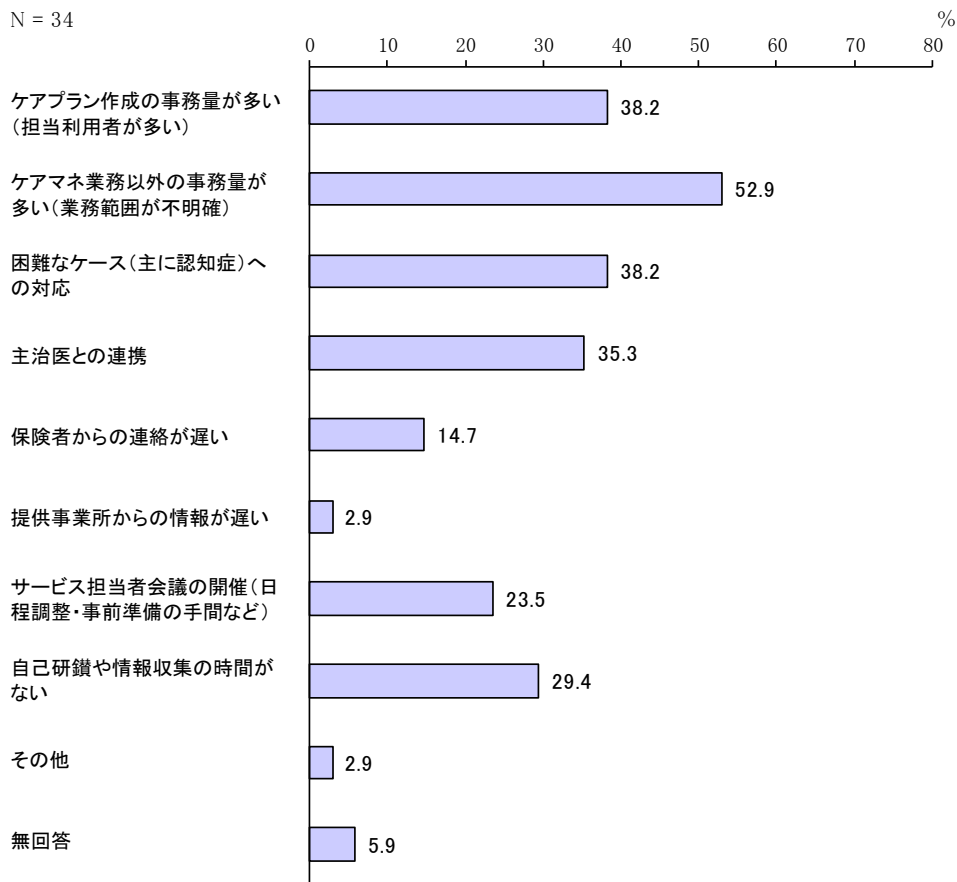
問 介護支援専門員として勤務する上で困っていることは何ですか。(複数選択可)

「仕事が多い」の割合が47.1%と最も高く、次いで「自分の力量への不安」の割合が44.1%、「本人と家族間の調整」の割合が41.2%となっています。



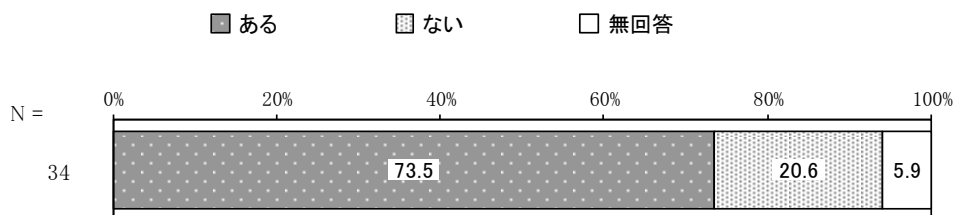
問 介護支援専門員の仕事の中で、課題だと考えられるものは何ですか。(複数選択可)

「ケアマネ業務以外の事務量が多い(業務範囲が不明確)」の割合が52.9%と最も高く、次いで「ケアプラン作成の事務量が多い(担当利用者が多い)」、「困難なケース(主に認知症)への対応」の割合が38.2%となっています。



**問 利用者から、苦情を受けたことがありますか。(1つを選択)**

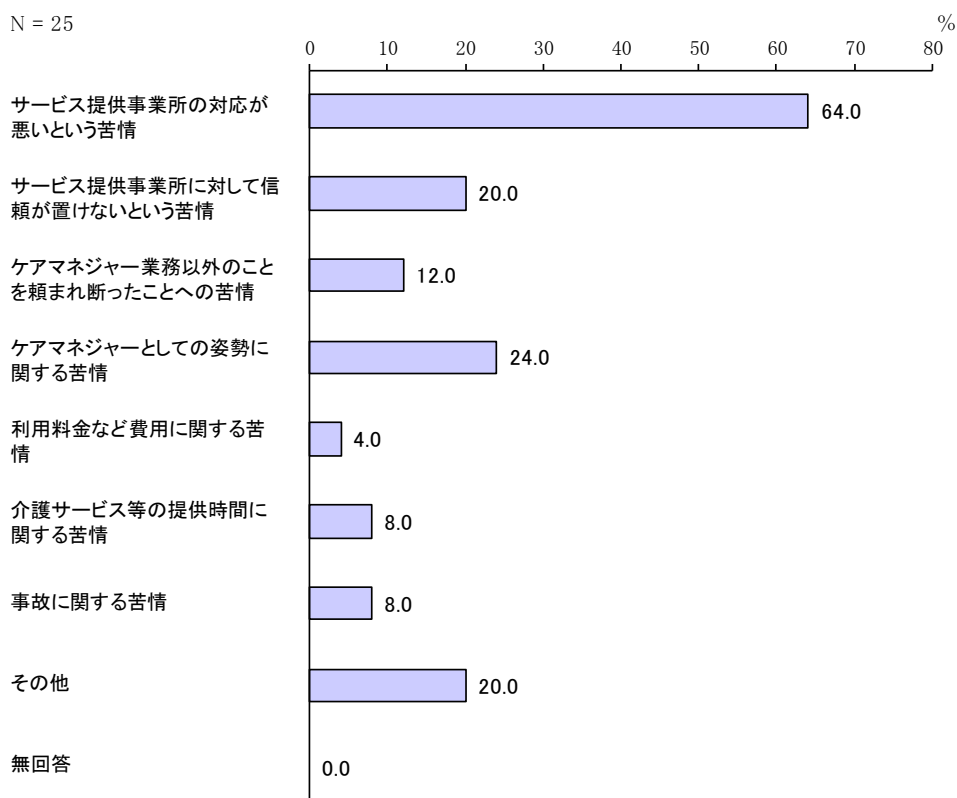
「ある」の割合が73.5%、「ない」の割合が20.6%となっています。



**【前問で「1 ある」と回答した方におたずねします。】**

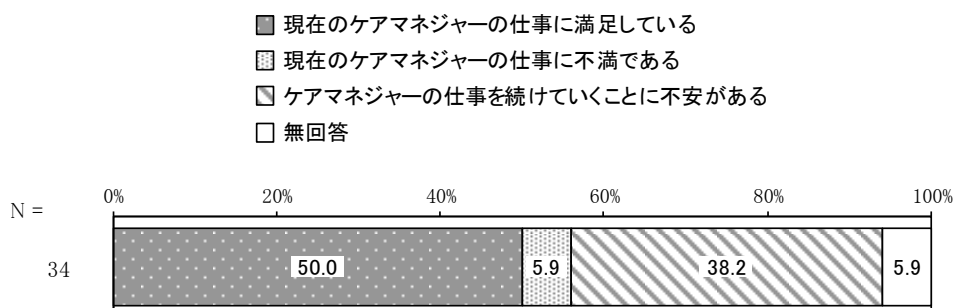
**問 どういった苦情を受けたことがありますか。(複数選択可)**

「サービス提供事業所の対応が悪いという苦情」の割合が64.0%と最も高く、次いで「ケアマネジャーとしての姿勢に関する苦情」の割合が24.0%、「サービス提供事業所に対して信頼が置けないという苦情」の割合が20.0%となっています。



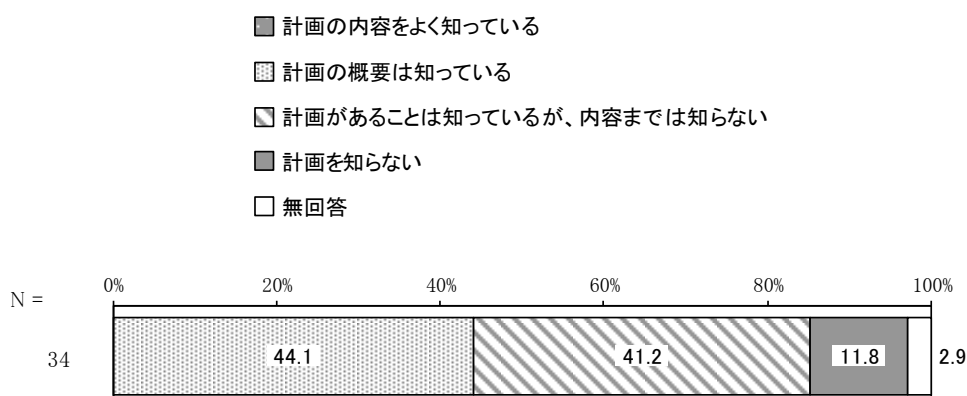
**問 ケアマネジャーとして仕事に満足していますか。(1つを選択)**

「現在のケアマネジャーの仕事に満足している」の割合が50.0%と最も高く、次いで「ケアマネジャーの仕事が続けていくことに不安がある」の割合が38.2%となっています。



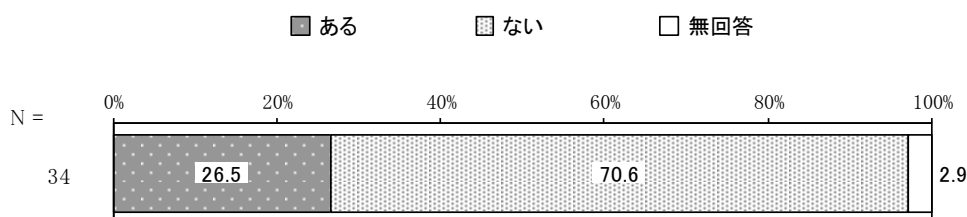
**問 本市では、「知立市第6期介護保険事業計画・第7次高齢者福祉計画」を策定していますが、計画の内容をご存じですか。(1つを選択)**

「計画の概要は知っている」の割合が44.1%と最も高く、次いで「計画があることは知っているが、内容までは知らない」の割合が41.2%、「計画を知らない」の割合が11.8%となっています。



**問 あなたが受けもっている要介護者の中で、高齢者虐待を受けているか、または受けていると思われる事例がありますか。(1つを選択)**

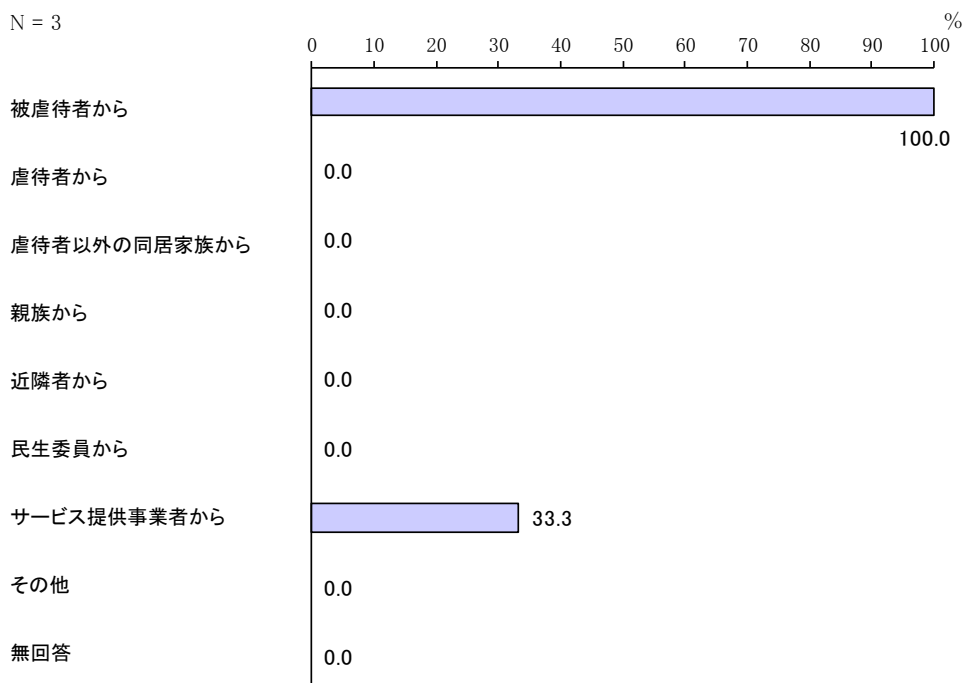
「ある」の割合が26.5%、「ない」の割合が70.6%となっています。



【前問で「1 ある」と回答した方におたずねします。】

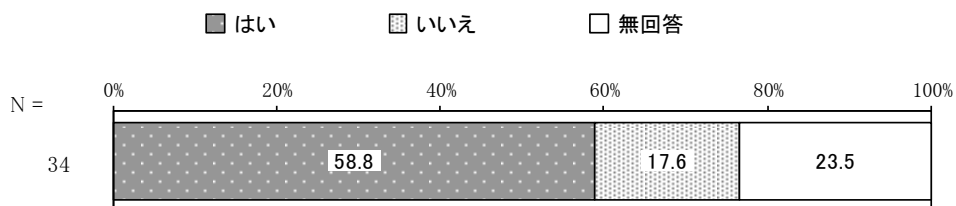
問 どこから虐待を発見しましたか。(複数選択可)

「被虐待者から」が3件、「サービス提供事業者から」が1件となっています。



問 虐待の恐れ等を発見した際、関係機関に相談・通報しましたか。(1つを選択)

「はい」の割合が58.8%、「いいえ」の割合が17.6%となっています。

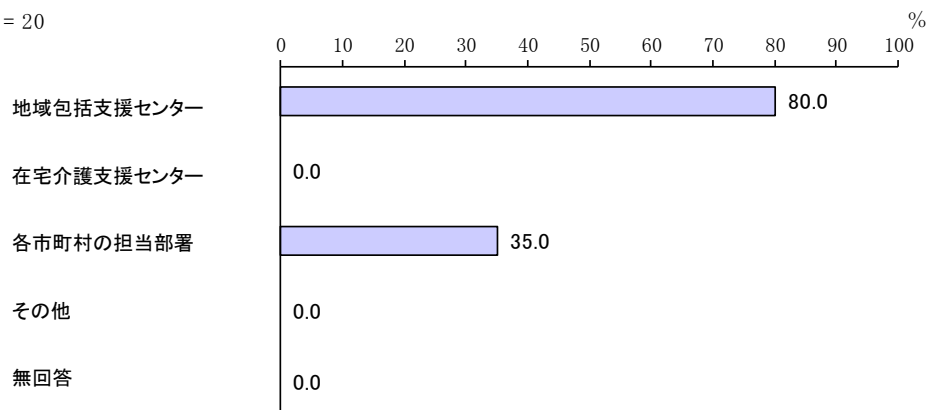


【前問で「1 はい」と回答した方におたずねします。】

問 相談・通報先はどこですか。(複数選択可)

「地域包括支援センター」の割合が80.0%と最も高く、次いで「各市町村の担当部署」の割合が35.0%となっています。

N = 20

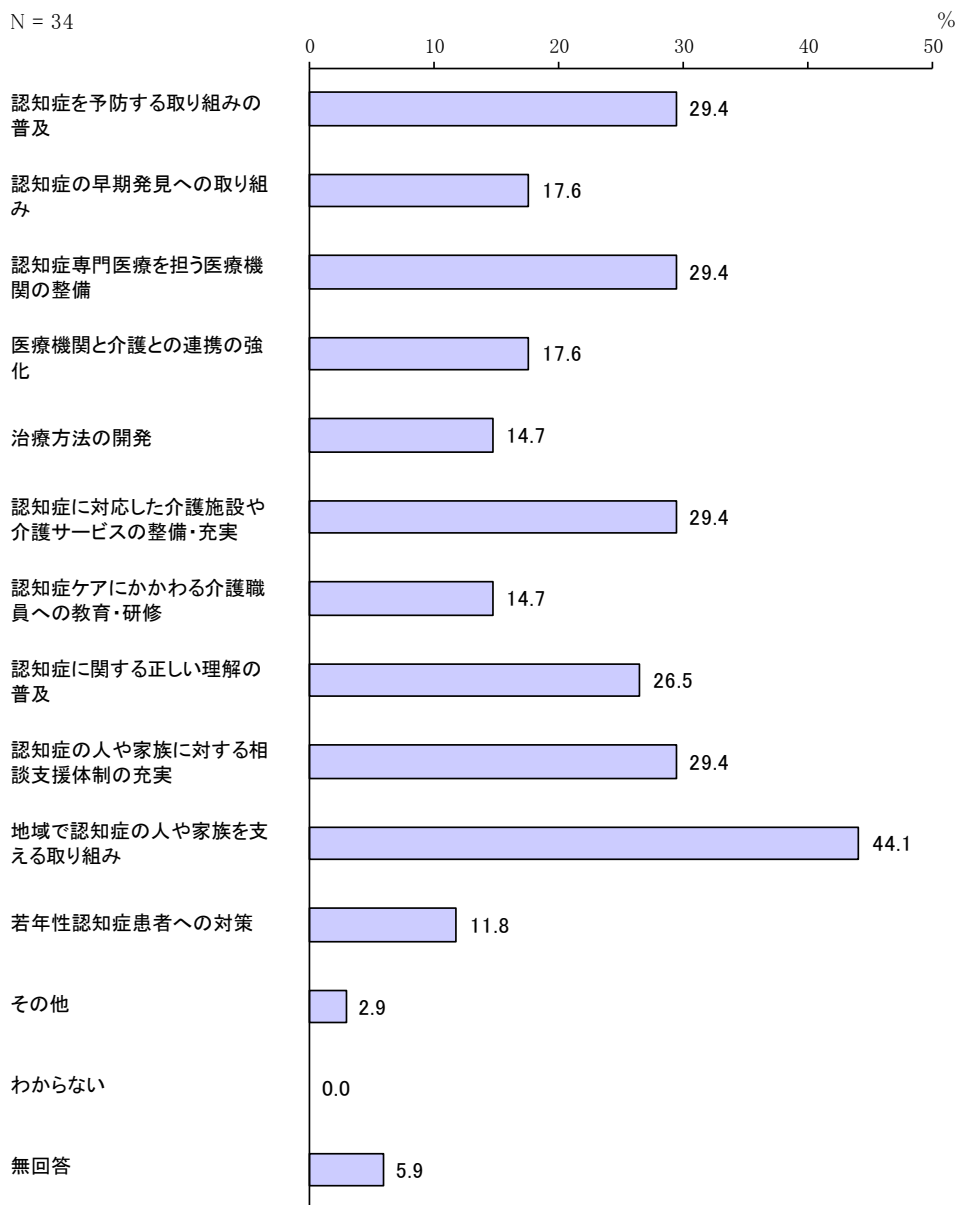




問 社会において、特に重点を置くべき認知症対策は何だと思えますか。(3つまで選択可)

「地域で認知症の人や家族を支える取り組み」の割合が44.1%と最も高く、次いで「認知症を予防する取り組みの普及」、「認知症専門医療を担う医療機関の整備」、「認知症に対応した介護施設や介護サービスの整備・充実」、「認知症の人や家族に対する相談支援体制の充実」の割合が29.4%となっています。

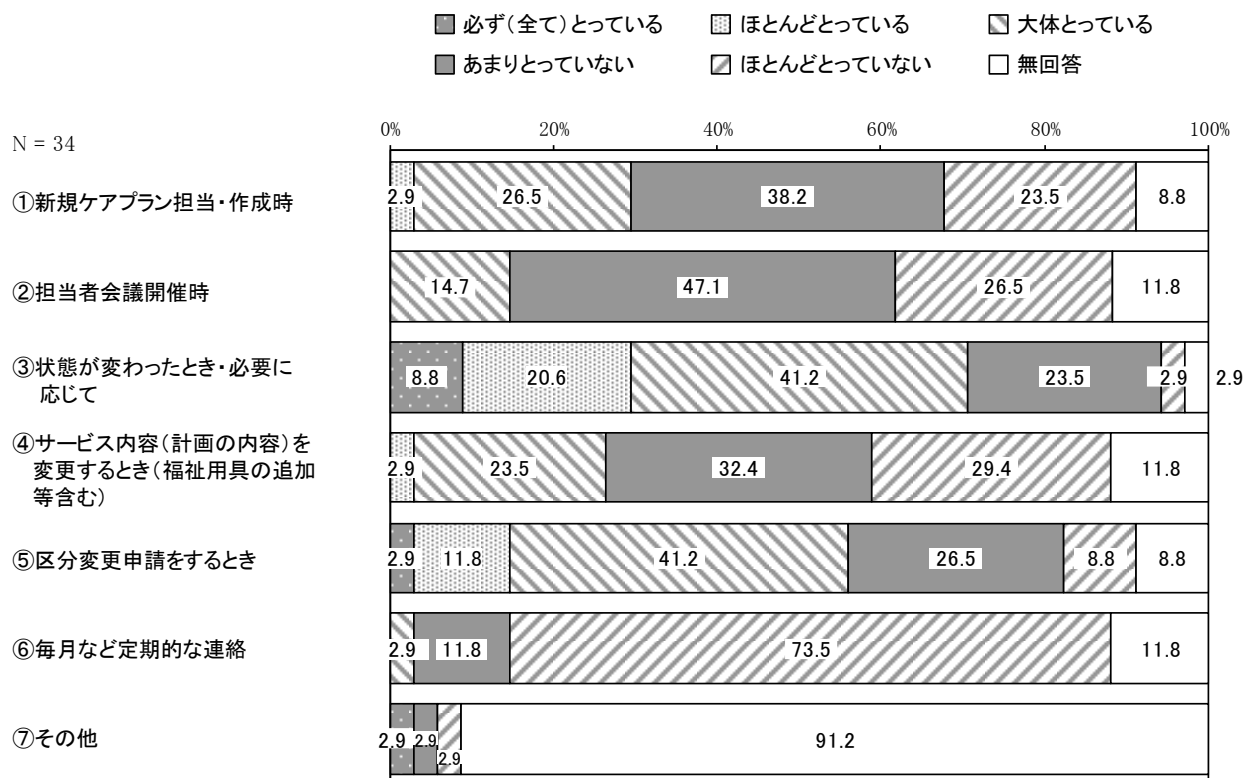
N = 34



問 医療機関とはどのような時に連携をとっていますか（複数選択可）

（それぞれの場合における連携状況をお答えください）

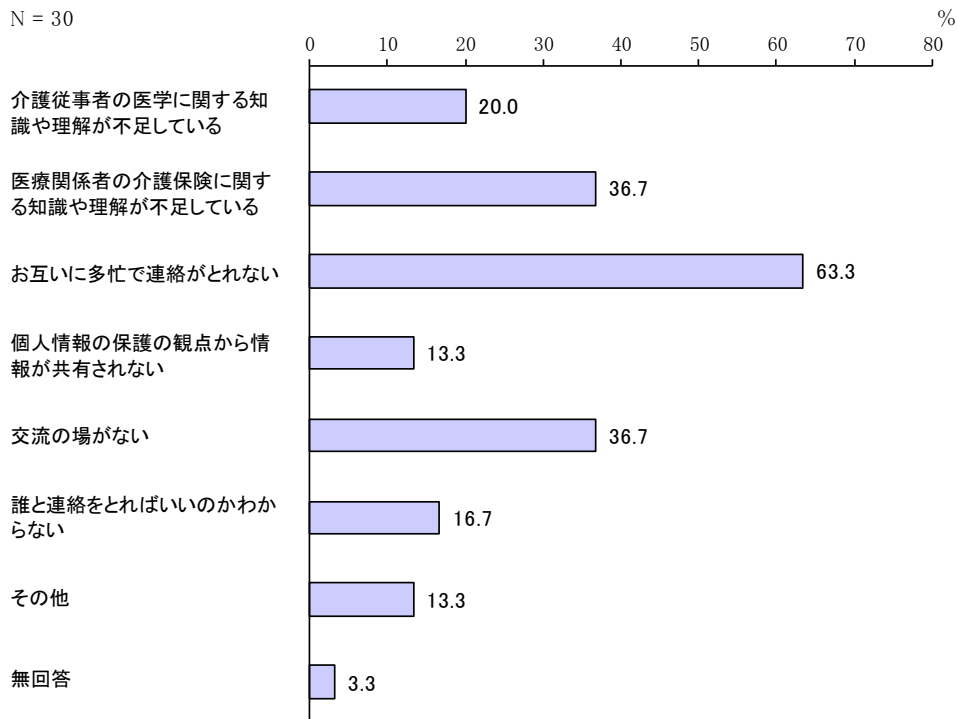
③状態が変わったとき・必要に応じて、⑤区分変更申請をするときに「必ず（全て）とっている」と「ほとんどとっている」をあわせた“連携をとっている”の割合が高くなっています。



【前問のいずれかで「4 あまりとっていない」「5 ほとんどとっていない」と回答した方におたずねします。】

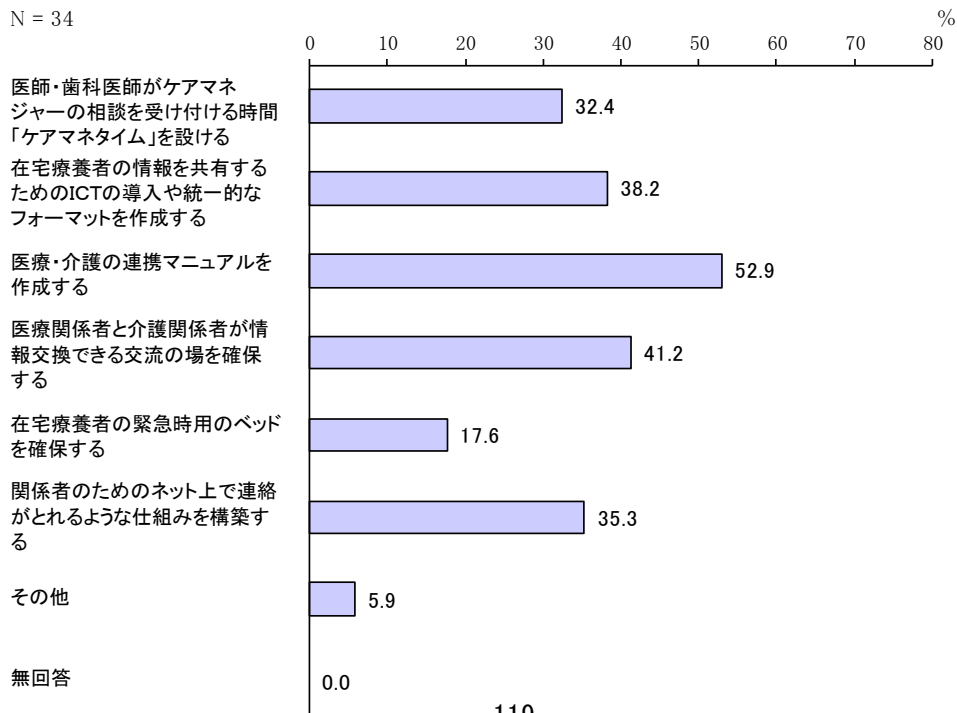
問 連携できていないと考える理由は何ですか。(複数選択可)

「お互いに多忙で連絡がとれない」の割合が63.3%と最も高く、次いで「医療関係者の介護保険に関する知識や理解が不足している」、「交流の場がない」の割合が36.7%となっています。



問 あなたは、医療・介護の連携を図るためにどのようなことが必要だとお考えですか (3つまで選択可)

「医療・介護の連携マニュアルを作成する」の割合が52.9%と最も高く、次いで「医療関係者と介護関係者が情報交換できる交流の場を確保する」の割合が41.2%、「在宅療養者の情報を共有するためのICTの導入や統一的なフォーマットを作成する」の割合が38.2%となっています。



問 23 ICTの導入にあたり、期待することや課題と考えること等についてご自由にお書きください。

主な意見

- ・その方の情報がリアルタイムにわかる一方、全員が情報を発信しようと思わないと意味がないのではと思う。記録としてどこまで整理して残せるか。
- ・情報が共有できる。多職種と連携が図れる。緊急時の対応が素早くできる。効率化。
- ・これからは家族の年齢若い世代にネット等使用しているので、導入すると役立つと思う。
- ・自事業所のインターネット環境。
- ・使いこなせるかどうか。統一されたマニュアル等認識されないと困る。
- ・短時間に医療との情報交換が可能となり必要な指示をスピーディーにもらえること。
- ・刈谷市のものをみてきました。利用の仕方、活用にはケアマネジャー、事務所、病院それぞれでリーダーシップをとれる人がいるとよいと思います。形だけだとつながりません。
- ・情報の共有の点では有効と思えるが、慣れるまでの業務量の増大。
- ・他市との互換性（メーカーによる）。
- ・誰でも気軽に利用ができ、情報を閲覧することができるが、個人情報の漏えいなど情報の管理が課題。

など

問 24 地域の協力によるゴミ出し等の生活支援活動（地域のささえあい活動）を行っている団体等をご存知でしたら教えてください（「居場所づくり」を除きます）。

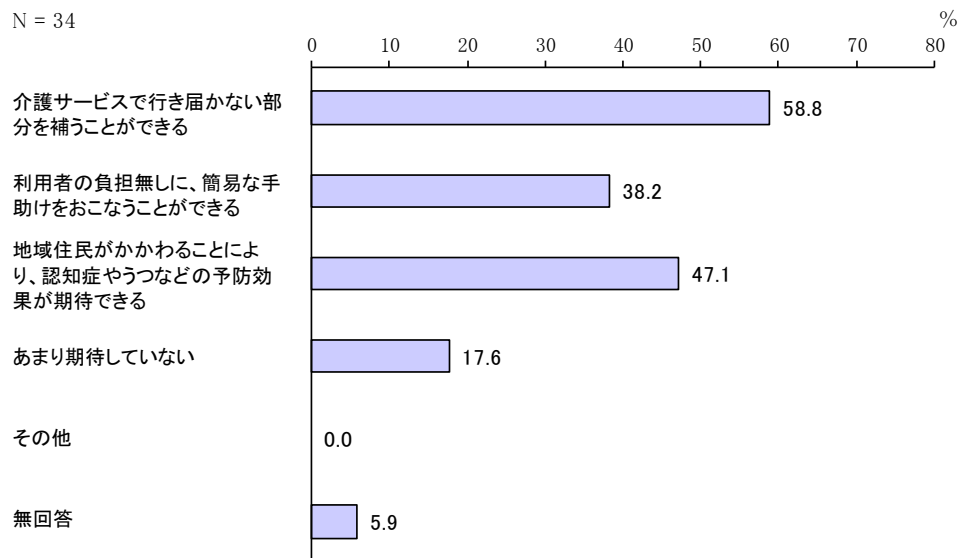
主な意見

- ・刈谷市ではゴミ出し支援の制度があるときいています。
- ・安城の民間弁当配食サービス

など

問 平成 29 年 4 月より総合事業が開始されますが、ボランティアやNPOによる介護や生活支援サービスに対し、どのような期待を持っていますか。(複数選択可)

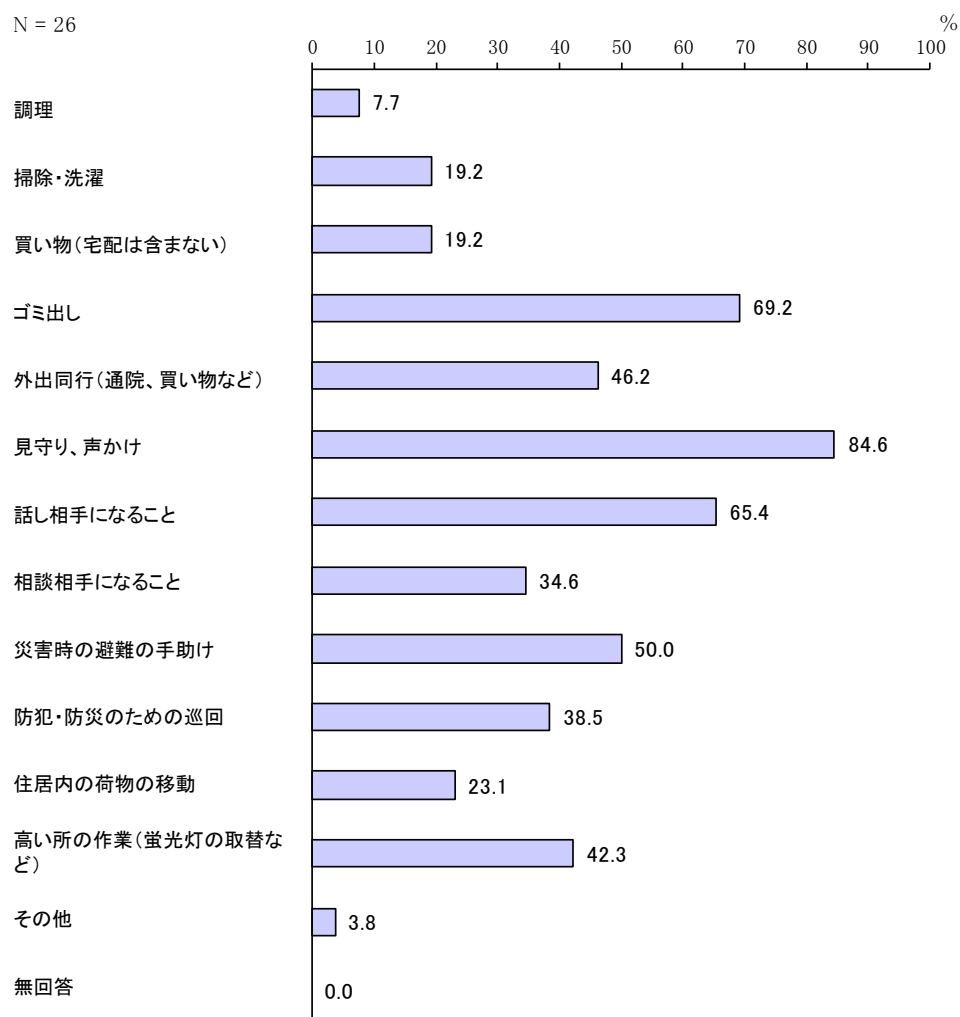
「介護サービスで行き届かない部分を補うことができる」の割合が 58.8%と最も高く、次いで「地域住民がかかわることにより、認知症やうつなどの予防効果が期待できる」の割合が 47.1%、「利用者の負担無しに、簡易な手助けをおこなうことができる」の割合が 38.2%となっています。



【前問のいずれかで「1 介護サービスで行き届かない部分を補うことができる」「2 利用者の負担無しに、簡易な手助けをおこなうことができる」「3 地域住民がかかわることにより、認知症やうつなどの予防効果が期待できる」に回答した方におたずねします。】

問 ボランティアやNPOは、具体的にどのような手助けをすることが有効だと思いますか。(複数選択可)

「見守り、声かけ」の割合が84.6%と最も高く、次いで「ゴミ出し」の割合が69.2%、「話し相手になること」の割合が65.4%となっています。



# 自由意見

## ケアマネジャー

### (1) 介護保険制度について

- 介護保険認定について、時間がかかってしまう場合がある。(予想していた介護度とかけ離れた結果のことがよくある)
- 制度が変わるたびに利用者の説明や仕事が増え、右往左往させられる。いつも記録におわれている(必要だと思うが)
- 明らかに状態悪化が予測され、そうならないように本人、または家族に説明しても、決して受け入れてくれない時、介護保険制度の必要性が理解されていないと思う。

### (2) 研修について

- ケアマネジャーの更新研修も同様、スキルアップ、情報収集は必要だが、研修時間が多すぎ。業務への負担大。
- ケアマネジャーの資格更新の時、時間(研修)と費用がかかること。制度が細かくなり利用者にとって理解しにくいと感じる。家族より「福祉でやって」と丸なげされ、どこまでかわるか困ることがある。
- ケアマネジャーは他の制度に対する理解が乏しいと感じています。(生活困窮者自立支援法など)自己検算は大切ですが、それだけではレベル差が出てしまいます。知立でケアマネジャーをすると自然と実力がついていくような仕組みはないものかと考えています。ICTの利用はその1つかと考えています。介護保険事務所、行政、医療機関が入り、いつでも相談でき、またその相談に積極的に発言を促すためのリーダーづくりをすることがよいのではと考えています。グループをつくって盛り上がりにかける状態が一番残念。ICTを使った事例検討会などもやっていたら集まる必要がないので、よいと考えます。そのためにはやはり、グループをどう盛り上げるかは課題になります。

### (3) 他機関(地域包括・病院など)との連携について

- 地域での福祉、社会参加を若い年代からやっていく意識付けをしてほしい。

### (4) 認定審査について

- もっと他の方法で評価してほしい。
- 介護保険申請から認定が出るまでに時間がかかり暫定でプランをつくり、認定後にプランをつくる必要があり、担当者会議の調整、通信費、書類等の多さにコストが高くついてしまう。
- 改正するたびに複雑になり、利用者様のご理解を得るのに苦労する。
- 既存の事業所でサービス計画書作制業務に追われる中、県の指導で事業所としての重要書類や提示物に振り回される。
- 特養申し込みが要介3以上になり、入りたくても該当せず家族が困っている。認知症がある場合、要介3にはなかなか認定されない。
- 認定の更新について、サービス利用者は必要があれば変更申請を行うので、更新に多くのお金を



使うのはもったいない。認定期間は3年とか、なくてもよいのではないか。

- 認定調査員の力量により、第一次判定に差が出ており、こちらが訴えた本人の状況が伝わりきれていない場合があり、結果に反映されてこない。
- 年末年始等審査会が開られない時は認定が出るのが期間ギリギリだったり、期間を過ぎていたりする時がある。とりあえず暫定でプランをつくり、担当者会議、利用票、提供票をつくるので（認定が出れば認定済みで再度書類を作成する）業務量が増える。早目に認定を出してほしいです。
- 保険給付を受けているので当然ですが、とにかく書類が多い。

#### (5) 要介護認定のサービス利用について

- 区分支給限度額には意味がないと思います。介護度だけではその人の生活は計れません。手伝いをしてくれる人がいる、いないは生活に大きな影響があります。限度額は生活に視点をおいていない。
- 自分の担当している利用者様には体調、状態はいつも注意を払って月1回のモニタリング、また電話での確認等しています。必ず6か月毎のケアプラン作成と担当者会議は必要不可欠でしょうが、利用者によって細かく情報、交換担当者会議が必要な人もいます。また、必ずしも6か月でなくても現状維持の人もいます。特に家族が働いている人はとても日程の調整には困ることもあります。
- 誰しものがサービスを上手く使えるわけでもない。外出したくない人ももちろんいる。自宅でちょっとしたお茶飲み相手がいると認知症進行や予防になると思う。
- 予防給付の人で回数制限があることでADLの維持が難しいと感じることがあります。認知症の方などで症状によっては利用を断られることもあり、家族も限界になっていても、必要なサービス利用ができない。家族が休息を取ることを諦めないでもよいようになればと思います。

#### (6) 情報提供について

- 利用者、家族に介護保険制度について説明してもご理解いただけない場合もあり、苦情の原因となってしまった。（→広報やインターネットで広くお知らせしていただいております、ありがとうございます。今後もわかりやすく説明されたリーフレットやパンフレットがあるとよいと思います）

#### (7) その他

- 早い段階から（50代～）自分自身が要介護にならないための努力と意識付けをしていかねば高齢になってからでは遅いと思う。そのための教育方法、活動を考えていかねばならない。

知立市 介護保険・高齢者福祉に関するアンケート  
調査結果報告書

発行年月 平成29年3月

発行 知立市 長寿介護課

〒472-8666 知立市広見3丁目1番地

電話：0566-95-0150